

工 事 仕 様 書

工事名称	本郷中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)
工事場所	三原市下北方二丁目
工事内容	次のとおり、本郷中学校校舎等の長寿命化改修工事を行う。 【工事概要】 1 校舎管理棟 1) 防水改修 合成高分子系ルーフィングシート防水（高反射タイプ）S-M2工法 2) 外壁改修 打放し面表面劣化処理，防水形複層塗材E吹付 3) 建具改修 シーリング打替え 2 屋内運動場 1) 防水改修 超速硬化ウレタン塗膜防水（密着工法） 2) 外壁改修 防水形複層塗材E吹付 3) 建具改修 トイレブース新設 4) 内装改修 床：耐水合板(t=12)のうえ複合フローリング(t=15)，ウレタン樹脂塗 3 校舎棟 1) 防水改修 合成高分子系ルーフィングシート防水（高反射タイプ）S-M2工法 2) 外壁改修 打放し面表面劣化処理，防水形複層塗材E吹付 3) 建具改修 シーリング打替え
準 則	公共建築工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）最新版， 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)最新版， 建築物解体工事共通仕様書・最新版(国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法，同施行令，同施行規則 ・消防法，同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律，同法施行令，同法施行規則 ・労働安全衛生法，同法施行令，同法施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法，振動規制法及び土壌汚染対策法 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類	<p>施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。</p>
工期	<p>本工事は請負契約締結の後、令和5年3月15日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 ・ 入札に先立ち現地調査を十分に行い、質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・ 本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて生徒等の通路の制限を行う。ただし、事前に学校へ説明を行い、承諾を得るものとする。 ・ 学校の所有物に養生や移動を行う場合は、事前に学校に連絡すること。 ・ 解体工事、アンカー工事等の騒音、振動及び粉塵等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等、学校へ最大限配慮した計画のもと行うこと。 ・ 施工箇所周囲の備品、機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。 ・ 工事中に粉じんの発生が予想される工種については、粉じん抑制等、周辺環境対策のため散水を確実に行うこと。 ・ 工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要に応じて誘導員を常時配置し、危険防止に努めること。 ・ 第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。 ・ 本工事で見込む交通誘導員について、実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。 ・ 工事に支障となる雨水、湧水、洗浄水等の排水については、適切に排水すること。 ・ 石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、またはこれらの者と同等以上の能力を有すると認められる者が行うこと。また、含有建材の調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行うこと。 ・ その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。 ・ 施工面積（外構工事含む）が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。 ・ 本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。 ・ 仮設内部足場は建築主体工事に見込んでおり、本工事業者は無償で使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。） ・ 足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地は、建築主体工事に見込んでいるが、本工事受注者も使用できるものとする。 ・ 官公庁その他への手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。 ・ 工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。 ・ 周辺道路については常時、監視を行い、工事車両等により汚損させた場合は、速やかに清掃及び補修を行なうこと。 ・ 台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。 ・ 受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。 ・ 工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。 ・ 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。 ・ 工事完了後、完成図として製本図面（二つ折り・A3縮小版）を3部提出すること。

本郷中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 01	表紙・目次		【屋内運動場】		【校舎棟】
A - 02	建築改修工事特記仕様書(1)	00 - 01	外壁改修工事特記仕様書(1)	TD - 01	外壁改修工事特記仕様書(1)
A - 03	建築改修工事特記仕様書(2)	00 - 02	外壁改修工事特記仕様書(2)	TD - 02	外壁改修工事特記仕様書(2)
A - 04	建築改修工事特記仕様書(3)	00 - 03	外壁改修工事特記仕様書(3)	TD - 03	外壁改修工事特記仕様書(3)
A - 05	建築改修工事特記仕様書(4)	00 - 04	外部仕上表	TD - 04	外部仕上表
A - 06	建築改修工事特記仕様書(5)	00 - 05	内部仕上表	TD - 05	1階平面図(改修前・後)
A - 07	建築改修工事特記仕様書(6)	00 - 06	1階平面図(改修前・後)	TD - 06	2階平面図(改修前・後)
A - 08	建築改修工事特記仕様書(7)	00 - 07	2階平面図(改修前・後)	TD - 07	R階平面図(改修前・後)
A - 09	建築改修工事特記仕様書(8)	00 - 08	屋根伏図(改修前・後)	TD - 08	立面図(1)(改修前・後)
A - 10	工事概要・付近見取図・配置図	00 - 09	立面図(1)(改修前・後)	TD - 09	立面図(2)(改修前・後)
A - 11	仮設計画図(参考図)	00 - 10	立面図(2)(改修前・後)	TD - 10	矩計図(改修前)
		00 - 11	立面図(3)(改修前・後)	TD - 11	矩計図(改修後)
	【校舎管理棟】	00 - 12	立面図(4)(改修前・後)	TD - 12	建具表
KD - 01	外壁改修工事特記仕様書(1)	00 - 13	矩計図(1)(改修前)	TD - 13	部分詳細図(改修前・後)
KD - 02	外壁改修工事特記仕様書(2)	00 - 14	矩計図(1)(改修後)	TD - 14	外壁劣化調査図(1)
KD - 03	外壁改修工事特記仕様書(3)	00 - 15	矩計図(2)(改修前)	TD - 15	外壁劣化調査図(2)
KD - 04	外部仕上表	00 - 16	矩計図(2)(改修後)		
KD - 05	1階平面図(改修前・後)	00 - 17	便所平面詳細図(改修前・後)		
KD - 06	2階平面図(改修前・後)	00 - 18	展開図(1)(改修前)		
KD - 07	3階平面図(改修前・後)	00 - 19	展開図(1)(改修後)		
KD - 08	4階平面図(改修前・後)	00 - 20	展開図(2)(改修前)		
KD - 09	R階平面図(改修前・後)	00 - 21	展開図(2)(改修後)		
KD - 10	立面図(1)(改修前・後)	00 - 22	展開図(3)(改修前)		
KD - 11	立面図(2)(改修前・後)	00 - 23	展開図(3)(改修後)		
KD - 12	矩計図(1)(改修前)	00 - 24	便所天井伏図、断面詳細図(改修前・後)		
KD - 13	矩計図(1)(改修後)	00 - 25	建具表(1)		
KD - 14	矩計図(2)(改修前)	00 - 26	建具表(2)		
KD - 15	矩計図(2)(改修後)	00 - 27	部分詳細図(改修前・後)		
KD - 16	矩計図(3)(改修前)	00 - 28	外壁劣化調査図(1)		
KD - 17	矩計図(3)(改修後)	00 - 29	外壁劣化調査図(2)		
KD - 18	矩計図(4)(改修前)				
KD - 19	矩計図(4)(改修後)				
KD - 20	建具表(1)				
KD - 21	建具表(2)				
KD - 22	建具表(3)				
KD - 23	部分詳細図(1)(改修前・後)				
KD - 24	部分詳細図(2)(改修前・後)				
KD - 25	部分詳細図(3)(改修前・後)				
KD - 26	部分詳細図(4)(改修前・後)				
KD - 27	部分詳細図(5)(改修前・後)				
KD - 28	外壁劣化調査図(1)				
KD - 29	外壁劣化調査図(2)				



4-1 外壁改修工事（共通事項）	1	ポリマーセメントモルタル	<p>(品質・性能) [4.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>だれ</td> <td>下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ (N/mm²)</td> <td>6.0以上</td> </tr> <tr> <td>圧縮強さ (N/mm²)</td> <td>20.0以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ (N/mm²)</td> <td>標準条件 1.0以上 特殊条件 遅潤時 0.8以上 低湿時 0.5以上</td> </tr> <tr> <td>透水性</td> <td>裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	だれ	下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。	曲げ強さ (N/mm ²)	6.0以上	圧縮強さ (N/mm ²)	20.0以上	接着強さ (N/mm ²)	標準条件 1.0以上 特殊条件 遅潤時 0.8以上 低湿時 0.5以上	透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。	その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	4-2 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）																																																				
	項目	品質・性能																																																																				
	だれ	下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。																																																																				
	曲げ強さ (N/mm ²)	6.0以上																																																																				
圧縮強さ (N/mm ²)	20.0以上																																																																					
接着強さ (N/mm ²)	標準条件 1.0以上 特殊条件 遅潤時 0.8以上 低湿時 0.5以上																																																																					
透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。																																																																					
その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。																																																																					
2	ポリマーセメントスラリー	<p>(品質・性能) [4.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>広がり速度 (cm/s)</td> <td>長さ変化率 (収縮) (材齢28日) (N/mm²)</td> <td>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</td> <td>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</td> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> <tr> <td>保水係数 0.35~0.55</td> <td>粘弾係数 0.50~1.00</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5.0以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table>	項目	品質・性能	項目	品質・性能	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (材齢28日) (N/mm ²)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	3以上	以下	0.5以上	5.0以上	保水係数 0.35~0.55	粘弾係数 0.50~1.00	5.0以上	15以下			5.0以上	5.0以上	4-3 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）																																															
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																			
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (材齢28日) (N/mm ²)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)																																																																			
3以上	以下	0.5以上	5.0以上																																																																			
保水係数 0.35~0.55	粘弾係数 0.50~1.00	5.0以上	15以下																																																																			
		5.0以上	5.0以上																																																																			
3	吸水調整材	改修標準仕様書表4.2.2による [4.2.2]																																																																				
4	既製調合モルタル	<p>[4.2.2]</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する強付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.80kg/L以上</td> <td>曲げ強さ</td> <td>0.4N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ</td> <td>標準時 0.6N/mm²以上 遅冷繰り返し後 0.4N/mm²以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるのに要する材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。</p> <p>繰りばちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間攪り混ぜて試料とする。</p> <p>(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロード板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス（縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 Aろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり量が最大と認められた方向とそれに直角な方向の長さsをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの直径 mm</p> <p>(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。</p> <p>(4) 接着強さ（標準時）の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による面押しの「50角ユニットタイル（外のり寸法約300mm×300mm）」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地に達するまで切り込みを入れ、樹脂接着剤で傾斜アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。（全てが0.6N/mm²以上を確保していること） ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研削した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ1mmになるよう塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による面押しの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ（遅冷繰り返し）の試験方法 (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。 (遅冷繰り返し試験)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11遅冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰り返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びぬれの有無を肉眼によって調べる。 (遅冷繰り返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々遅冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0.4N/mm²以上を確保していること）</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p>	項目	品質・性能	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.2%以下	単位容積質量	1.80kg/L以上	曲げ強さ	0.4N/mm ² 以上	接着強さ	標準時 0.6N/mm ² 以上 遅冷繰り返し後 0.4N/mm ² 以上			4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																			
項目	品質・性能	項目	品質・性能																																																																			
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.2%以下																																																																			
単位容積質量	1.80kg/L以上	曲げ強さ	0.4N/mm ² 以上																																																																			
接着強さ	標準時 0.6N/mm ² 以上 遅冷繰り返し後 0.4N/mm ² 以上																																																																					
1	ひび割れ部改修工法	<p>※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※40</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>200~300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>※70</td> <td>※70</td> </tr> </table> <p>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130</p> <p>エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示</p> <p>○ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※40	※40	注入工法	0.3以上0.5未満	200~300	※40		0.5以上1.0未満	※70	※70	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																			
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																			
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※40	※40																																																																			
注入工法	0.3以上0.5未満	200~300	※40																																																																			
	0.5以上1.0未満	※70	※70																																																																			
2	欠損部改修工法	※ 充填工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7] ・ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル																																																																				
1	ひび割れ部改修工法	<p>※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.5~7]</p> <p>※ 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※40</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>200~300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>※70</td> <td>※70</td> </tr> </table> <p>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130</p> <p>エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示</p> <p>○ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※40	※40	注入工法	0.3以上0.5未満	200~300	※40		0.5以上1.0未満	※70	※70	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																			
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																			
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※40	※40																																																																			
注入工法	0.3以上0.5未満	200~300	※40																																																																			
	0.5以上1.0未満	※70	※70																																																																			
2	欠損部改修工法	<p>※ 充填工法（欠損部の面積が0.25m²/箇所程度以下の場合） [4.1.4] [4.2.2] [4.4.8、9]</p> <p>充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する（形状） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p>																																																																				
3	浮き部改修工法	<p>※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.2.2] [4.4.10~15]</p> <p>○ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既製目地材 ・ 使用する（形状） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p>	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																																			
4	外壁複合改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする																																																																				
1	タイル張替え工法用材料	<p>[4.2.2]</p> <p>タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557による一液反応硬化型形成シリコン樹脂系 ・ JIS A 5557による一液反応硬化型シリコン樹脂系</p> <p>タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工の形状・寸法等</th> <th>再発材料</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>吸物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐凍害性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>箇所 (mm)</td> <td>の適用</td> <td>1級</td> <td>2級</td> <td>3級</td> <td>4級</td> <td>5級</td> <td>6級</td> <td>7級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </table> <p>耐凍害性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法—第12部: 耐凍害性試験方法) で測定する C.S.値は0.4~1.0とする。</p> <p>吸物の使用箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>内装</th> <th>出隅</th> <th>天端</th> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>有</td> <td>有</td> </tr> </table> <p>外装 出隅、窓台、マグサ (標準一体成型品以外は接着成型品とする)</p>	施工の形状・寸法等	再発材料	吸水率による区分	うわぐすり	吸物	色	耐凍害性	耐凍害性	備考	箇所 (mm)	の適用	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級			有	無	標準	特注	有	無	有			有	無	有	無	有	無	有	内装	出隅	天端	有	有	有	有	有	有	有	有	有	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																			
施工の形状・寸法等	再発材料	吸水率による区分	うわぐすり	吸物	色	耐凍害性	耐凍害性	備考																																																														
箇所 (mm)	の適用	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級																																																														
		有	無	標準	特注	有	無	有																																																														
		有	無	有	無	有	無	有																																																														
内装	出隅	天端																																																																				
有	有	有																																																																				
有	有	有																																																																				
有	有	有																																																																				
2	ひび割れ部改修工法	<p>[4.1.4] [4.2.2] [4.5.5、6]</p> <p>※ タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁）による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事（モルタル塗仕上げ外壁）による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・ タイルを撤去しないで改修</p> <p>※ 樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※40</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>200~300</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>※70</td> <td>※70</td> </tr> </table> <p>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※130</p> <p>エポキシ樹脂 ※ 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示</p> <p>○ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない</p> <p>※ 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※40	※40	注入工法	0.3以上0.5未満	200~300	※40		0.5以上1.0未満	※70	※70	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																			
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																			
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※40	※40																																																																			
注入工法	0.3以上0.5未満	200~300	※40																																																																			
	0.5以上1.0未満	※70	※70																																																																			
3	欠損部改修工法	<p>[4.1.4] [4.2.2] [4.5.7、8]</p> <p>・ タイル部分張替え工法（欠損部の面積が0.25m²/箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合） 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤強りの接着剤 ・ タイル張替え工法（下地モルタルを撤去する場合） 貼付けモルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 伸縮調整目地及びひび割れ隠蔽目地の位置 ※ 改修標準仕様書表4.5.11による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材の接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り タイル張りの工法 ・ 外装タイル（ ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り） ・ ユニッドタイル（ ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り） ・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り 下地モルタル張りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目置し工法 シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ隠蔽目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 裏面シリコン系</p>	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																																			
4	浮き部改修工法	<p>[4.1.4] [4.2.2] [4.5.9~15]</p> <p>・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p>	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																																			
5	目地改修工法	<p>[4.1.4] [4.5.16]</p> <p>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※ 図示</p>	4-4 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）																																																																			
6	外壁複合改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする																																																																				
1	既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	<p>[4.6.2]</p> <p>※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.6.3]</p>	4-5 外壁改修工事（塗仕上げ外壁）																																																																			
2	下地調整材																																																																					
3	仕上塗材仕上げ	<p>[4.1.4] [4.2.2] [4.6.5] [表4.2.4]</p> <p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 仕上塗材の種類 ○ 薄付仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>※ 外装塗材E</td> <td>砂壁状</td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 厚付け仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>上塗り材</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 適用する</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>○ 複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り材の種類</th> <th>耐水性</th> <th>耐火性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>※ 複層塗材E</td> <td></td> <td></td> <td>滑媒 ※ 水系</td> <td>※ 耐水性</td> <td>3種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ 防水複層塗材E</td> <td>凹凸状</td> <td></td> <td>樹脂 ※ アクリル系</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>外観 ※ つやあり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>軽量骨材仕上塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> </tr> </table>	呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料	※ 外装塗材E	砂壁状		・ 適用する	・				・ 適用する	・	呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料				・ 適用する	・ 適用する	・				・ 適用する	・ 適用する	・	呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	耐火性	防火材料	※ 複層塗材E			滑媒 ※ 水系	※ 耐水性	3種	・	○ 防水複層塗材E	凹凸状		樹脂 ※ アクリル系	・	・	・				外観 ※ つやあり				呼び名	防火材料		・		・	4-5 外壁改修工事（塗仕上げ外壁）
呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																		
※ 外装塗材E	砂壁状		・ 適用する	・																																																																		
			・ 適用する	・																																																																		
呼び名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料																																																																	
			・ 適用する	・ 適用する	・																																																																	
			・ 適用する	・ 適用する	・																																																																	
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	耐火性	防火材料																																																																
※ 複層塗材E			滑媒 ※ 水系	※ 耐水性	3種	・																																																																
○ 防水複層塗材E	凹凸状		樹脂 ※ アクリル系	・	・	・																																																																
			外観 ※ つやあり																																																																			
呼び名	防火材料																																																																					
	・																																																																					
	・																																																																					
4	マスチック塗材塗り	<p>[4.1.5] [4.7.2] [表4.7.1]</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種</p>	4-5 外壁改修工事（塗仕上げ外壁）																																																																			
5	外壁用塗膜防水材塗り	<p>[4.1.5] [4.2.2] [4.8.2] [表4.2.6]</p> <p>仕上げの形状 工法 外壁用仕上塗材の耐候性 ※ JIS A 6909の耐候形1種の品質基準に適合するもの 下地準拠塗材 ・ 適用する ・ 適用しない 規格材の種類 (所要量 ※ 改修標準仕様書表4.2.6による) ・ kg/m² 外壁用仕上塗料の種類 (所要量 ※ 改修標準仕様書表4.2.6による) ・ kg/m²</p>	4-5 外壁改修工事（塗仕上げ外壁）																																																																			

18	ガラス	(16.9.7.14.2~4) (表16.14.1)
		下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による
		材料板ガラスの種類、組合せ
		フロート板、フロート板合わせガラス
		強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による
		材料板ガラスによる種類
		熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による
		複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による
		断熱性による区分
		日射取得性、日射遮蔽性による区分
19	ガラスブロック積み	(5.13.5)
		表面形状
		正方形
		長方形
		壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示
		力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状横筋及び縦筋
		化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示
		工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法
		目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ※ 図示
		20
日射調整フィルム		
低放射フィルム		
衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム		
相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム		
ガラス貫通防止フィルム		
品質 JIS A5759による		

6	内装改修工事	① 他の部位との取り合い等
		② 既存床の撤去及び下地補修
		③ 既存壁の撤去及び下地補修
		4 木下地の表面仕上げ
		5 装材
		6 造作用集材

7	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
		「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材
		「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
		「重交集成板 (CLT)」
		ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
		「普通適合板」
		「構造用合板」
		「合板の日本農林規格」による化粧化粧用合板
		「合板の日本農林規格」による天然化粧化粧用合板
		「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧化粧用合板
9	防塵・防蟻処理	「集材材の日本農林規格」による化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」による化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」による化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」以外の化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」による化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」以外の化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」による化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」以外の化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」による化粧化粧用集材材
		「集材材の日本農林規格」以外の化粧化粧用集材材

10	軽重量天井下地	野縁等の種類
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
		「軽重量天井下地」
11	軽重量骨壁下地	スタッド、ランナーの種類
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
		「軽重量骨壁下地」
12	ビニル床シート	種類
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
		「ビニル床シート」
13	ビニル床タイル	種類
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
		「ビニル床タイル」
14	接着剤	「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
		「接着剤」
15	ビニル幅木	材質の種類
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
		「ビニル幅木」
16	ゴム床タイル	種類
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
		「ゴム床タイル」
17	カーペット敷き	「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」
		「カーペット敷き」

Table with 4 columns: 種類, 施工箇所, 工法, 仕上げの種類. Includes sections for 18 合成樹脂塗料, 19 防じん用塗料, 20 フローリング張り, 21 敷敷き, 22 セッコウボードその他.

Table with 4 columns: 種類, 工法, 仕様, 備考. Includes sections for 23 壁紙張り, 24 モルタル塗り, 25 タイル張り, 26 セルフレベリング材.

Table with 4 columns: 種類, 工法, 仕様, 備考. Includes sections for 27 床材, 28 耐震改修工事, 29 環境配慮改修工事, 30 材料, 31 下地調整.

Table with 4 columns: 種類, 工法, 仕様, 備考. Includes sections for 32 仕上げ塗料, 33 仕上り塗料, 34 仕上り塗料, 35 仕上り塗料, 36 仕上り塗料, 37 仕上り塗料, 38 仕上り塗料, 39 仕上り塗料, 40 仕上り塗料.

2	断熱アスファルト 防水改修工事	測定方法 ・ 自動測定器による測定	4	ガラス改修工事 [9. 4. 2]	複層ガラス 5 章建築改修工事による	10 その他	1	フリーアクセス フロア	<table border="1"> <tr> <td>構造</td> <td>・ 置敷式</td> <td>・ 支柱調整式</td> </tr> <tr> <td>所定荷重</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> </tr> <tr> <td>耐震性能</td> <td>・ 1.0G ・ 0.6G</td> <td>・ 1.0G ・ 0.6G</td> </tr> <tr> <td>パネル寸法 (mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ (mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面仕上材</td> <td>※ タイルカーベット ・ 電磁防止床タイル</td> <td>※ タイルカーベット ・ 電磁防止床タイル</td> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table>	構造	・ 置敷式	・ 支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G	パネル寸法 (mm)			高さ (mm)			表面仕上材	※ タイルカーベット ・ 電磁防止床タイル	※ タイルカーベット ・ 電磁防止床タイル	施工箇所	※ 図示	※ 図示		
		構造								・ 置敷式	・ 支柱調整式																					
		所定荷重								※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N																					
		耐震性能								・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G																					
		パネル寸法 (mm)																														
		高さ (mm)																														
		表面仕上材								※ タイルカーベット ・ 電磁防止床タイル	※ タイルカーベット ・ 電磁防止床タイル																					
		施工箇所								※ 図示	※ 図示																					
		測定名称 ・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ()								測定方法 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉 じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	5	断熱・防音改修工事 [9. 5. 2 ~ 4]	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 ・ 断熱材打込み工法	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキャン層なし)</td> <td>※ 2種 b A</td> <td>※ 25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 3種 b A</td> <td>※ スラブ</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキャン層なし)	※ 2種 b A	※ 25		※ 3種 b A	※ スラブ	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・	・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・
		種類								厚さ (mm)	施工箇所																					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・																														
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキャン層なし)	※ 2種 b A	※ 25																														
	※ 3種 b A	※ スラブ																														
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 25	・																														
・ フェノールフォーム断熱材	・ 25	・																														
・ JIS K 3850-11に基づいた測定																																
測定名称	メンブレンフィ ルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l / min)	試料の吸引時間 (min)																													
・ 測定4 ・ 測定5 ・ 測定 ()	25	5	30																													
・ 測定 ()	47	10	120																													
・ 測定 ()	47	10	240																													
・ 測定 ()																																
石綿含有建材の処理 ・ 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 改修標準仕様書 9.1.3(2) (7)による ・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 圓形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)																																
・ 石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 圓形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)																																
○ 石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ○ 石綿含有石膏ボード ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)																																
・ 石綿含有仕上塗材の除去 除去工法 ※ 石綿障害予防規則 (平成十七年七月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6条 による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa 以下、30~50MPa 程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa 以上) ・ 超音波ケレン工法 (HEPA フィルター付き掃除機併用) ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa 程度) ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa 以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う 試験施工 ※ 行わない ・ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)																																
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示																																

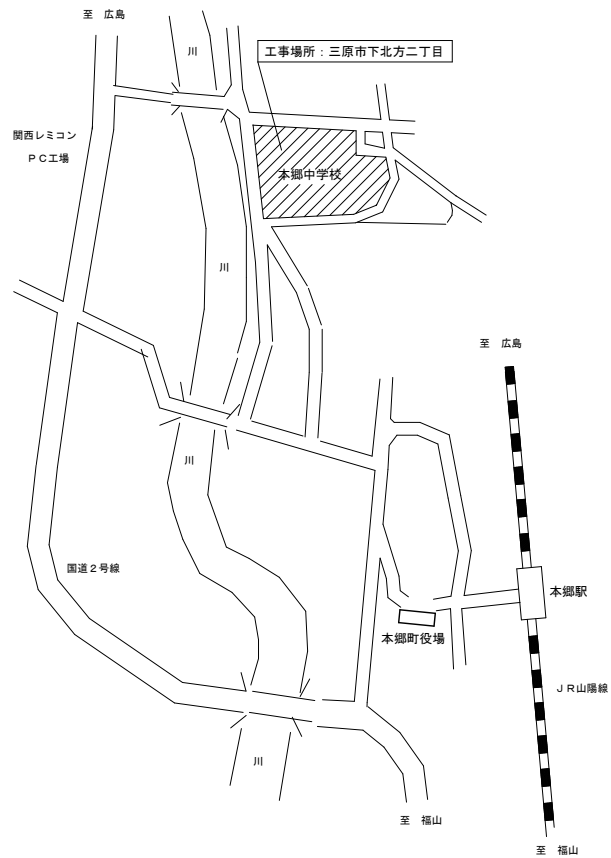
3	外断熱改修工事	断熱材 断熱材の種類 ()、断熱材の厚さ (mm) 施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 外装材	6	屋上緑化改修工事 [9. 6. 2. 3]	植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示 ・	7	透水性アスファルト 舗装改修工事 [9. 7. 2 ~ 5, 9]	1	フリーアクセス フロア	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定率不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロ リー試験) に適合していること。 発熱性 単不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が3MJ / m²以下であること。 (2) 防火上有害な蒸気まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW / m²を超えないこと。 (試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド 形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526 の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿度試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づき指定性能評価機関が単不燃材料、難燃材料の 評価方法に使用している試験方法に準じる。 ・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・ 断熱材にせっこうボード等張り付けたパネル (材質 厚さ mm)</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定率不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロ リー試験) に適合していること。 発熱性 単不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が3MJ / m²以下であること。 (2) 防火上有害な蒸気まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW / m²を超えないこと。 (試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィール ド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526 の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿度試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づき指定性能評価機関が単不燃材料、難燃材料の 評価方法に使用している試験方法に準じる。 ・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・ 断熱材にせっこうボード等張り付けたパネル (材質 厚さ mm)</td> </tr> <tr> <td>透水性</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び積込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。 240L / m² ・ h 以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能 (保水層の許容 圧縮強度)</td> <td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3 × 10⁶ N / m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐根腐</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根腐保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工及び施工 後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート (絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。 (試験方法) (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3 × 10⁶ N / m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根腐等に有害な変 形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を 測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根腐から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm / min 以下とする。 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年</td> </tr> <tr> <td>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4 章外壁改修工事による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力 (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定率不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロ リー試験) に適合していること。 発熱性 単不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が3MJ / m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な蒸気まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW / m ² を超えないこと。 (試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド 形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526 の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿度試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づき指定性能評価機関が単不燃材料、難燃材料の 評価方法に使用している試験方法に準じる。 ・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・ 断熱材にせっこうボード等張り付けたパネル (材質 厚さ mm)	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定率不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロ リー試験) に適合していること。 発熱性 単不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が3MJ / m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な蒸気まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW / m ² を超えないこと。 (試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィール ド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526 の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿度試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づき指定性能評価機関が単不燃材料、難燃材料の 評価方法に使用している試験方法に準じる。 ・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・ 断熱材にせっこうボード等張り付けたパネル (材質 厚さ mm)	透水性	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び積込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。 240L / m ² ・ h 以上	耐荷重性能 (保水層の許容 圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3 × 10 ⁶ N / m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根腐	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根腐保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工及び施工 後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート (絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。 (試験方法) (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3 × 10 ⁶ N / m ² の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根腐等に有害な変 形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を 測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根腐から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm / min 以下とする。 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年	既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4 章外壁改修工事による										工法 建築基準法に基づき定まる風圧力 (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による									
		項目									品質・性能																																			
		難燃性									下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定率不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロ リー試験) に適合していること。 発熱性 単不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が3MJ / m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な蒸気まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW / m ² を超えないこと。 (試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド 形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526 の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿度試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づき指定性能評価機関が単不燃材料、難燃材料の 評価方法に使用している試験方法に準じる。 ・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・ 断熱材にせっこうボード等張り付けたパネル (材質 厚さ mm)																																			
		難燃性									下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加 熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定率不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロ リー試験) に適合していること。 発熱性 単不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が3MJ / m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な蒸気まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW / m ² を超えないこと。 (試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィール ド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1 による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526 の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿度試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づき指定性能評価機関が単不燃材料、難燃材料の 評価方法に使用している試験方法に準じる。 ・ 断熱材後張り工法 断熱材の種類 () 断熱材の厚さ (mm) ・ 断熱材にせっこうボード等張り付けたパネル (材質 厚さ mm)																																			
		透水性									合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																			
		排水層									植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び積込み土壌を支え、流出しな い構造をもつこと。 240L / m ² ・ h 以上																																			
		耐荷重性能 (保水層の許容 圧縮強度)									一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3 × 10 ⁶ N / m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																			
		耐根腐									重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上 の耐根腐性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																			
		耐根腐保護層									材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工及び施工 後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート (絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。 (試験方法) (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3 × 10 ⁶ N / m ² の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根腐等に有害な変 形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み (%) を 測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根腐から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。 加圧速度は10mm / min 以下とする。 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する (種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年																																			
		既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4 章外壁改修工事による																																												
工法 建築基準法に基づき定まる風圧力 (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 図示 通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による																																														

4	表示	案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 ・ 窓名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示	2	表示	案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 ・ 窓名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示	3	ブラインド	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス レールの材質</th> <th>幅 ・ 高さ 取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 横形</td> <td>※ 手動 ・ 電動</td> <td>※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※ アルミニウム 合金製</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形</td> <td>※ 手動 ・ 電動</td> <td>※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式</td> <td>※ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>アルミニウム 合金製</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス レールの材質	幅 ・ 高さ 取付箇所	・ 横形	※ 手動 ・ 電動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示	・ 縦形	※ 手動 ・ 電動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	※ 図示
		形式							操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス レールの材質	幅 ・ 高さ 取付箇所															
		・ 横形							※ 手動 ・ 電動	※ ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示															
		・ 縦形							※ 手動 ・ 電動	※ 2本操作 コード式 ・ 1本操作 コード式	※ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	※ 図示															
		アルミスラットの材質 横付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工																											
		材料種							操作方式	透光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																
		・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製							・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チューン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	※ 図示																	
		巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様																											
		形式							開閉操作	ひだの種類	きり地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考																
		・ シングル ・ ダブル							・ 片引き ・ 引分け ・ 電動	・ 手引き ・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ		※ 図示		(備考)															
幕幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm 以上																													
材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 強さによる区分 ※ 10-90 仕上げ ※ アルマイト 形状 ※ 角形																													
薄型 × 深さ (mm) 材質 ・ 集成材 (仕上げ: ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 表面処理 ・ B0-1 ・ B0-2 (※ 標準色 () ・ 特注色 ()) ・ 鋼製 (仕上げ: ())																													
材質	寸法 (mm)	形式	外枠	内枠																									
※ アルミニウム製	※ 450 × 450 ・ 600 × 600	※ 一形形 ・ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 縦線タイプ ・ 目地タイプ	※ 縦線タイプ ・ 目地タイプ																									
(品質・性能) 内枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A603S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜 JIS H 8601 (A6) 又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性能 (繰り返し閉開試験) (1) 50回、100回、300回の内裏の垂れ下がりが、0.5mm 以内。 (2) 閉開試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm 以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm 以内 (試験方法) 内裏 (内枠) の繰り返し閉開試験 (1) 試験体は、片見込み40mm程度のもとする。 吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付けける方式 (天井ボンドなどの仕上 材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下 地開口補強に試験体の天井点検口450mm × 450mm を吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従 い取付ける。なお、野縁の種類は、19形と仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」のB0-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。 (2) 試験は、内裏を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内裏の垂れ下がり状態を測 定する。																													
① 固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1 又は、試験方法-2による。 ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2 はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。 ② 試験方法-1 イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371) プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大 耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③ 試験方法-2 イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371) プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相 当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、 支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向と する。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力と する。又、800mm × 800mm に荷重板1,900N (3,000N / 1 m ² 相当) を1箇所 設ける。試験体数は、1セットとする。 ④ 零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の 水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水 平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。 3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーベット 繊維素材: ナイロン100 % 繊維素材: ナイロン100 % パネル構造: ルーパパネル パネル長: 3.0mm ~ 4.0mm パッキング素材: 塩化ビニル樹脂 金厚: 6.0mm ~ 7.0mm 単位質量: 4.0kg / m ² ~ 6.0kg / m ² 人体前電圧: 2KV 以下																													

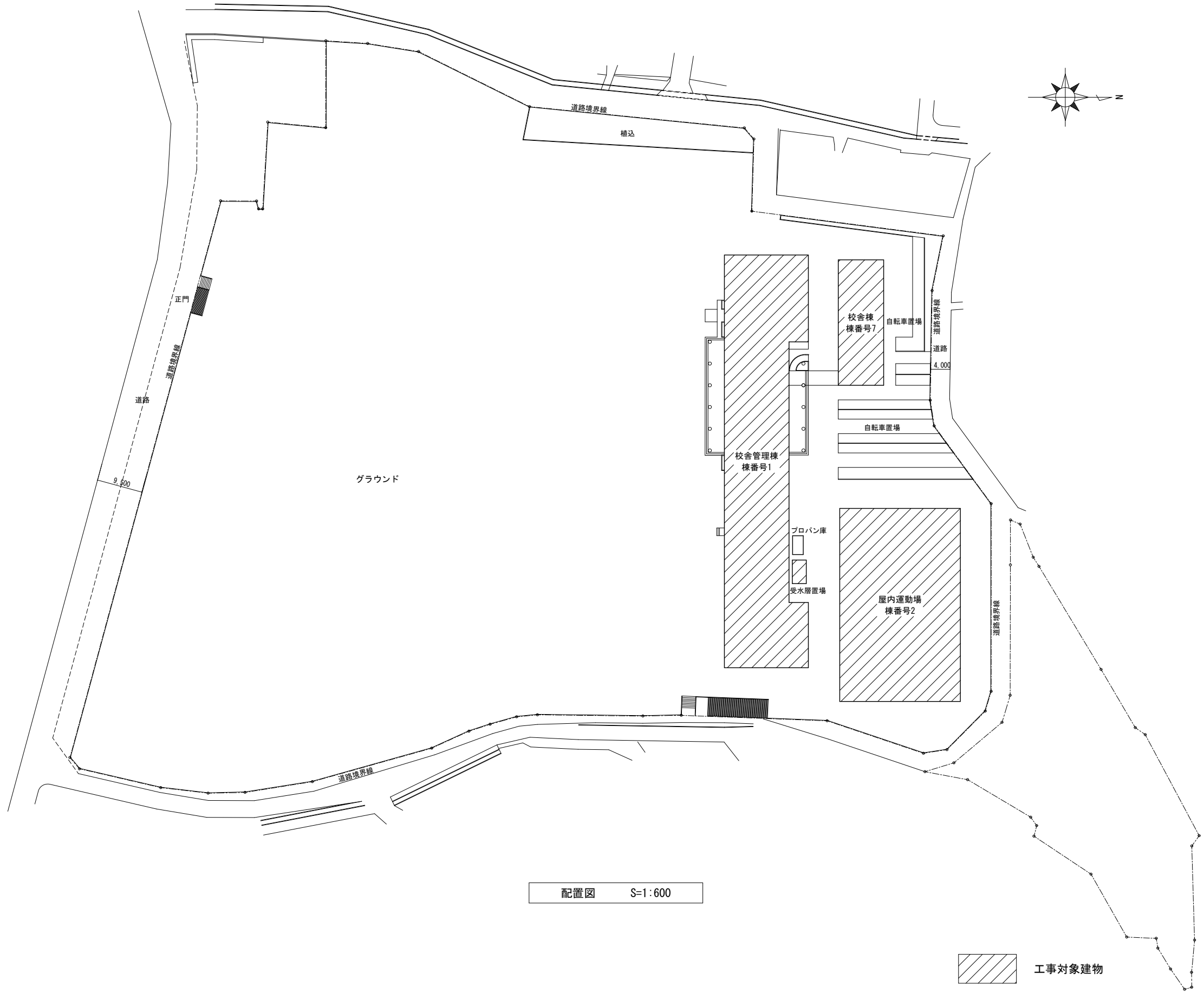
5	カーテン	遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率
		遮光率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率	遮音率	遮熱率	遮風率

9	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ※ 600×600</td> <td>○ 一般形 ・ 密閉形 ○ 屋内用</td> <td>・ 鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受枠材 受枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二重蓋の中蓋</td> <td>鋼製</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">底板材 コーナーピース底板補強材</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装被合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鋼材</td> <td>—</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材 取手</td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td>蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受け枠寸法の許容差</td> <td>±0.5mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋付寸法の許容差</td> <td>±0.5mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受け枠と蓋枠のクリアランス</td> <td>片側2.0mm以内 (試験方法)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐荷重試験</td> <td>試験体は、環物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を配置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	寸法 (mm)	形式	備考	○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	○ 一般形 ・ 密閉形 ○ 屋内用	・ 鍵付き	部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 受枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	JIS G 4305のSUS430	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200		その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材 コーナーピース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装被合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの			アンカー材 取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする			鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする			蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。			受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下			蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下			受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内 (試験方法)			耐荷重試験	試験体は、環物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を配置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。			<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 集材材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35</td> <td>・ 45</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ S O P</td> <td>・ E P - G</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・ 集材材	・ クリアラッカー	・ 35	・ 45	・ ステンレスパイプ	・ HL程度			・ 鋼製パイプ	・ S O P	・ E P - G		・ ビニル製ハンドル			
		材質	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																													
		○ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600	○ 一般形 ・ 密閉形 ○ 屋内用	・ 鍵付き																																																																																													
		部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																													
		受枠材 受枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	JIS G 4305のSUS430																																																																																													
			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度																																																																																													
		二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																														
			その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																														
		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604																																																																																														
			ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																														
底板材 コーナーピース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																															
	アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装被合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	—																																																																																															
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																															
パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの																																																																																																	
アンカー材 取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																	
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																	
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																																																																																																	
受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下																																																																																																	
蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下																																																																																																	
受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内 (試験方法)																																																																																																	
耐荷重試験	試験体は、環物とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を配置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																																	
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																															
・ 集材材	・ クリアラッカー	・ 35	・ 45																																																																																															
・ ステンレスパイプ	・ HL程度																																																																																																	
・ 鋼製パイプ	・ S O P	・ E P - G																																																																																																
・ ビニル製ハンドル																																																																																																		
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ※ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品																																																																																																
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	(1.1.2.2、1.9.2.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・ セラミックタイル</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ レジコンクリート製</td> <td>※ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製			屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・	・ コンクリート製																																																																							
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																															
屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0																																																																																															
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																															
	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																															
	・ コンクリート製																																																																																																	
屋外	・ セラミックタイル	※ 300×300	・																																																																																															
	・ レジコンクリート製	※ 300×300	・																																																																																															
	・ コンクリート製																																																																																																	
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ S D 2 9 5 A</td> <td>※ D 1 6 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ S D 3 4 5</td> <td>※ D 1 9 以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下		※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																																								
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																
※ S D 2 9 5 A	※ D 1 6 以下																																																																																																	
※ S D 3 4 5	※ D 1 9 以上																																																																																																	
14	浴槽金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 浴槽金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※ 浴槽金網			・ 鉄筋格子																																																																																									
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																
※ 浴槽金網																																																																																																		
・ 鉄筋格子																																																																																																		
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4) 鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※ 40 d と標準仕様書表 5.3.2 の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40 d 以上とし、それ以外は標準仕様書表 5.3.4 による																																																																																																

16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4) ※ 普通コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 2.4</td> <td>※ 標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所	※ 2.4	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																															
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所																																																					
※ 2.4	※ 標準仕様書表6.2.2による	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																					
17	セメント	種類 (6.3.1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種																																																					
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm) ・ ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を使用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m ² ℃/kCa1以上																																																					
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※ 普通コンクリート</td> <td>※ 1.8</td> <td>※ 1.5</td> <td>※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による</td> </tr> </table> <p>種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</p> <p>仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類別 施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>a種</th> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (直敷式) ()</td> </tr> <tr> <th>b種</th> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()</td> </tr> <tr> <th>c種</th> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()</td> </tr> </table>	種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施工箇所	※ 普通コンクリート	※ 1.8	※ 1.5	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (直敷式) ()	b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()																																							
種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施工箇所																																																				
※ 普通コンクリート	※ 1.8	※ 1.5	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)~(8)による																																																				
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (直敷式) ()																																																						
b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()																																																						
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()																																																						
21	あと施工アンカー	(14.1.3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記によるあと施工アンカーの確認試験 ※ 行う 確認強度 () ・ 行わない																																																					
22	トイレブース	(20.2.5) <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木タイプ ・</td> <td>※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) (1) パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>枠材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table> <p>(2) 構造金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table> <p>(3) 付属金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>セنج</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table> <p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。</p> <p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>耐薬品性及び耐汚染性</td> <td>耐引っかき性</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>強化メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引っかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧板MDF</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード</td> <td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) セنجは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	表面材の材料	脚部	ドアエッジ	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	セنج	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能			耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。	—	強化メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引っかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。	
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																																																					
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材																																																					
項目	品質・性能																																																						
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																						
裏材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																						
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																						
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき																																																						
エッジ材	処理を施した材料とする。																																																						
小口	防水処理を施す。																																																						
項目	品質・性能																																																						
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																						
項目	品質・性能																																																						
セنج	耐蝕性のあるものとする。																																																						
ラッチセット																																																							
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																						
項目	品質・性能																																																						
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性																																																					
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法) の規定を満足していること。	—																																																					
強化メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF、ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。																																																						
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐引っかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。																																																					
ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																						
ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																						



付近見取図



配置図 S=1:600

工事対象建物

工事概要

長寿命化改修工事

【校舎管理棟(棟番号1)】

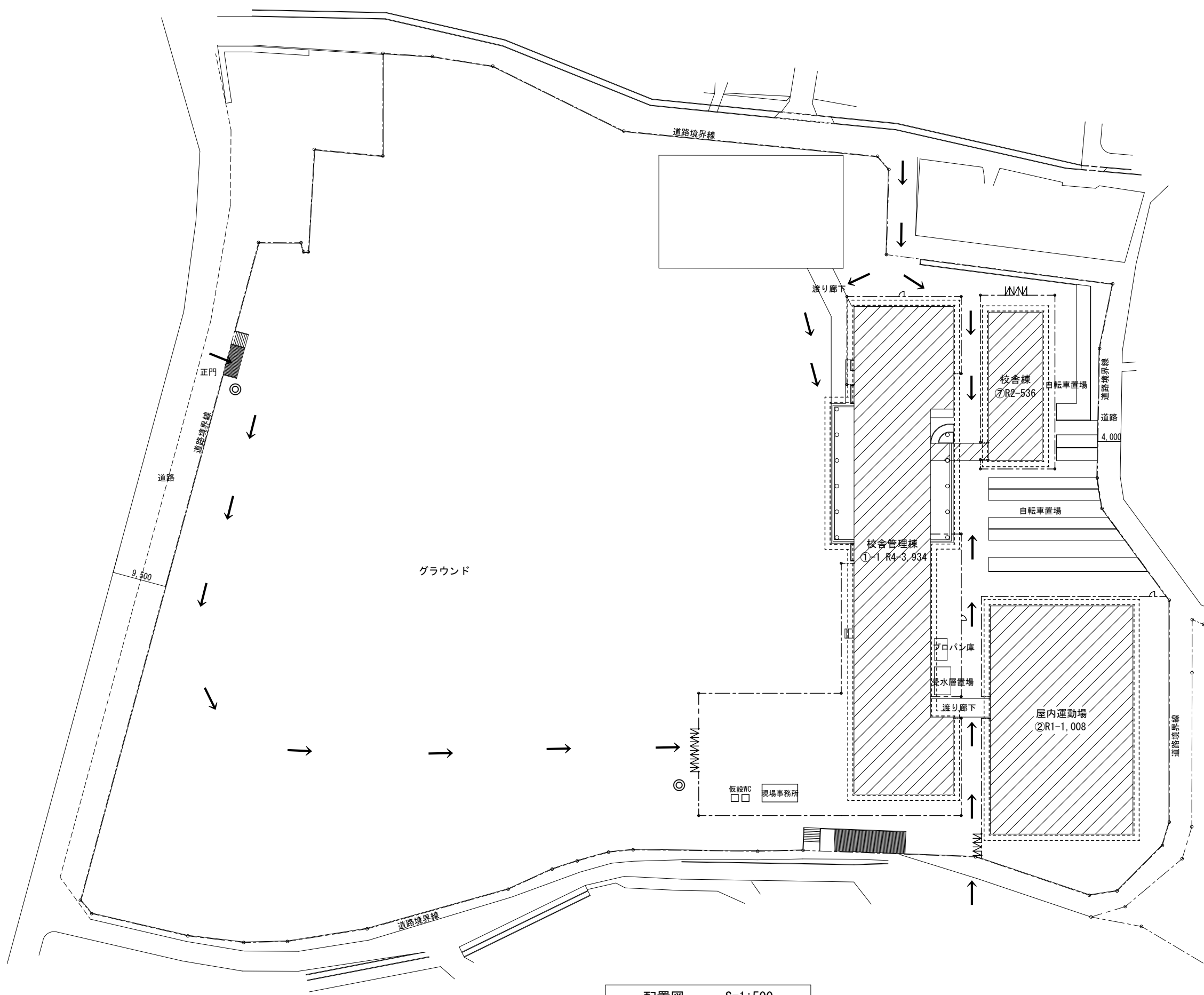
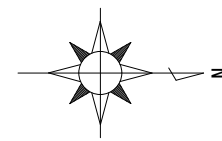
- ・防水改修工事
- ・外壁改修工事

【屋内運動場(棟番号2)】

- ・防水改修工事
- ・外壁改修工事
- ・建具改修工事
- ・内装改修工事 (体育室床、便所等)

【校舎棟(棟番号7)】

- ・防水改修工事
- ・外壁改修工事



- 【凡例】
- 工事範囲を示す
 - 外部足場 枠組本足場 W=900
 - 仮囲い 成形鋼板 H=3.0m
 - キャスターゲート W6.0m×H2.0m
 - 工事車両動線
 - 学校動線
 - 交通誘導員

配置図 S=1:500

名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理																															
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 1.0mm以上		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 0.2~1.0mm																															
改修前																																								
改修後																																								
工程	<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量: 4.179m²</p>		<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量: 103m²</p>		<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm (150m) ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量: 200m</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②④の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>																															
名称	B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理																															
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-5 モルタル面全体部樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm		C-1 打放し面錆鉄筋部処理																															
改修前																																								
改修後																																								
工程	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑥の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 10m</p>																															
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理																															
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]																															
改修前																																								
改修後																																								
工程	<p>①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①穿孔</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>②孔内エアークリーニング</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>③エポキシ樹脂注入</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>④ステンレスピン挿入</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table>		一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	<p>⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂]</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table> <p>⑥サンダーケレン</p> <p>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ①一般部分: 38m² ②指定部分: ③峽幅部:</p>		一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	<p>①一般部分標準グリッド (250×250) ③峽幅部 (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>アンカーピン固定部</p>	
一般部	16	ヶ所																																						
指定部	25	ヶ所																																						
一般部	16	ヶ所																																						
指定部	25	ヶ所																																						
一般部	16	ヶ所																																						
指定部	25	ヶ所																																						
一般部	16	ヶ所																																						
指定部	25	ヶ所																																						
一般部	16	ヶ所																																						
指定部	25	ヶ所																																						



名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.11] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.10]																						
改修前	改修後																							
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td rowspan="5"> ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部： </td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> </table>		①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：																				
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.12] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.11]																						
改修前	改修後																							
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td rowspan="5"> ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部： </td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所</td> </tr> </table>		①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：																				
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所																					
名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.12]																						
改修前	改修後																							
工程		<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td rowspan="5"> ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部： </td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑥サンダーケレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン(注入口付)挿入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> </table>		①穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥サンダーケレン		③ステンレスピン(注入口付)挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)					
①穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：																				
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥サンダーケレン																						
③ステンレスピン(注入口付)挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																						
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																						

名称		D 浮き部処理																									
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.13]																									
改修前	改修後																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>	①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)		
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																						
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン																							
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																							
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																							

名称		D 浮き部処理																																					
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.15] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ																																					
改修前	改修後																																						
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>	①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)		②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所			③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所			④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所			⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所					⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所			<p>D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.5.15]</p> <p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>参考数量：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																			
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																																				
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																																				
④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																																				
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																																				
		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																																				

名称		E 欠損部処理		F 外壁複合改修工法							
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4.3.7]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.3.3]							
改修前	改修後										
工程		<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：</p>	<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：</p>	<p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：1㎡</p>	<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p> <p>*印寸法は80程度とする</p>						
					<table border="1"> <tr> <td>参考数量</td> <td>ネット張り</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>m</td> </tr> </table>	参考数量	ネット張り	㎡		水切	m
参考数量	ネット張り	㎡									
	水切	m									

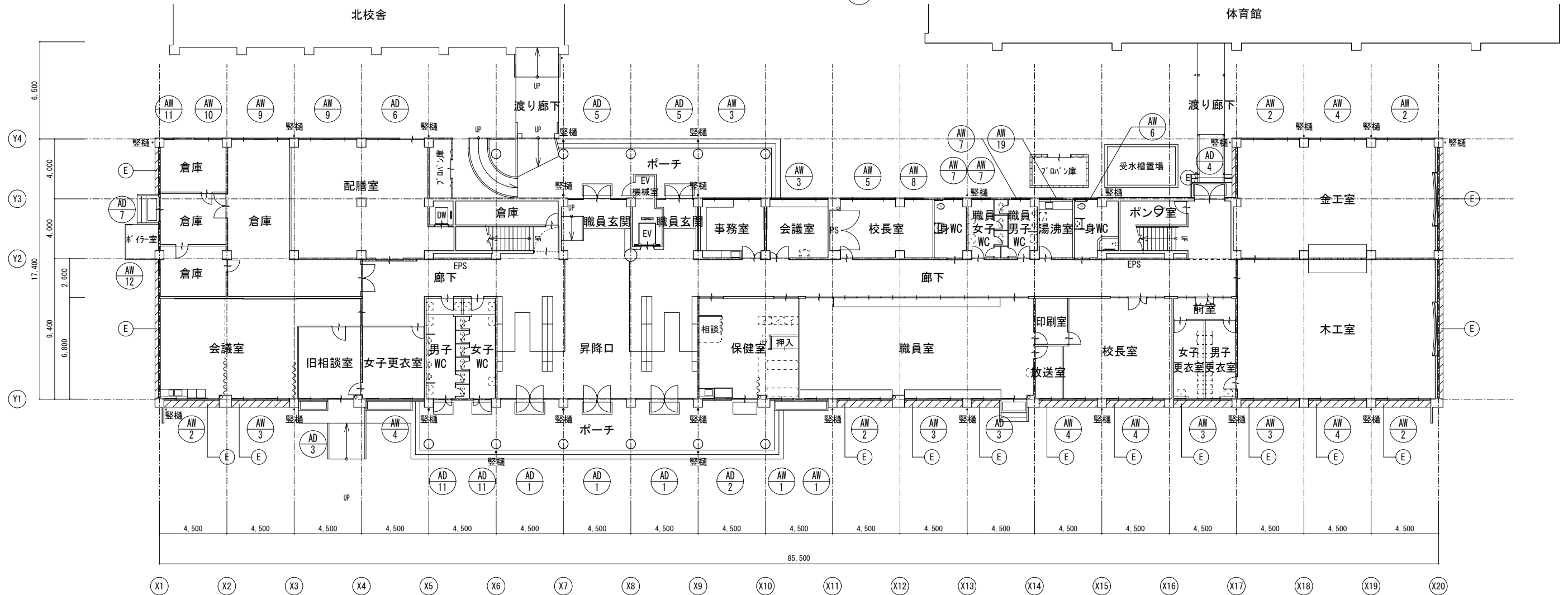
外部仕上表

部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	
屋上 (2・3階共)	平場	軽量コンクリート	M/S工法	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法)高反射タイプ									
		改質アスファルトシート防水												
	バラベツト 立上り	コンクリート下地	既存防水層撤去	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F2工法)高反射タイプ									
		改質アスファルトシート防水												
	笠木	防水モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
		浸透性吸水防止材塗												
	設備基礎 天端・立上り	ウレタン塗膜防水		下地処理のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
RD	改修用ドレンφ150用	撤去	新設	改修用ドレンφ150用										
樋	竪樋	VPφ100	撤去	新設(摺り金物共)	VPφ100カラー SUS製摺り金物共									
軒	天端	防水モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
		浸透性吸水防止材塗												
	見付	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
外壁	根回り	モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗									
	壁	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
	柱型	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
梁型見付	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付										
梁型天端	防水モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)										
バルコニー	床	防水モルタル塗		劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
		ウレタン塗膜防水												
	手摺り壁	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
	スラブ下	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	外装薄塗材E吹付									
最上階天井	フレキシブルボード(L=4)	塗装塗替え	下地調整のうえ新設	AE塗										
庇	天端	防水モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
	見付	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
庇裏	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	外装薄塗材E吹付										
玄関庇	平場	コンクリート下地	M/S工法	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法)高反射タイプ									
		改質アスファルトシート防水												
	バラベツト 立上り	コンクリート下地	既存防水層撤去	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F2工法)高反射タイプ									
		改質アスファルトシート防水												
	笠木	端部押え金物	撤去	新設	端部押え金物									
	見付	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
庇裏	コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	外装薄塗材E吹付										
							略号凡例		特記事項					
							塗 装		そ の 他					
							SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	SUS	ステンレス				
							EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	≡	シーリング				
							EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	RD	ルーフトレン				
							DP	耐侯性塗料塗り	FD	フロアドレン				
							AE	アクリル樹脂エナメル塗り	G.P	配管用炭素鋼鋼管				

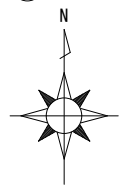
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	平場：改質アスファルトシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	笠木：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	設備基礎：ウレタン塗膜防水	設備基礎：塗膜防水(X-2工法) [下地処理のうえ新設]
D	軒天端：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	軒天端：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	梁型：防水モルタル塗	梁型：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：改質アスファルトシート防水 [既存防水層撤去]	玄関庇：塗膜防水(X-1工法) [下地処理のうえ新設]
H	笠木：アルミ笠木 [撤去]	笠木：アルミ笠木 [新設]
RD	改修用ドレンφ150 [撤去]	改修用ドレンφ150用 縦引き [新設]
	縦樋：VPφ100 [撤去]	縦樋：VPφ100カラー SUS製組み金物共 [新設]

改修箇所を示す

建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)



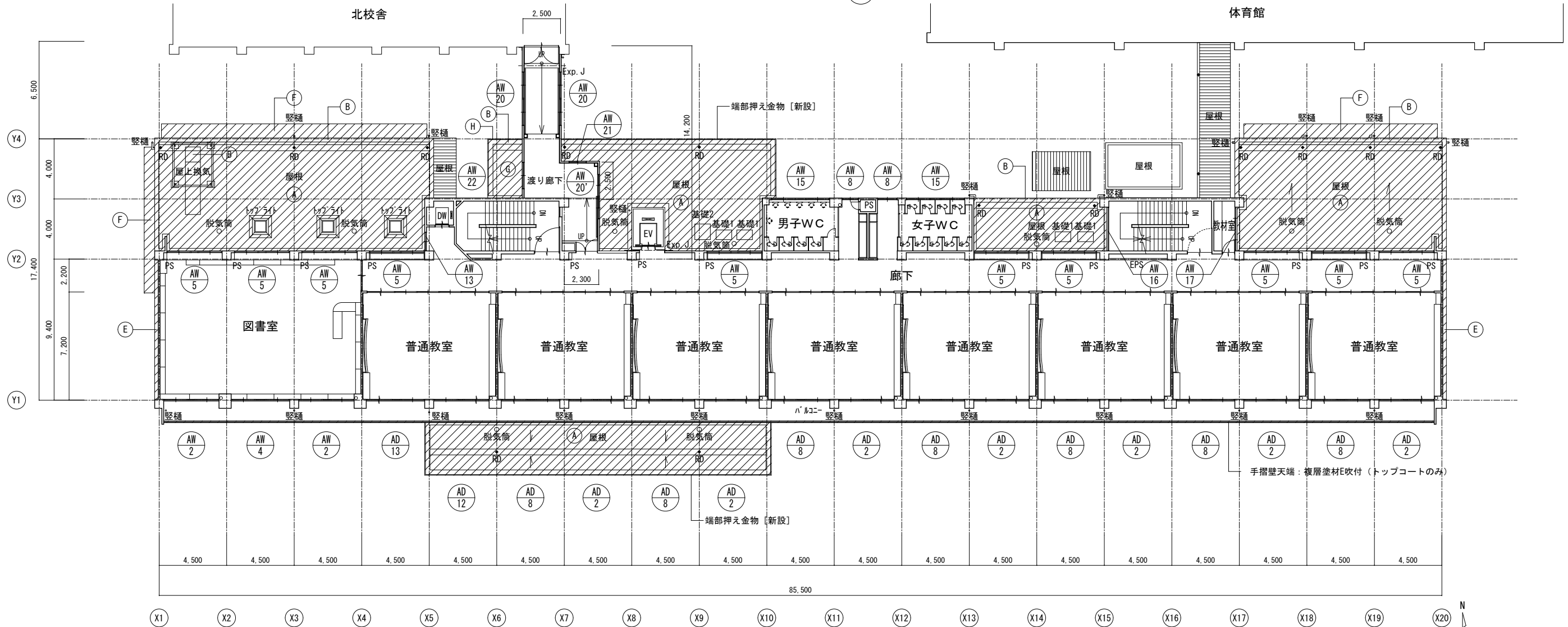
1階平面図（改修前・後） S=1:200



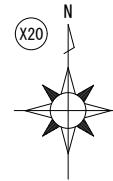
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	平場：改質アスファルトシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法)高反射タイプ [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	笠木：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	設備基礎：ウレタン塗膜防水	設備基礎：塗膜防水(X-2工法) [下地処理のうえ新設]
D	軒天端：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	軒天端：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	梁型：防水モルタル塗	梁型：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：改質アスファルトシート防水	玄関庇：塗膜防水(X-1工法) [既存防水層撤去] [下地処理のうえ新設]
H	笠木：アルミ笠木	笠木：アルミ笠木 [撤去] [新設]
	RD：改修用ドレンφ150	RD：改修用ドレンφ150用 縦引き [撤去] [新設]
	壁樋：VPφ100	壁樋：VPφ100カラー SUS製樋み金物共 [撤去] [新設]

改修箇所を示す



建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)

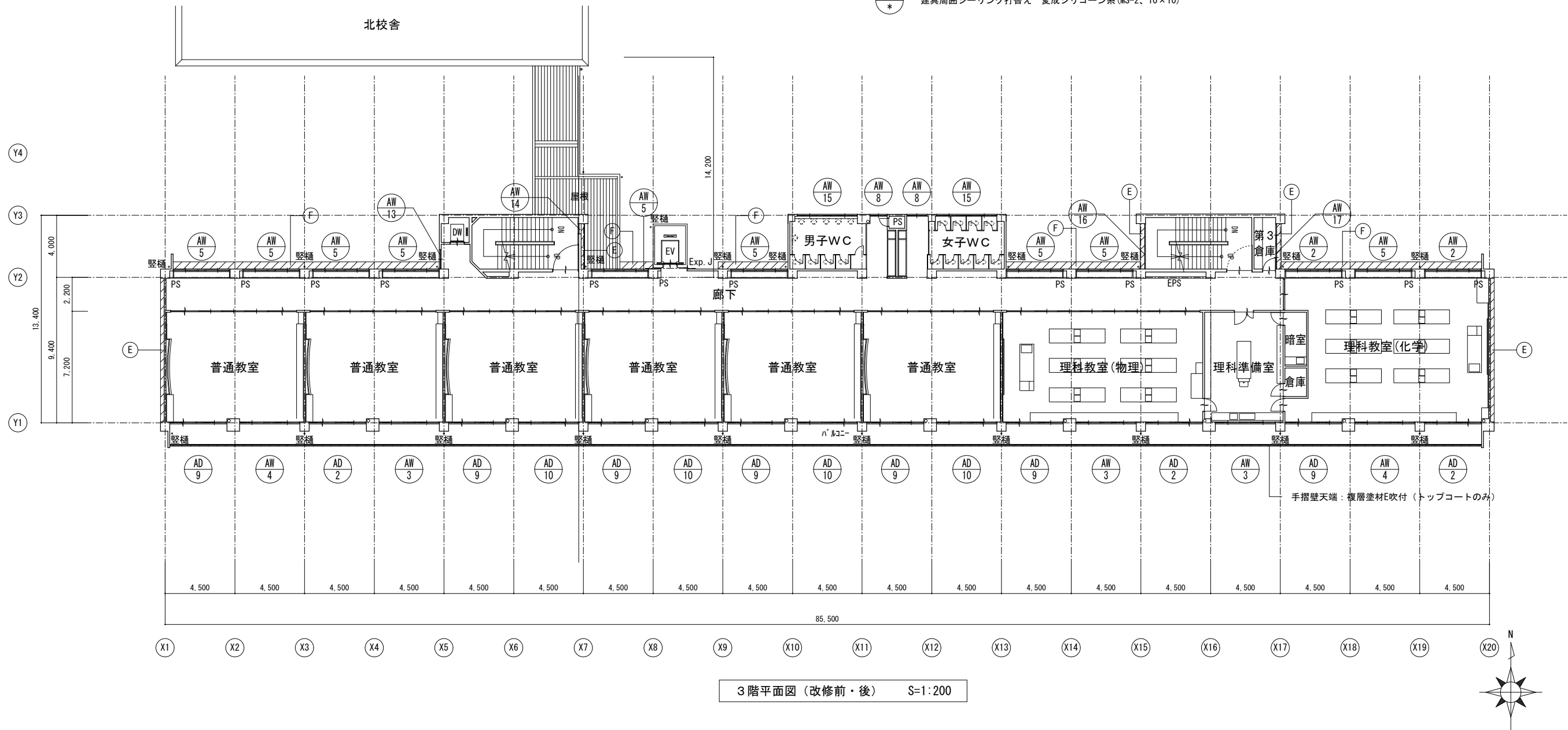


2階平面図（改修前・後） S=1:200



記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	平場：改質アスファルトシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	笠木：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	設備基礎：ウレタン塗膜防水	設備基礎：塗膜防水(X-2工法) [下地処理のうえ新設]
D	軒天端：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	軒天端：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	梁型：防水モルタル塗	梁型：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：改質アスファルトシート防水 [既存防水層撤去]	玄関庇：塗膜防水(X-1工法) [下地処理のうえ新設]
H	笠木：アルミ笠木 [撤去]	笠木：アルミ笠木 [新設]
RD	改修用ドレンφ150 [撤去]	改修用ドレンφ150用 縦引き [新設]
	縦樋：VPφ100 [撤去]	縦樋：VPφ100カラー SUS製組み金物共 [新設]

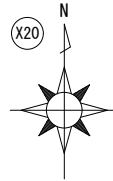
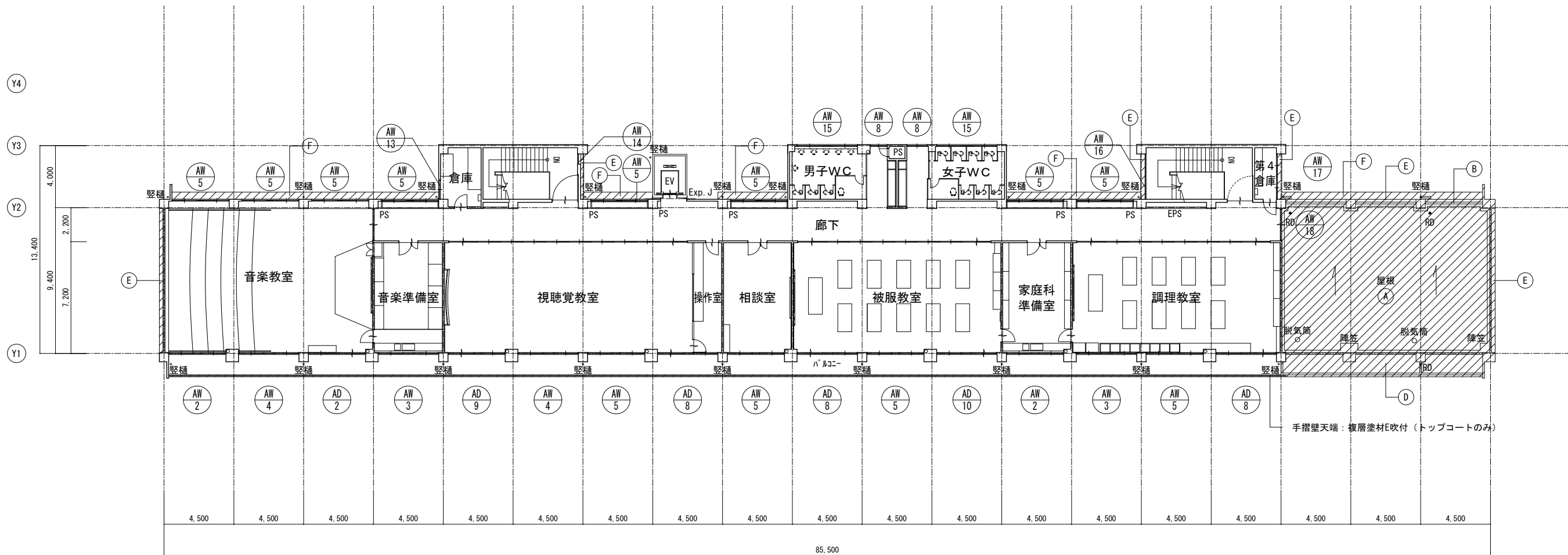
-  改修箇所を示す
-  建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)




記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	平場：改質アスファルトシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法)高反射タイプ [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	笠木：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	設備基礎：ウレタン塗膜防水	設備基礎：塗膜防水(X-2工法) [下地処理のうえ新設]
D	軒天端：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	軒天端：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	梁型：防水モルタル塗	梁型：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：改質アスファルトシート防水	玄関庇：塗膜防水(X-1工法) [下地処理のうえ新設]
H	笠木：アルミ笠木	笠木：アルミ笠木 [新設]
	RD：改修用ドレンφ150	RD：改修用ドレンφ150用 縦引き [新設]
	縦樋：VPφ100	縦樋：VPφ100カラー SUS製摺り金物共 [新設]


改修箇所を示す

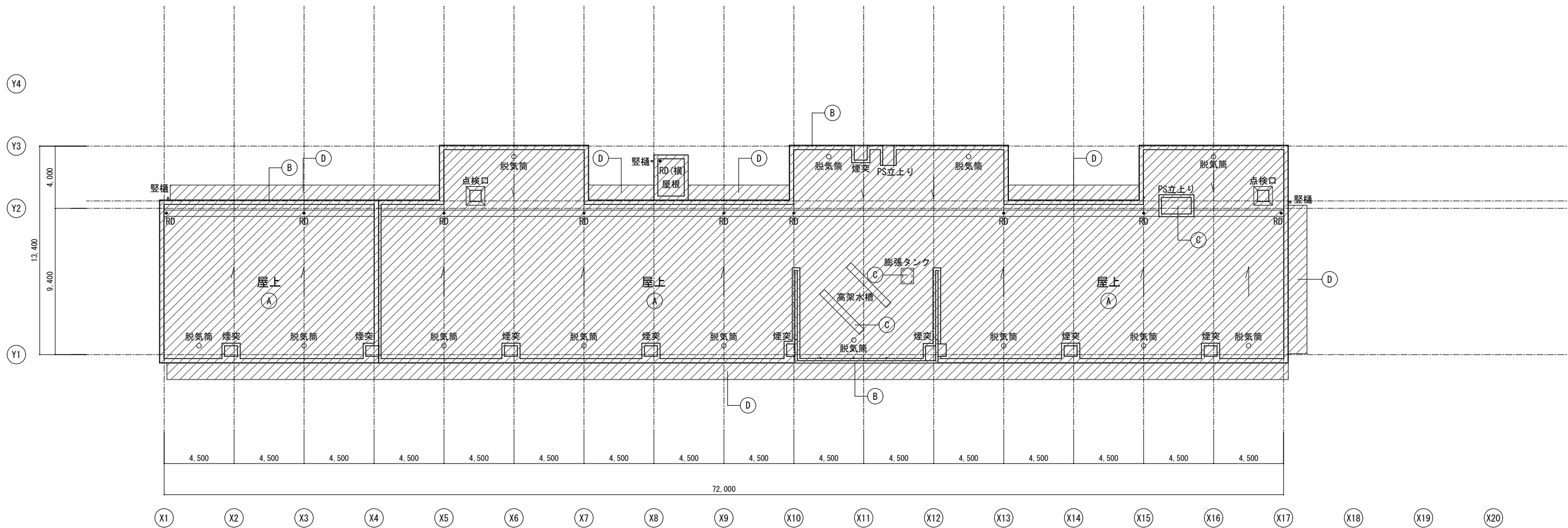
建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)



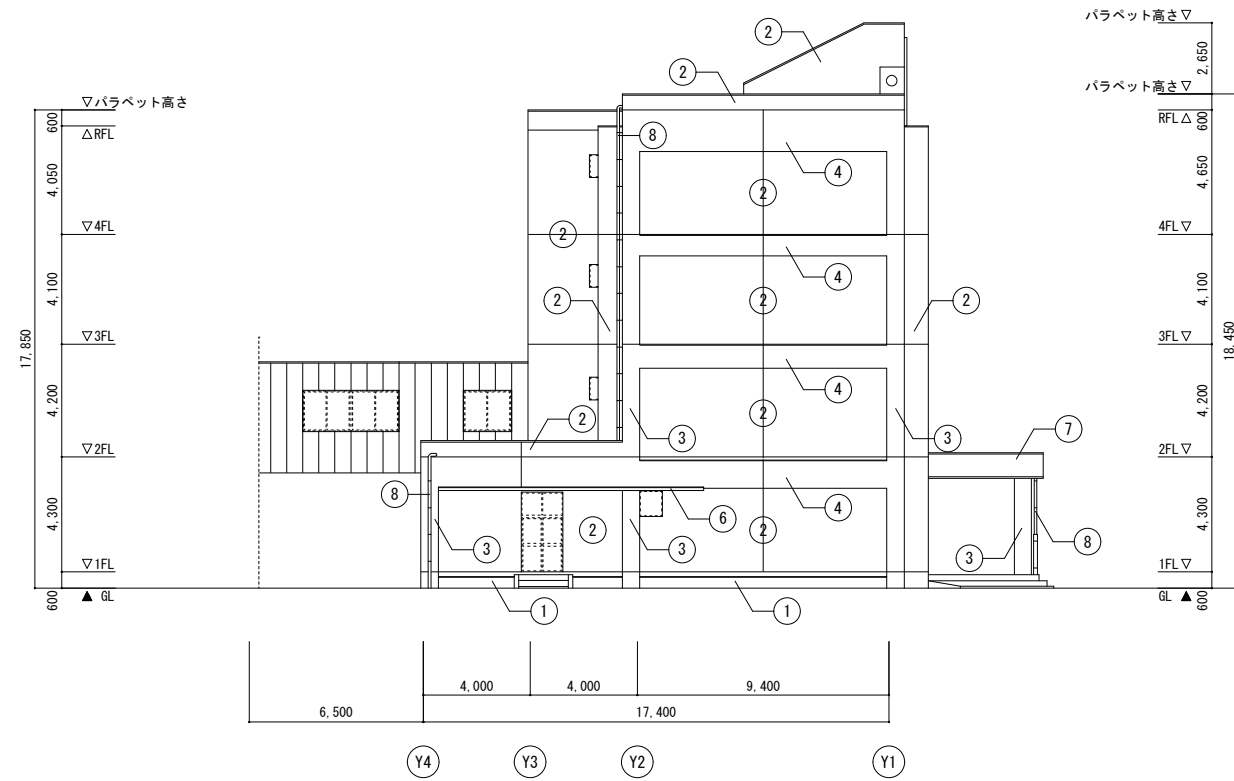
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	平場：改質アスファルトシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法)高反射タイプ [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	笠木：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	設備基礎：ウレタン塗膜防水	設備基礎：塗膜防水(X-2工法) [下地処理のうえ新設]
D	軒天端：防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	軒天端：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	梁型：防水モルタル塗	梁型：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
G	玄関庇：改質アスファルトシート防水 [既存防水層撤去]	玄関庇：塗膜防水(X-1工法) [下地処理のうえ新設]
H	笠木：アルミ笠木 [撤去]	笠木：アルミ笠木 [新設]
	RD：改修用ドレンφ150 [撤去]	RD：改修用ドレンφ150用 縦引き [新設]
	壁樋：VPφ100 [撤去]	壁樋：VPφ100カラー SUS製摺り金物共 [新設]

 改修箇所を示す

 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)

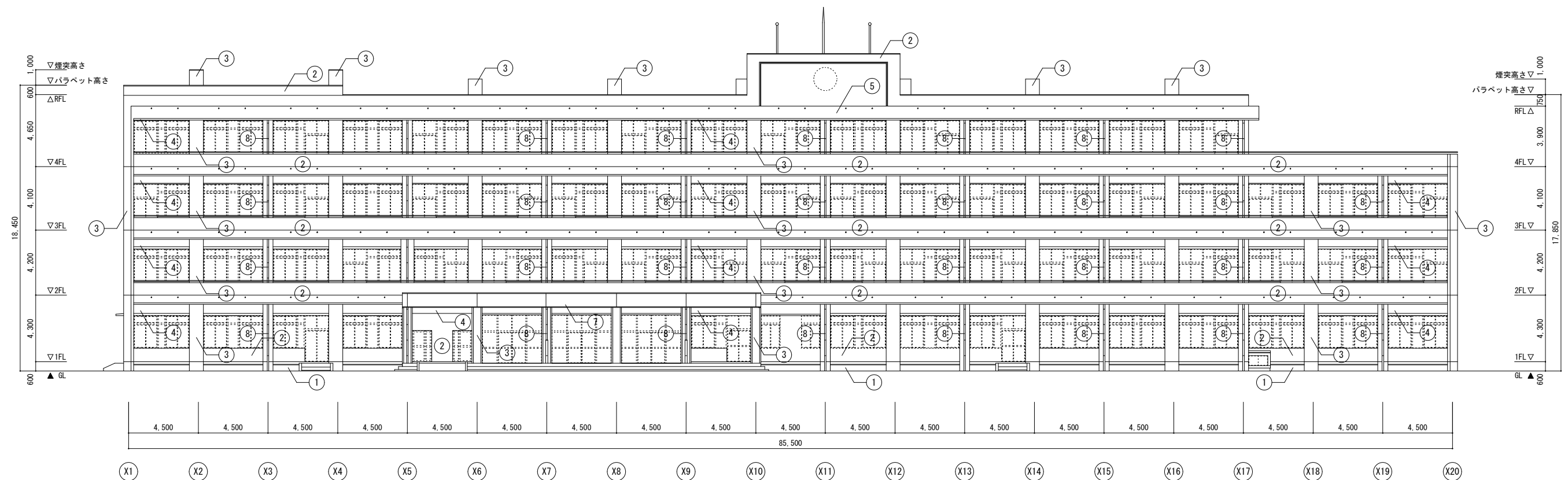


R階平面図（改修前・後） S=1:200



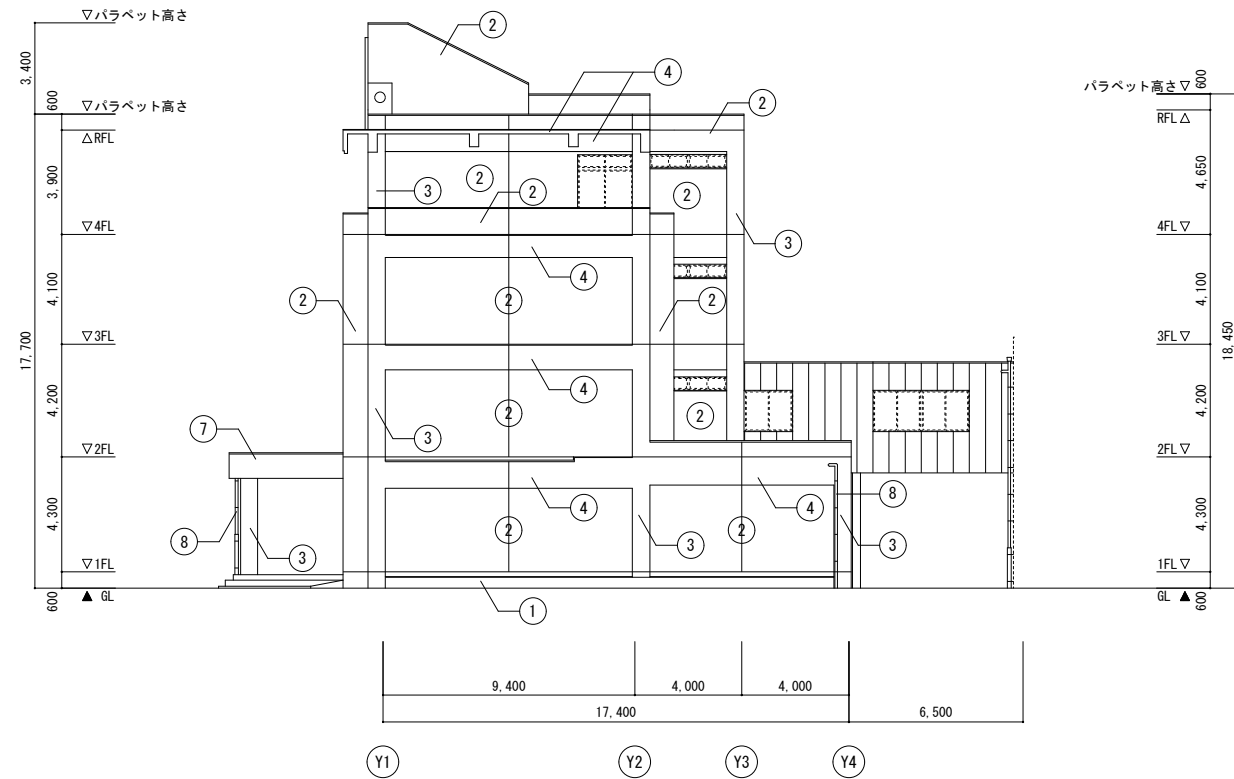
西面立面図 (改修前・後) S=1:200

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
①	根回り：防水モルタル塗	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗 (M) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	壁：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	柱型：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	柱型：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	梁型：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	梁型：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	軒面：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	軒面：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	庇：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	庇：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑦	玄関庇：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	玄関庇：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑧	縦樋：VPφ100 [撤去 (掴み金物共)]	縦樋：VPφ100カラー [新設 (掴み金物共)]
	建具周囲：変成シリコン系 (MS-2、10×10) [撤去]	建具周囲：変成シリコン系 (MS-2、10×10) [新設]



南面立面図 (改修前・後) S=1:200



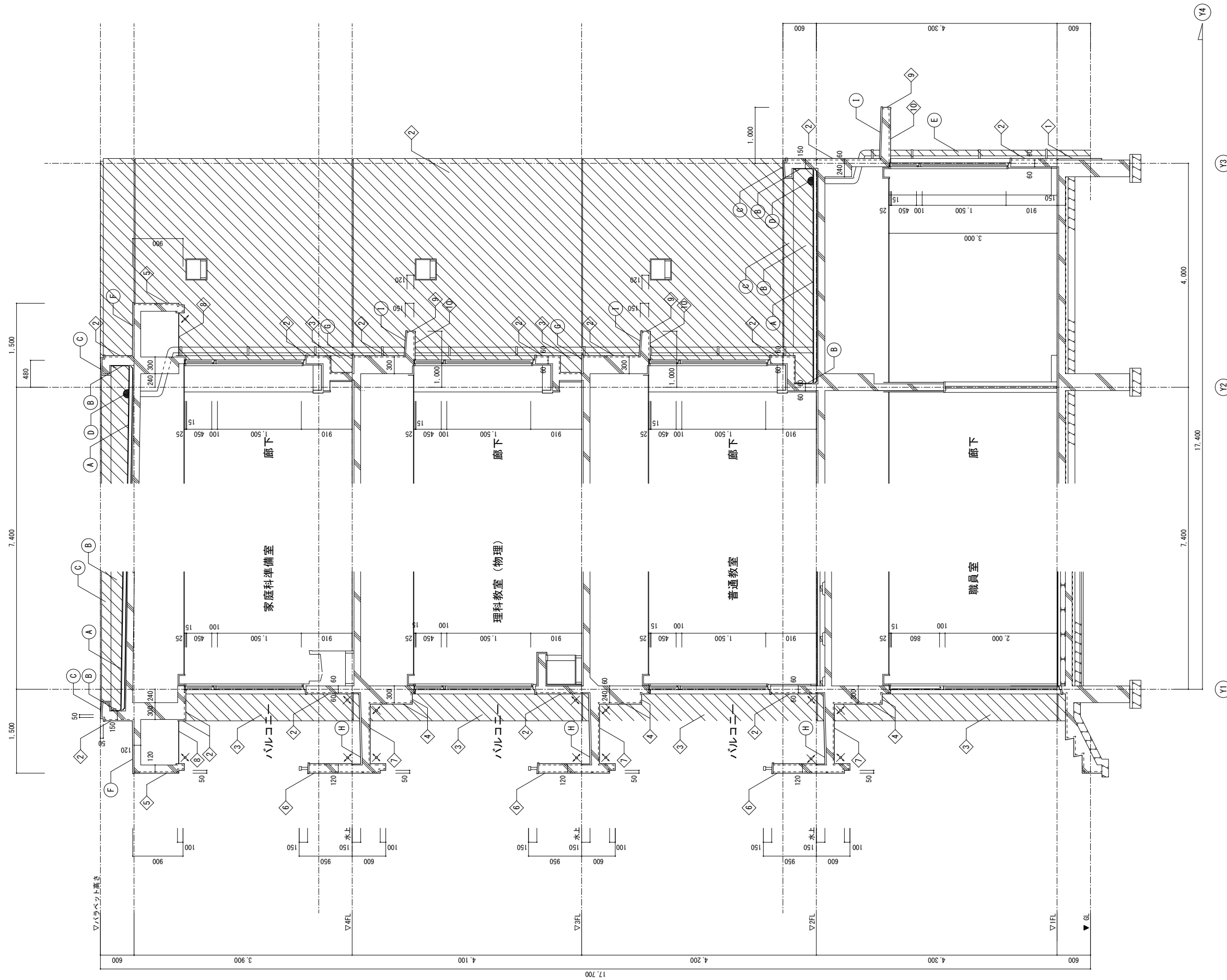


東面立面図 (改修前・後) S=1:200

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
①	根回り：防水モルタル塗	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗 (M) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	壁：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	柱型：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	柱型：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	梁型：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	梁型：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	軒面：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	軒面：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	庇：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	庇：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑦	玄関庇：コンクリート打放し補修 防水形複層塗材E吹付 [吹付材撤去]	玄関庇：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑧	縦樋：VPφ100 [撤去 (掴み金物共)]	縦樋：VPφ100カラー [新設 (掴み金物共)]
	建具周囲：変成シリコン系 (MS-2、10×10) [撤去]	建具周囲：変成シリコン系 (MS-2、10×10) [新設]



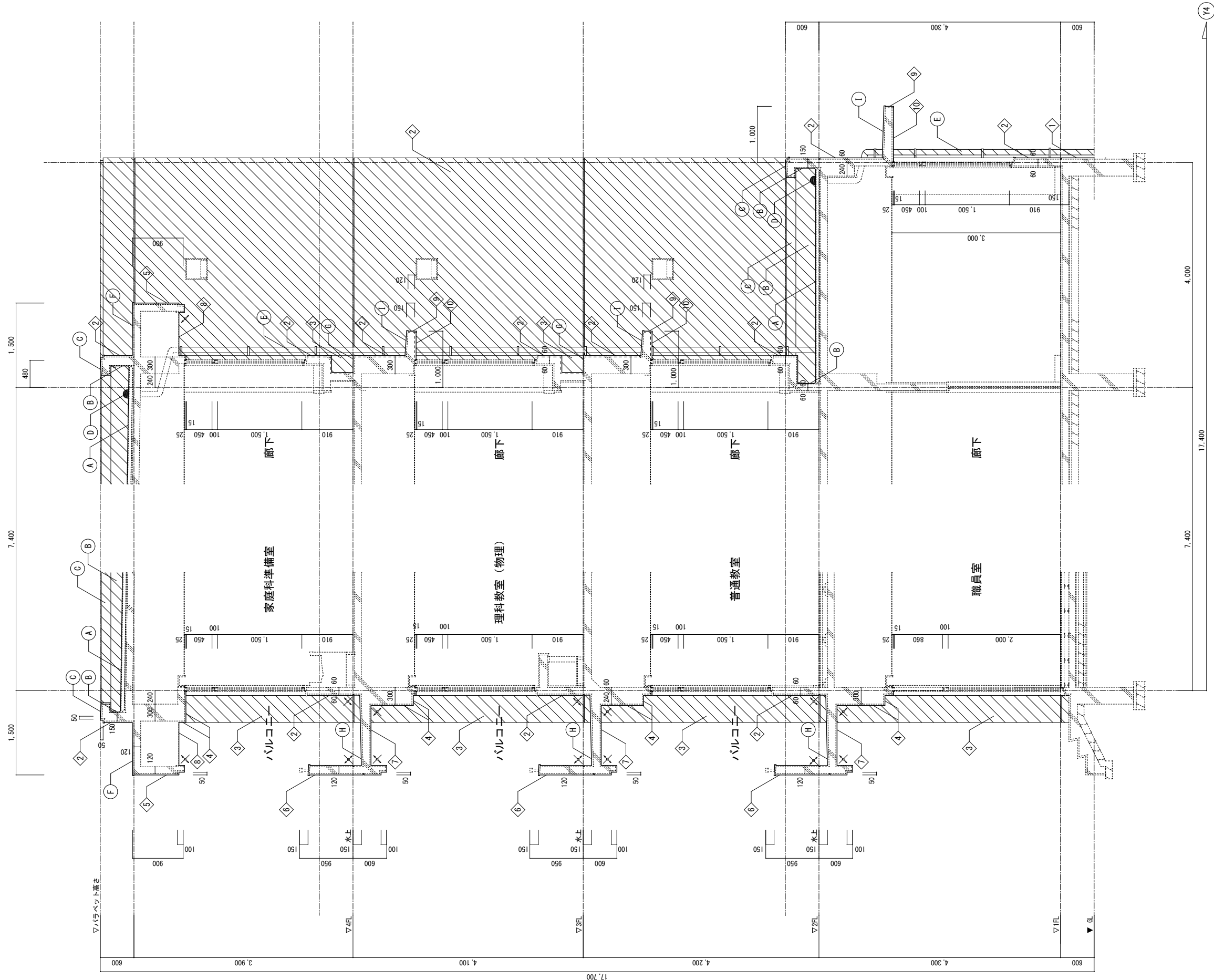
北面立面図 (改修前・後) S=1:200



矩計図(1) (改修前) S=1:50

記号	部位	仕上材(下地)	(改修前)
X	防水改修工事		
A	平場	改質アスファルトシート防水(C)	モルタル塗
B	立上り	改質アスファルトシート防水(C) [既存防水層撤去]	防水形複層塗材E吹付(C)
C	柱木	防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	防水形複層塗材E吹付(C)
D	RD	改修用ドレンφ150用 [撤去(挿み金物共)]	防水形複層塗材E吹付(C)
E	壁	VPφ100 [撤去(挿み金物共)]	防水形複層塗材E吹付(C)
F	軒先端	防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗	防水形複層塗材E吹付(C)
G	梁型天端	防水モルタル塗	防水形複層塗材E吹付(C)
H	バルコニー床	防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水	防水形複層塗材E吹付(C)
I	庇天端	防水モルタル塗	防水形複層塗材E吹付(C)
J	玄関庇平場	改質アスファルトシート防水(C) [既存防水層撤去]	防水形複層塗材E吹付(C)
K	玄関庇立上り	改質アスファルトシート防水(C) [既存防水層撤去]	防水形複層塗材E吹付(C)
L	玄関庇柱木	挿み伸え金物 [撤去]	防水形複層塗材E吹付(C)
	建具周囲	変成シリコン系(MS-2, 10×10)	

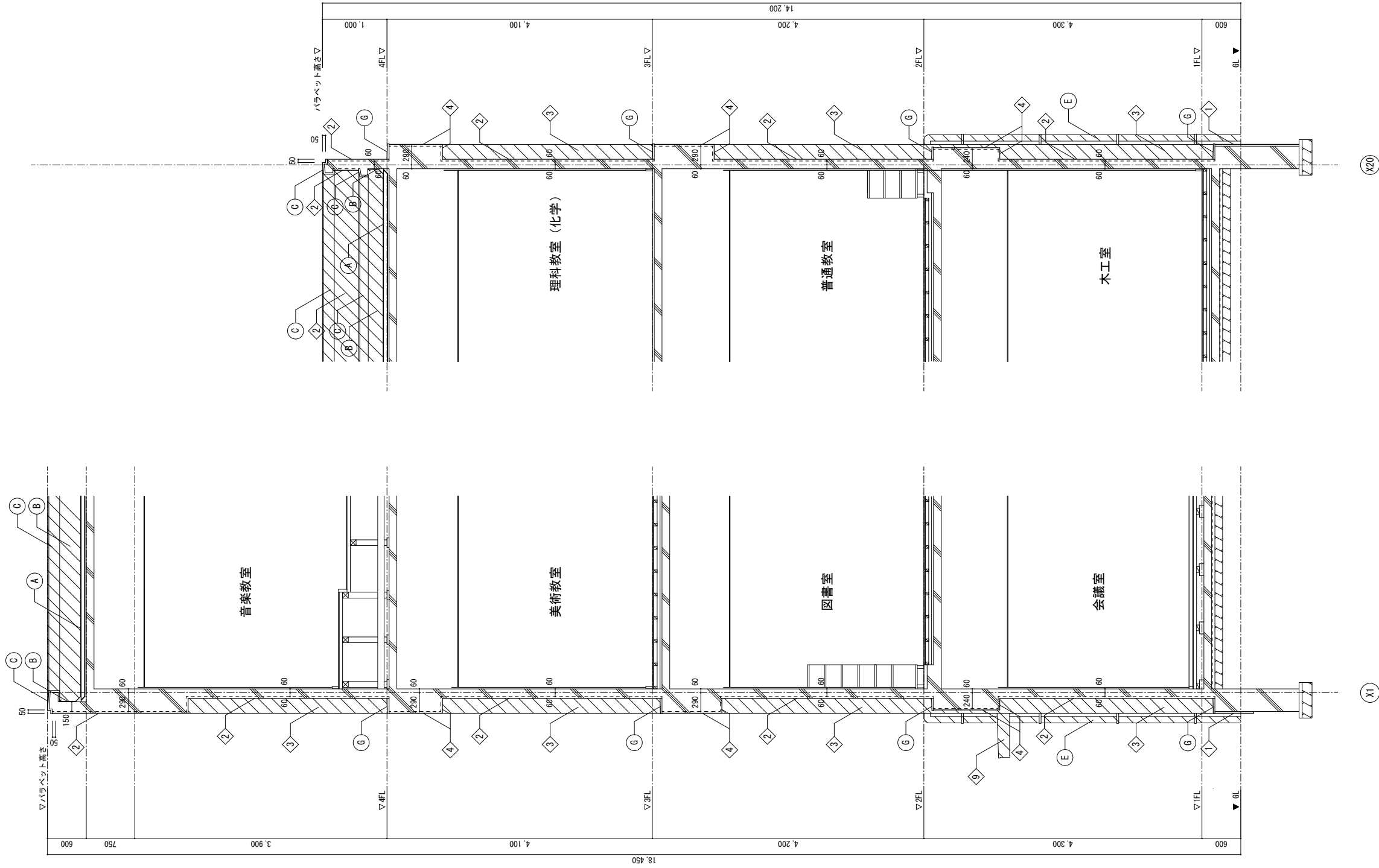
凡例
 X ...仕上げ見切りを示す



矩計図(1) (改修後) S:1:50

記号	部位	仕上り材 (下地) (改修後)	外壁改修工事
X	防水改修工事		
A	平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C) 高反射タイプ [下地処理のうえ新設]	① 根回り : 水性シリコン、フッ素系透水性吸水防止塗料塗 (M) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
B	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C) 高反射タイプ [下地処理のうえ新設]	② 壁 : 防水形複層塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設] ③ 柱型 : 防水形複層塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	柱木	塗膜防水(X-2工法) (M) [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	④ 梁型 : 防水形複層塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	RD	改修用ドレンφ150用 [新設]	⑤ 軒 : 防水形複層塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	壁	Vφ100カラー SUS製押込み金物共 [新設]	⑥ 手摺壁 : 防水形複層塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	軒天端	塗膜防水(X-2工法) (M) [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	⑦ スラブ下 : 外装薄塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
G	梁型天端	塗膜防水(X-2工法) (M) [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	⑧ 最上階天井 : AE塗 (フレキシブルボード) [下地調整のうえ新設]
H	バルコニー床	防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水 [既存のまま]	⑨ 庇 : 防水形複層塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
I	庇天端	塗膜防水(X-2工法) (M) [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	⑩ 庇裏 : 外装薄塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
J	玄関庇平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	⑪ 玄関庇 : 防水形複層塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
K	玄関庇立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	⑫ 玄関庇裏 : 外装薄塗料E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
L	玄関庇柱木	端部押え金物 [新設]	
	建具周囲	塗成シリコン系 (MS-2, 10×10)	

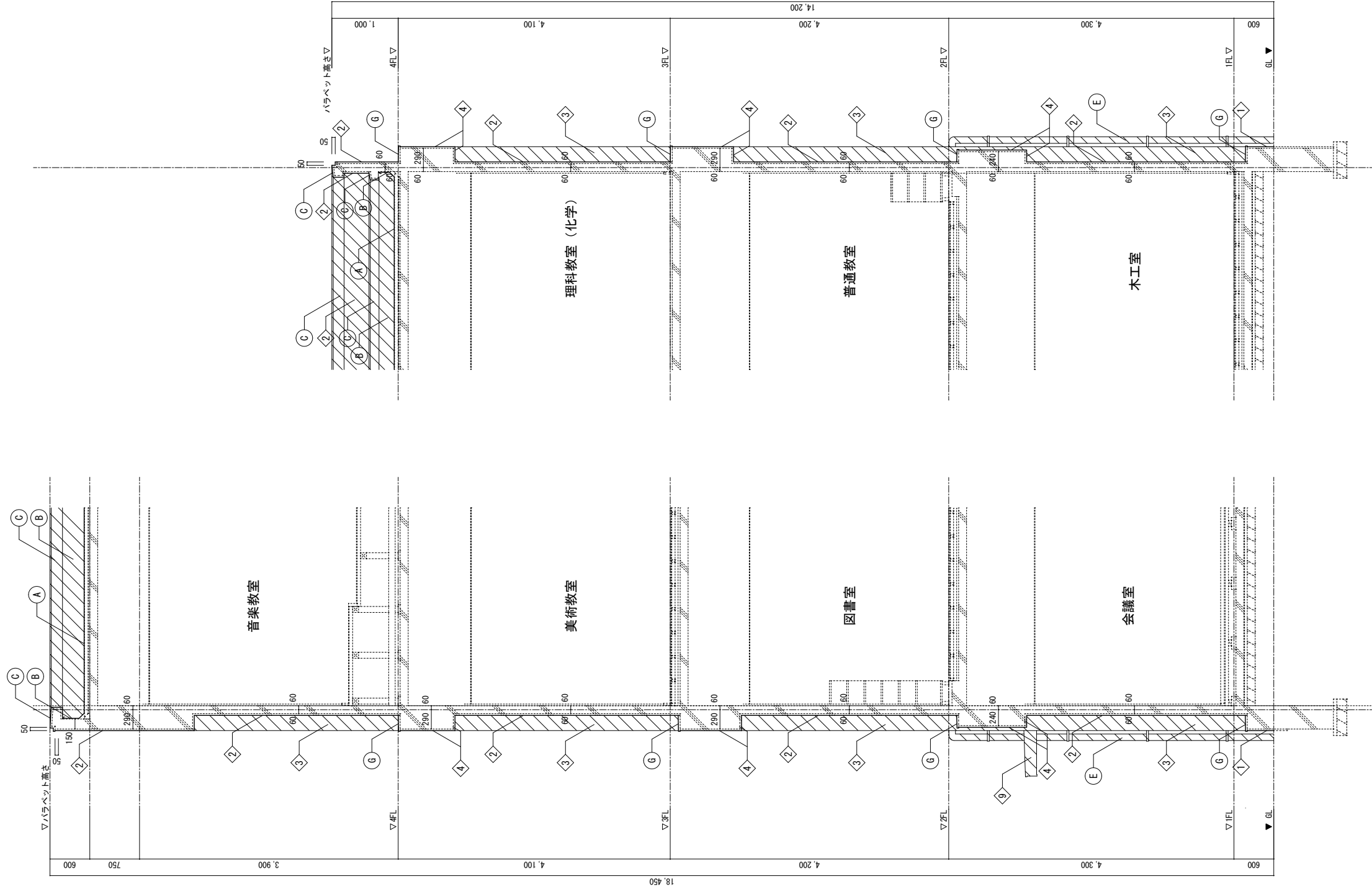
凡例
X ...仕上り見切りを示す



矩計図(2) (改修前) S=1:50

記号		部位	仕上材(下地) (改修前)
X		防水改修工事	
A		平場	: 改質アスファルトシート防水 (C)
B		立上り	: 改質アスファルトシート防水 (C) [既存防水層撤去]
C		柱木	: 防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗
D		RD	: 改修用ドレンφ150用 [撤去]
E		壁	: VPφ100 [撤去(挿み金物共)]
F		軒天端	: 防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗
G		梁型天端	: 防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水
H		バルコニー床	: 防水モルタル塗
I		庇天端	: 防水モルタル塗
J		玄関庇平場	: 改質アスファルトシート防水 (C) [既存防水層撤去]
K		玄関庇立上り	: 改質アスファルトシート防水 (C) [既存防水層撤去]
L		玄関庇柱木	: 端部挿み金物 [撤去]
		建屋周囲	: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10) [撤去]
		外壁改修工事	
1		根回り	: モルタル塗
2		壁	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
3		柱型	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
4		梁型	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
5		軒	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
6		手摺壁	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
7		スラブ下	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
8		最上階天井	: フレキシブルボード
9		庇	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
10		庇裏	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
11		玄関庇	: 防水形複層塗材E吹付 (C)
12		玄関庇裏	: 防水形複層塗材E吹付 (C)

凡例
X...仕上げ異切りを示す



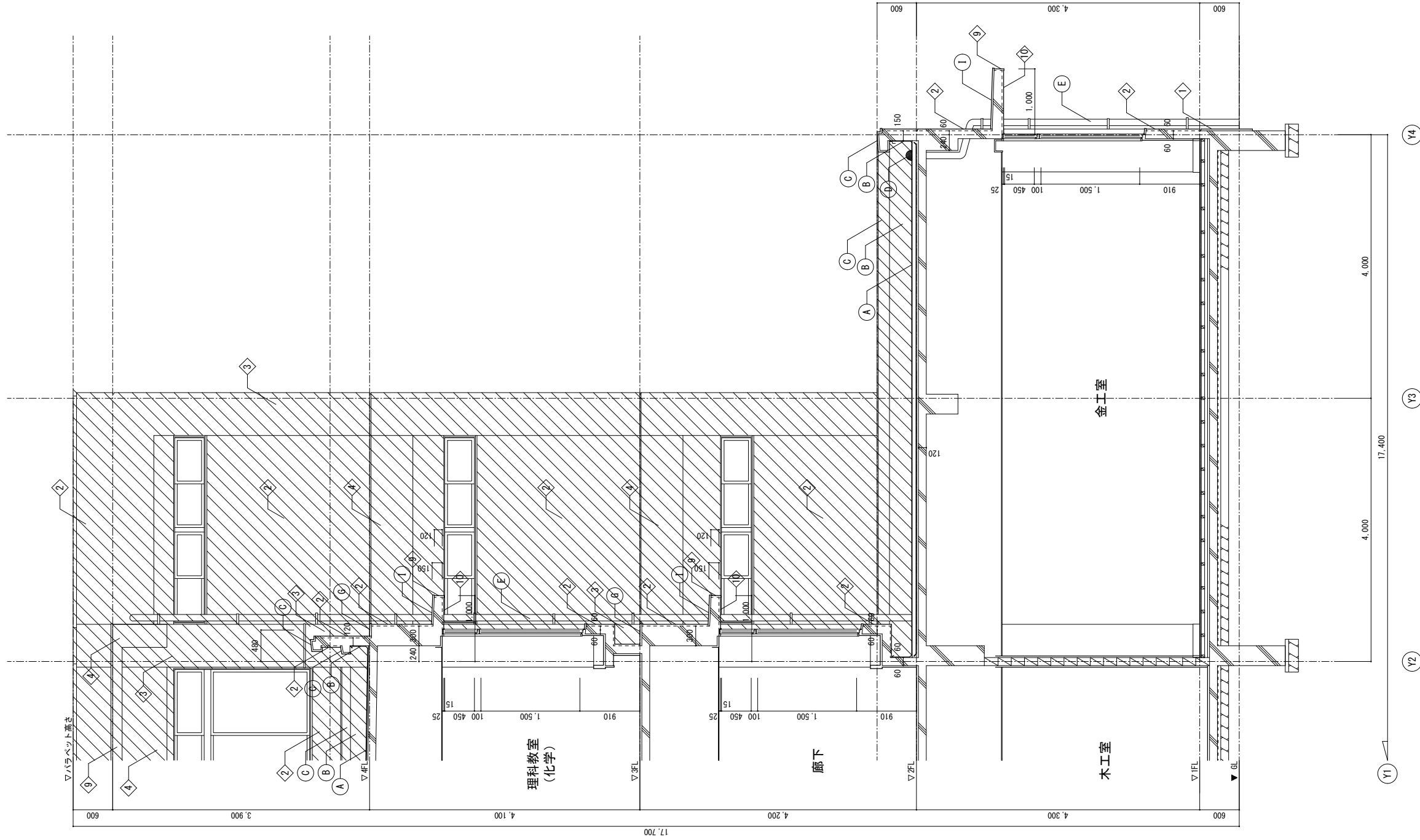
矩計図(2) (改修後) S=1:50

(X1)

(X20)

記号	部位	仕上り材(下地)	改修後
X	外壁改修工事		
A	防水改修工事	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法)(C) 高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
B	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法)(C) 高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
C	柱木	塗膜防水(X-2工法)(M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
D	RO	改修用ドレンφ150用	[新設]
E	壁	VFφ100カラー SUS製揺み金物共	[新設]
F	軒天端	塗膜防水(X-2工法)(M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
G	梁型天端	塗膜防水(X-2工法)(M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
H	バルコニー床	防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水	[既存のまま]
I	庇天端	塗膜防水(X-2工法)(M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
J	玄関庇平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法)(C)	[新設]
K	玄関庇立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法)(C)	[新設]
L	玄関庇柱木	端部押え金物	[新設]
	建具周囲	塗成シリコン系(MS-2、10×10)	[新設]

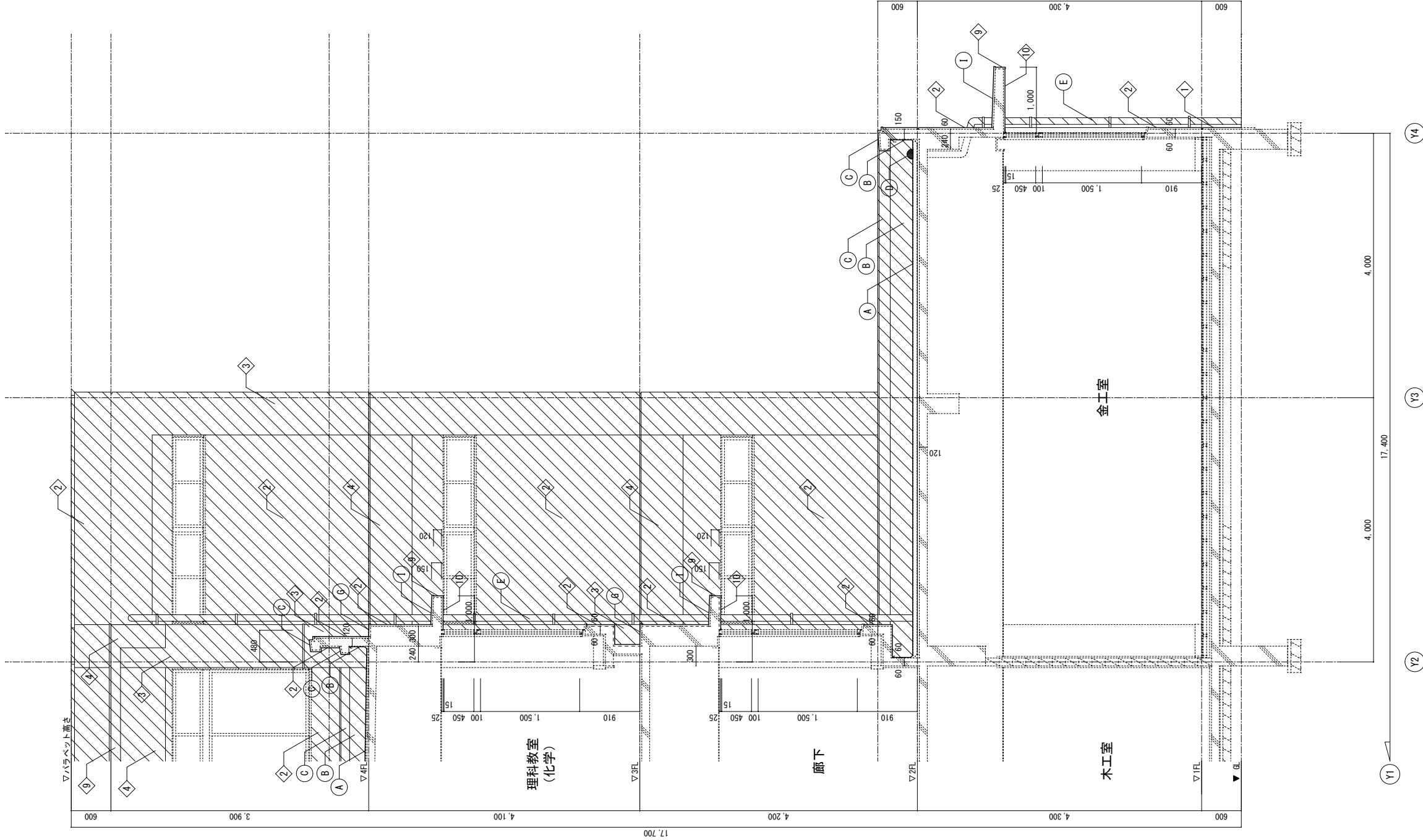
凡例
X ……仕上げ見切りを示す



矩計図 (3) (改修前) S=1:50

配号 部位 : 仕上材 (下地) (改修前)	
X	防水改修工事
A	平場 : 改質アスファルトシート防水 (C)
B	立上り : 改質アスファルトシート防水 (C) [既存防水層撤去]
C	柱木 : 防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗
D	RD : 改修用ドレンφ150用 [撤去]
E	壁 : VPφ100 [撤去 (挿み金物共)]
F	軒天端 : 防水モルタル塗 浸透性吸水防止材塗
G	梁型天端 : 防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水
H	バルコニー床 : 防水モルタル塗
I	庇天端 : 防水モルタル塗
J	玄関庇平場 : 改質アスファルトシート防水 (C) [既存防水層撤去]
K	玄関庇立上り : 改質アスファルトシート防水 (C) [既存防水層撤去]
L	玄関庇柱木 : 端部挿え金物 [撤去]
	建具周囲 : 変成シリコン系 (MS-2, 10×10) [撤去]
1	外壁改修工事
1	根回り : モルタル塗
2	壁 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
3	柱型 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
4	梁型 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
5	軒 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
6	手摺壁 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
7	スラブ下 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
8	最上階天井 : フレキシブルボード
9	庇 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
10	庇裏 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
11	玄関庇 : 防水形複層塗材E吹付 (C)
12	玄関庇裏 : 防水形複層塗材E吹付 (C)

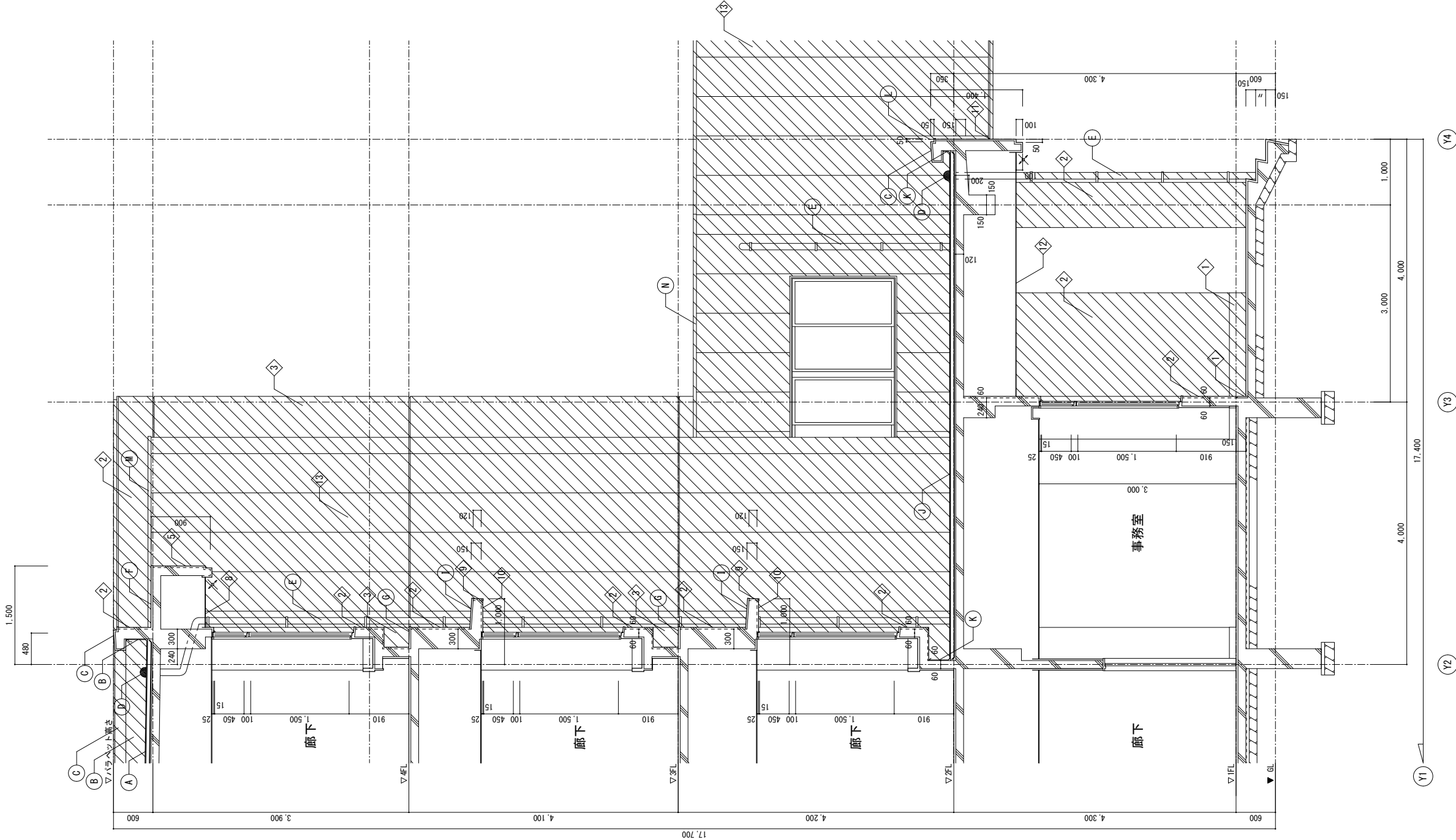
凡 例
X ...仕上げ異切りを示す



矩計図 (3) (改修後) S=1:50

記号	部位	仕上材 (下地)	(改修後)
X	外壁改修工事		
A	防水改修工事		
1	平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	[下地処理のうえ新設]
2	高反射タイプ	高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
B	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	[下地処理のうえ新設]
3	高反射タイプ	高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
C	笠木	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
D	RD	改修用トレンç150用	[新設]
E	壁	VPφ100カラー SUS製押え金物共	[新設]
F	軒天端	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
G	梁型天端	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
H	ハルコニー床	防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水	[既存のまま]
I	庇天端	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
J	玄関底平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
K	玄関底上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
L	玄関底笠木	端部押え金物	[新設]
	建具周囲	変成シリコーン系 (MS-2、10×10)	[新設]

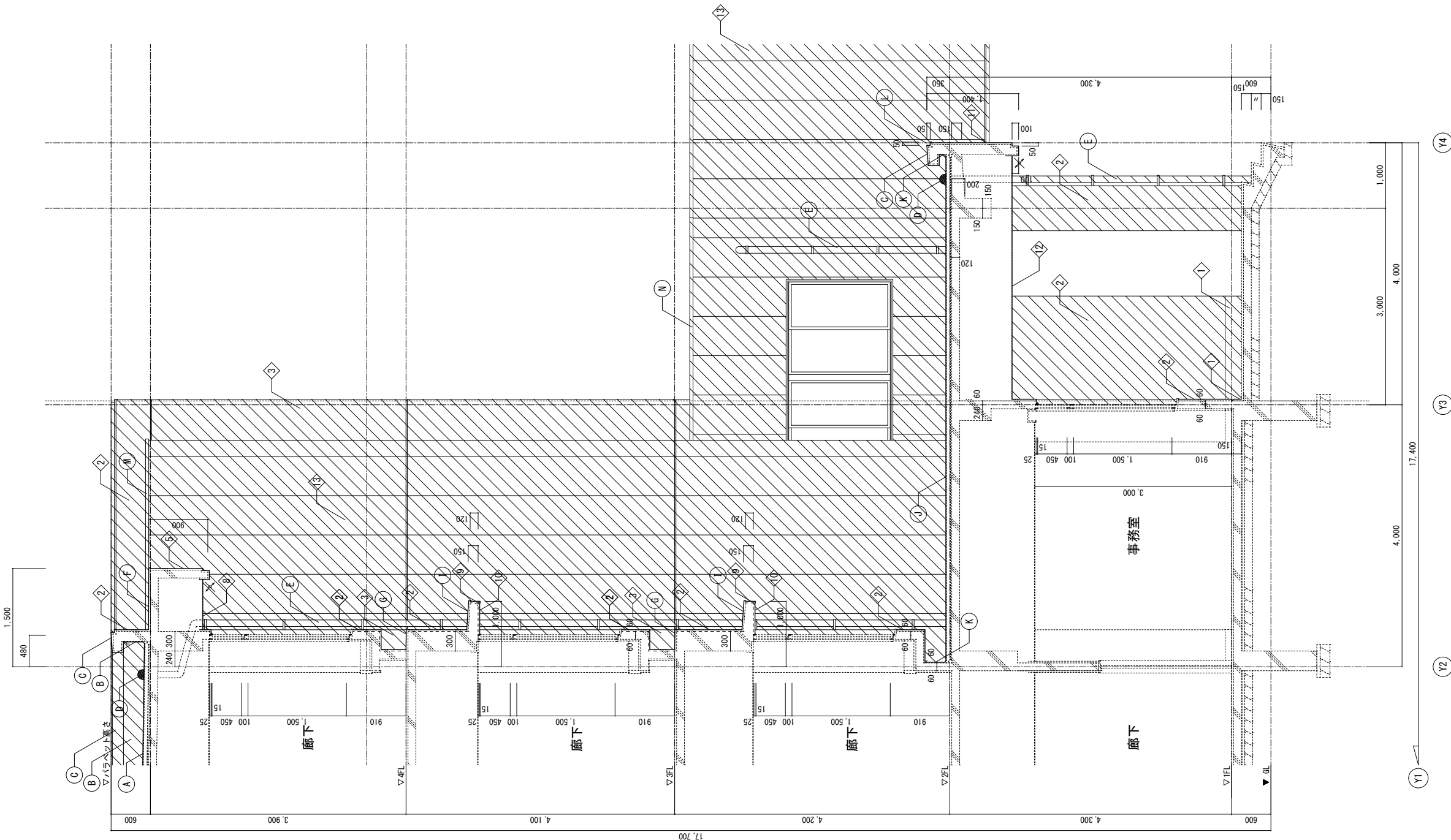
凡例
X ……仕上げ見切りを示す



矩計図(4) (改修前) S=1:50

記号	部位	仕上り材 (下地)	(改修前)
X	防水改修工事		
A	平場	改質アスファルトシート防水 (C)	
B	立上り	改質アスファルトシート防水 (C)	[既存防水層撤去]
C	笠木	防水モルタル塗 浸透性吸水防止剤塗	
D	RD	改修用ドレンφ150用	[撤去]
E	壁樋	VPφ100	[撤去 (埋み金物未)]
F	軒先端	防水モルタル塗 浸透性吸水防止剤塗	
G	梁型先端	防水モルタル塗	
H	バルコニー床	防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水	
I	庇先端	防水モルタル塗	
J	玄関庇平場	改質アスファルトシート防水 (C)	[既存防水層撤去]
K	玄関庇立上り	改質アスファルトシート防水 (C)	[既存防水層撤去]
L	玄関庇笠木	端部押え金物	[撤去]
M	EV笠木	アルミ笠木	[撤去]
N	渡り廊下笠木	カラー鋼板 (t=0.6)	[撤去]
	建屋間隙	成成シリコン系 (MS-2, 10×10)	[撤去]
	外壁改修工事		
	① 根回り	モルタル塗	
	② 壁	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	③ 柱型	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	④ 梁型	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑤ 軒	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑥ 手摺壁	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑦ スラブ下	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑧ 最上階天井	フレキシブルボード	
	⑨ 庇	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑩ 底裏	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑪ 玄関庇裏	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑫ 玄関庇裏	防水形複層塗材E吹付 (C)	
	⑬	外装薄塗材E吹付 (ALC)	

凡例
X...仕上げ異切りを示す



矩計図(4) (改修後) S=1:50

記号	部位	仕上材(下地)	(改修後)
X	防水改修工事		
A	平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) (C) 高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
B	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C) 高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
C	柱木	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
D	RD	改修用ドレンφ150用	[新設]
E	壁	VPφ100カラー SUS罩押し金物共	[新設]
F	軒天端	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
G	梁型天端	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
H	バルコニー床	防水モルタル塗 ウレタン塗膜防水	[既存のまま]
I	底天端	塗膜防水(X-2工法) (M)	[劣化部処理、下地処理のうえ新設]
J	玄関底平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) (C)	[新設]
K	玄関底立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	[新設]
L	玄関底柱木	端部押し金物	[新設]
M	EV柱木	アルミ柱木	[新設]
N	渡り廊下柱木	カラー鋼板(t=0.6)	[新設]
	建具周囲	変成シリコン系(MS-2、10×10)	[新設]
X	外壁改修工事		
1	根回り	水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗 (M)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁	防水形複層塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	柱型	防水形複層塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	梁型	防水形複層塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
5	軒	防水形複層塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
6	手摺壁	防水形複層塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
7	スラブ下	外装薄塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
8	最上階天井	AE塗(フレキシブルボード)	[下地調整のうえ新設]
9	底	防水形複層塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
10	底裏	外装薄塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
11	玄関底	防水形複層塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
12	玄関底裏	外装薄塗材E吹付 (C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
13		防水形複層塗材E吹付 (ALC)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]

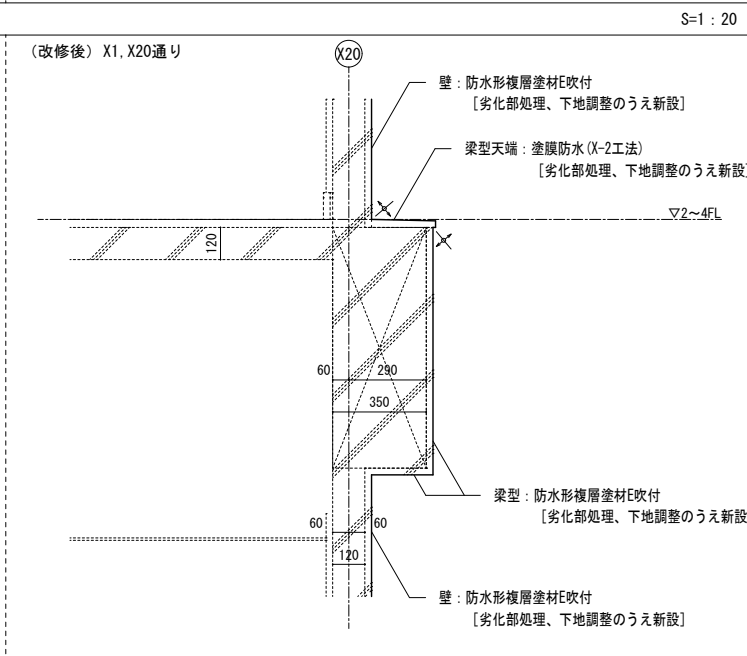
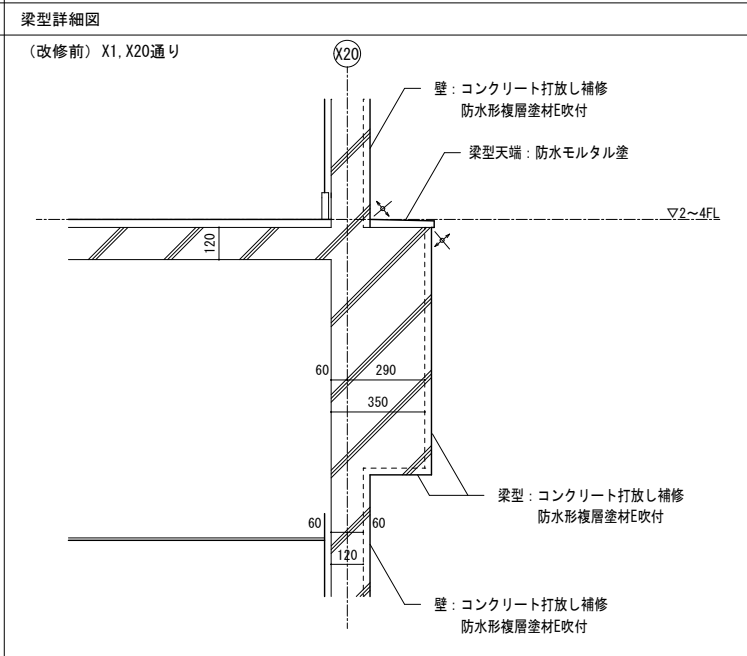
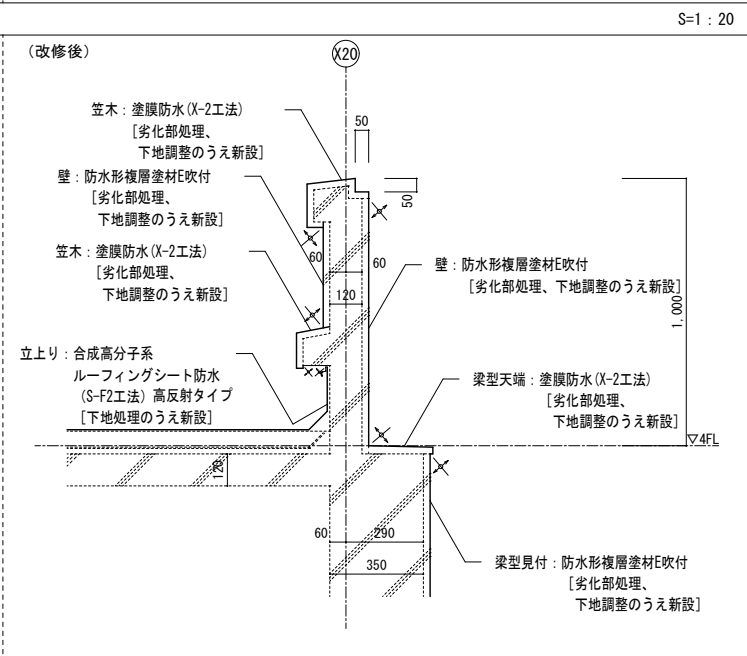
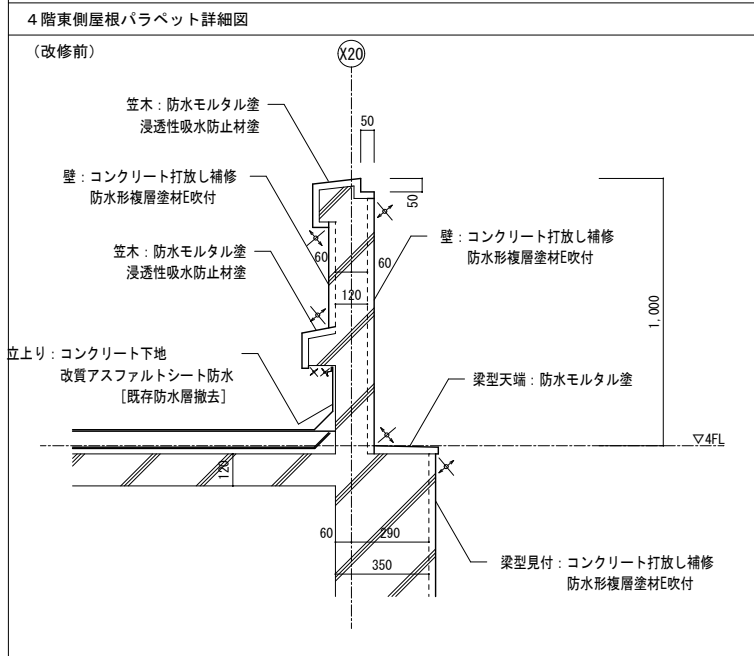
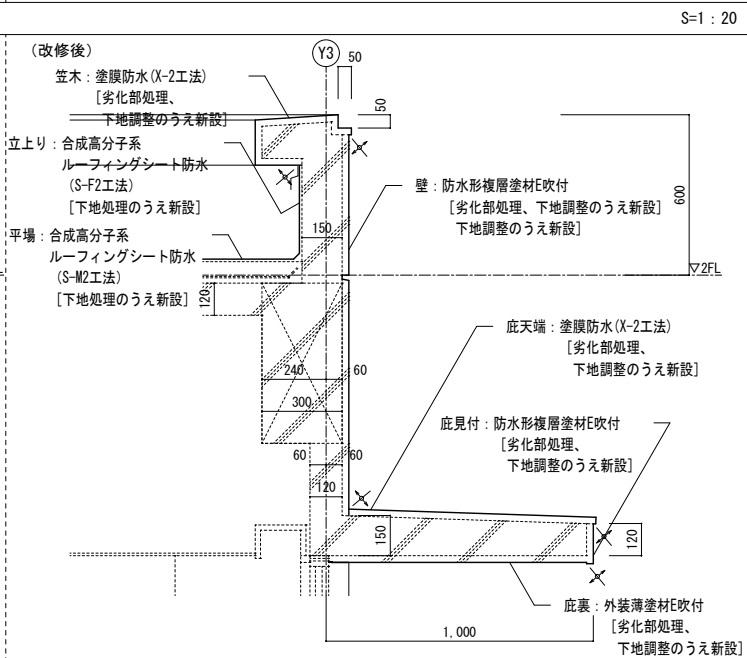
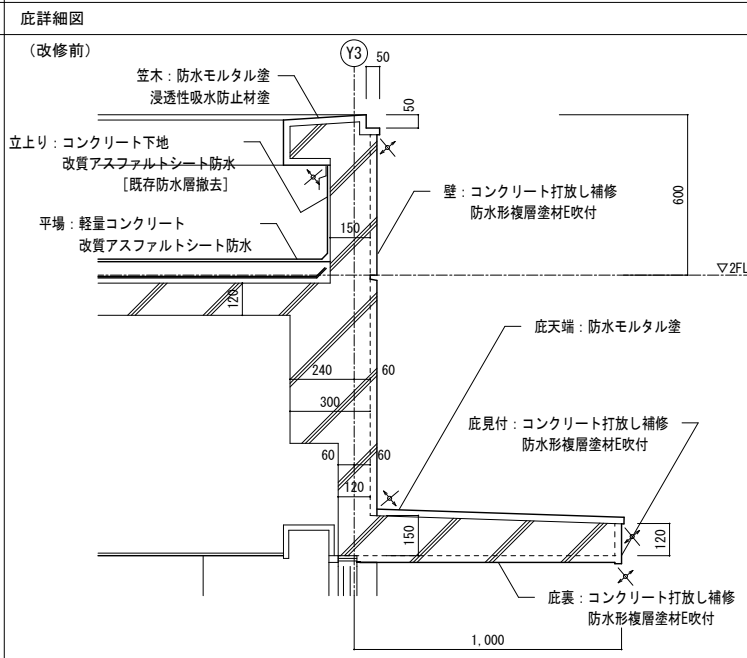
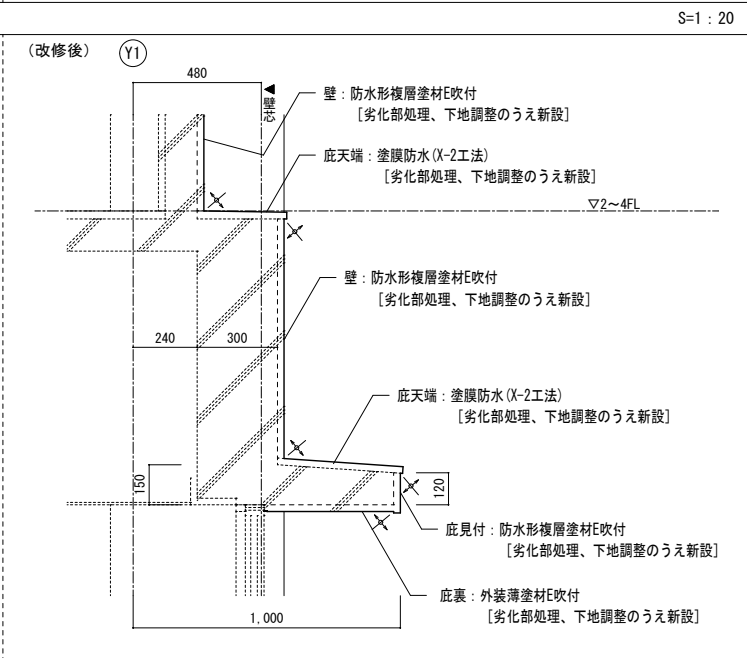
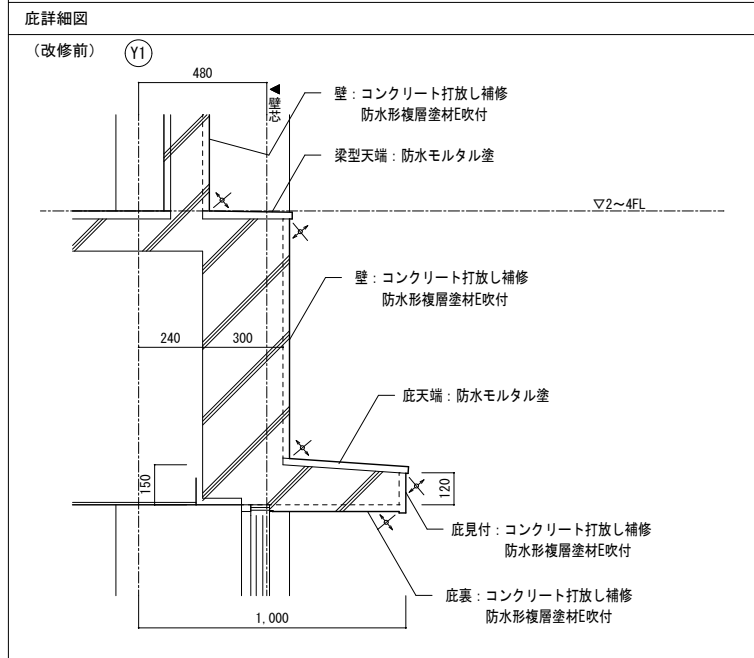
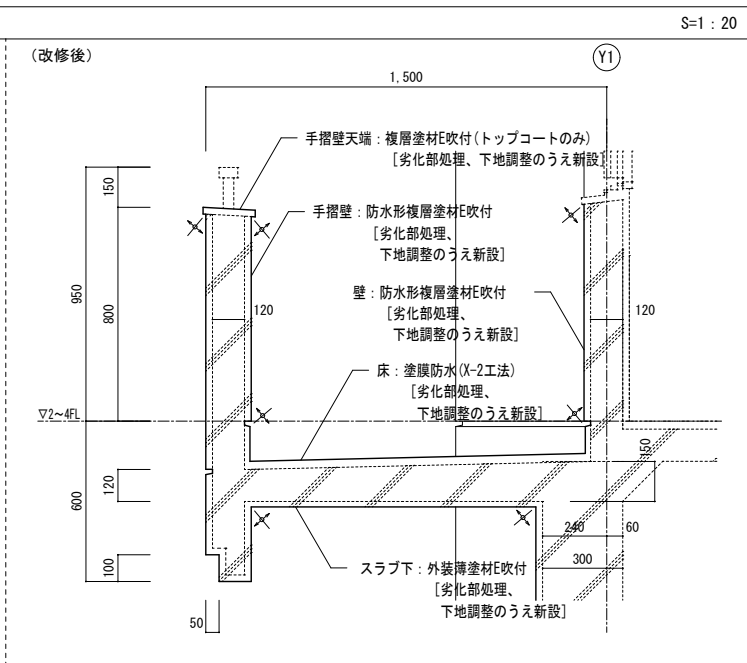
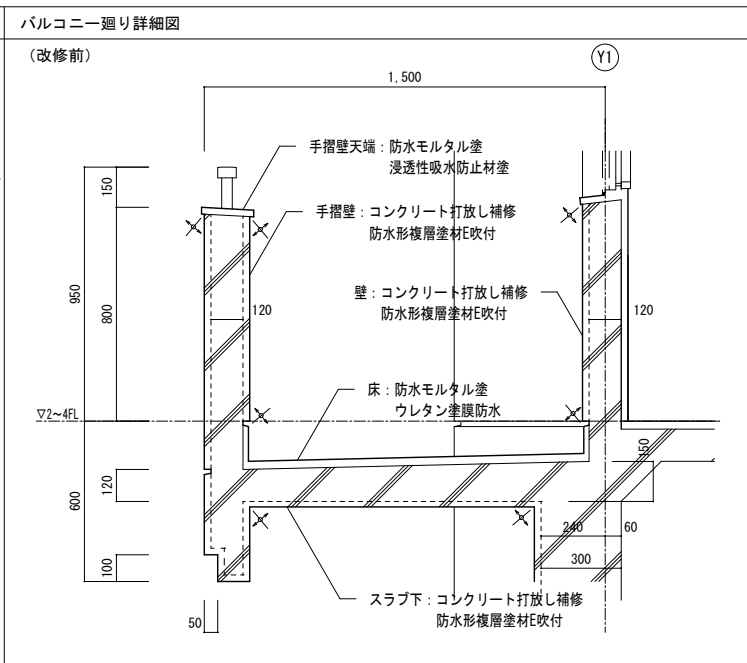
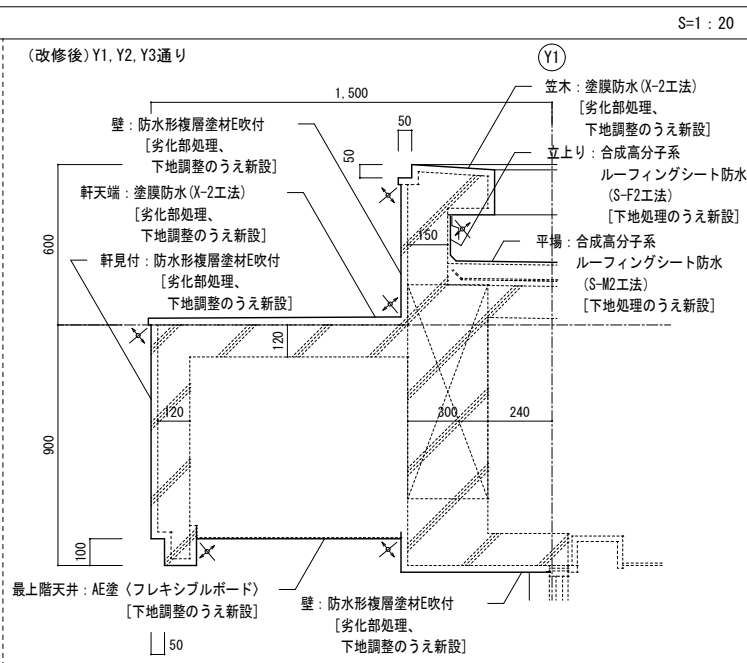
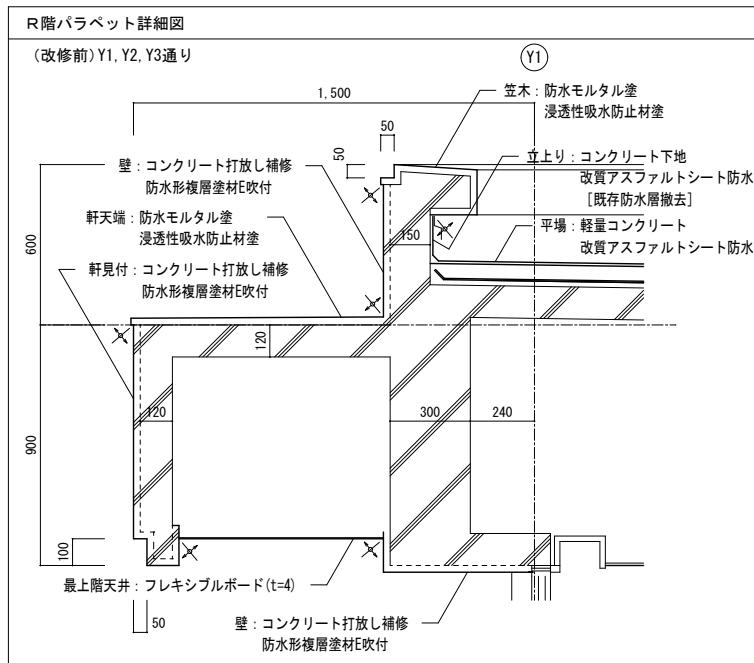
凡例
X ……仕上げ見切りを示す

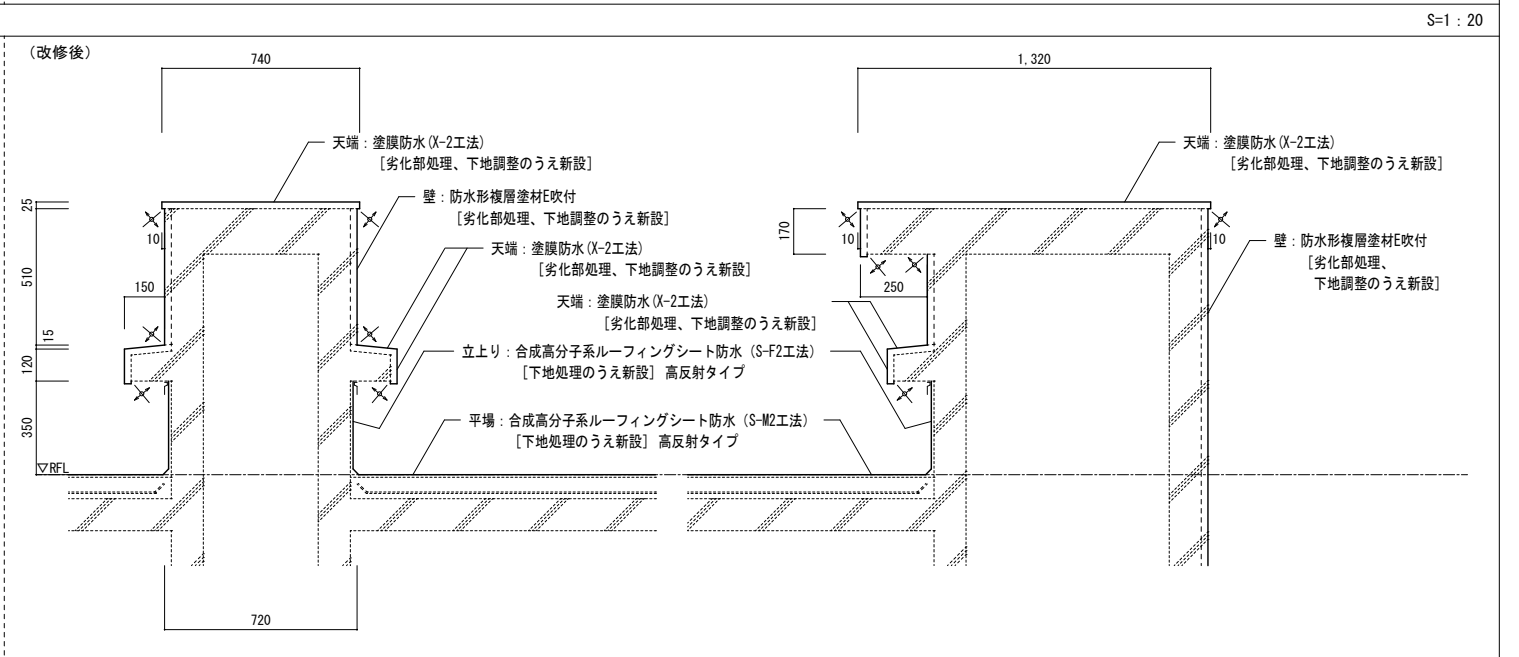
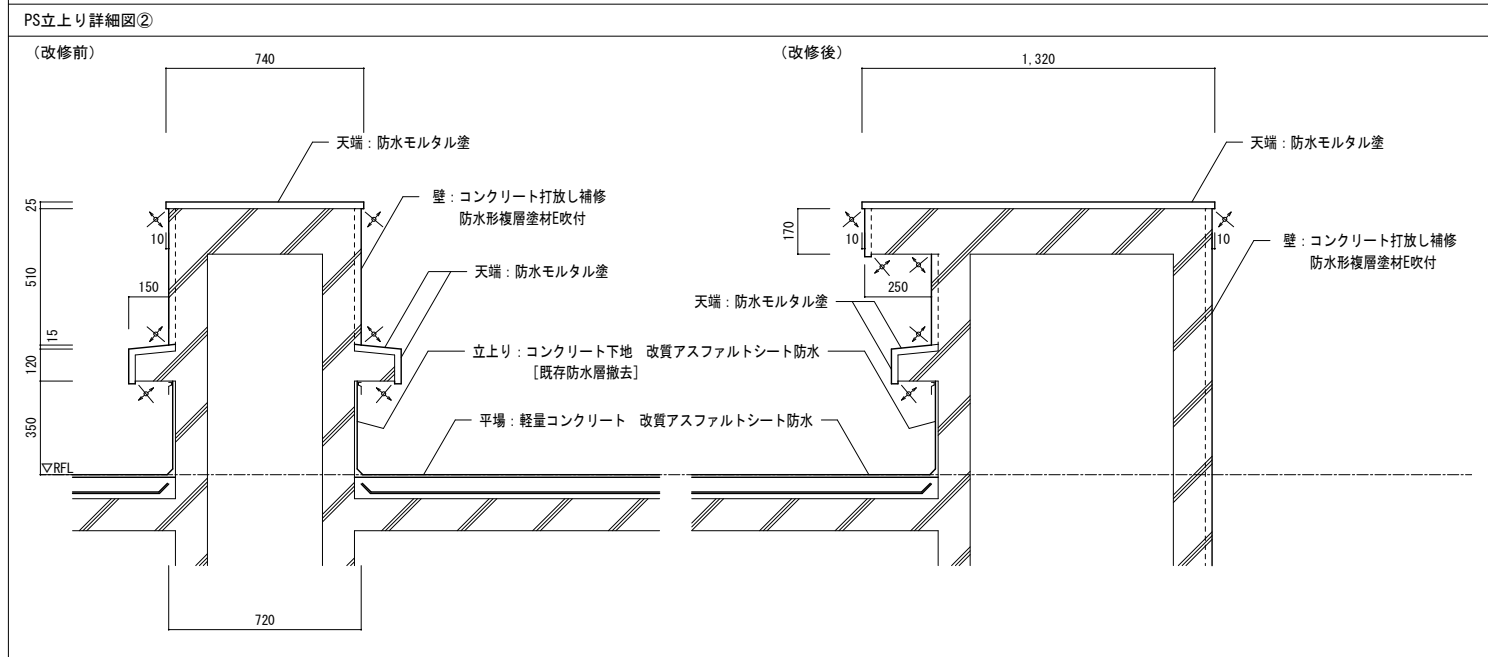
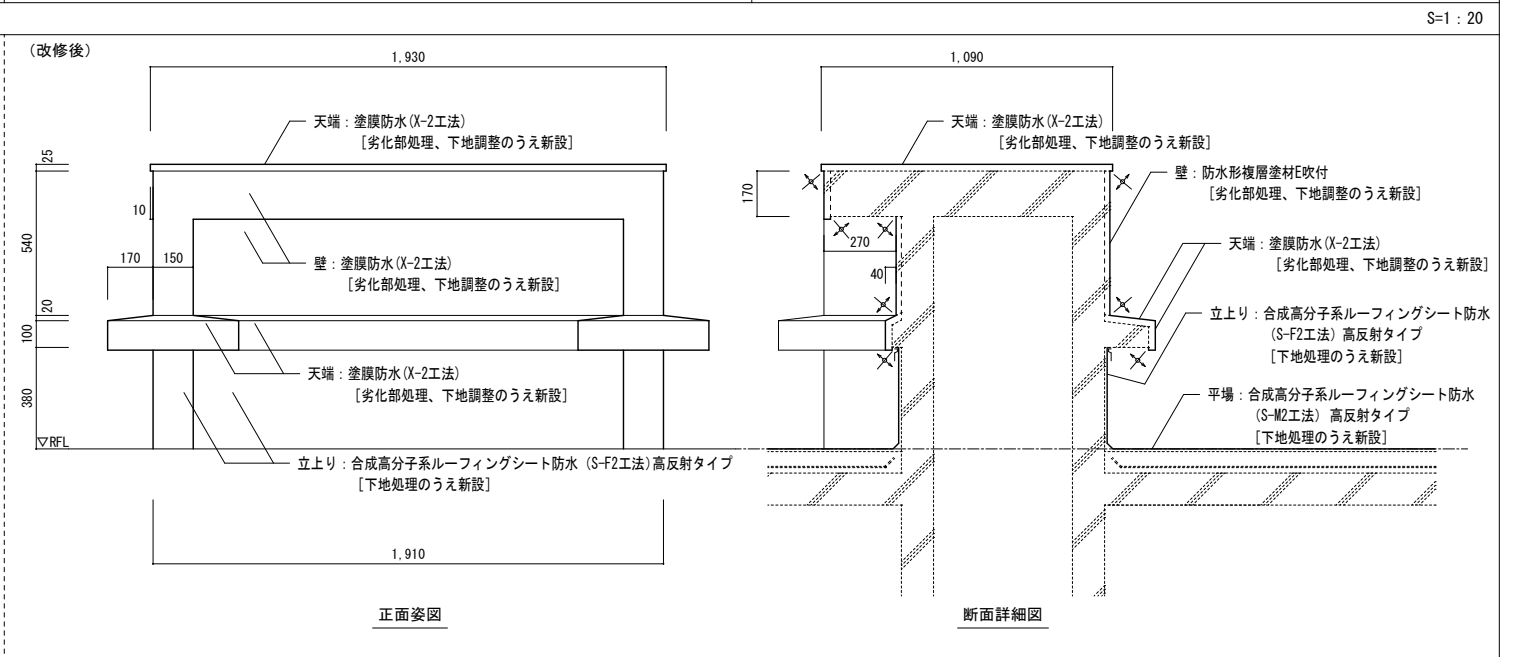
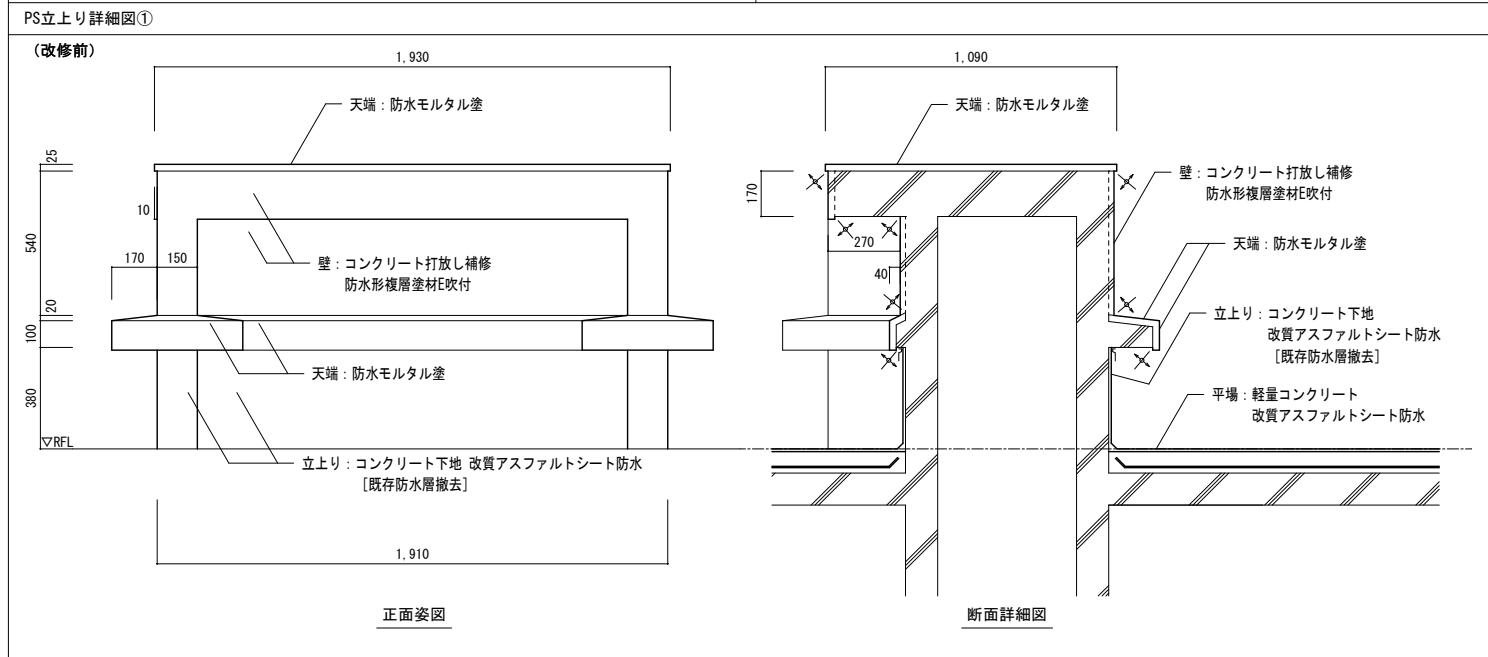
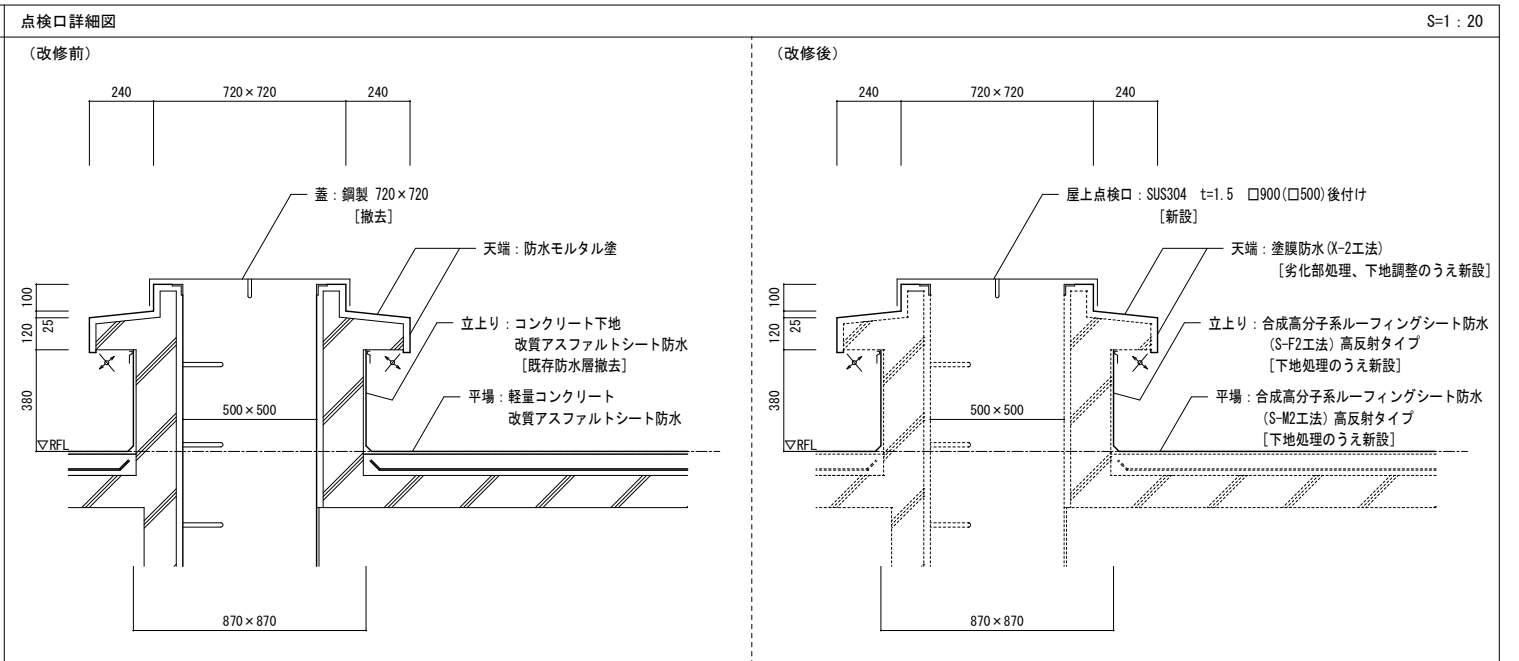
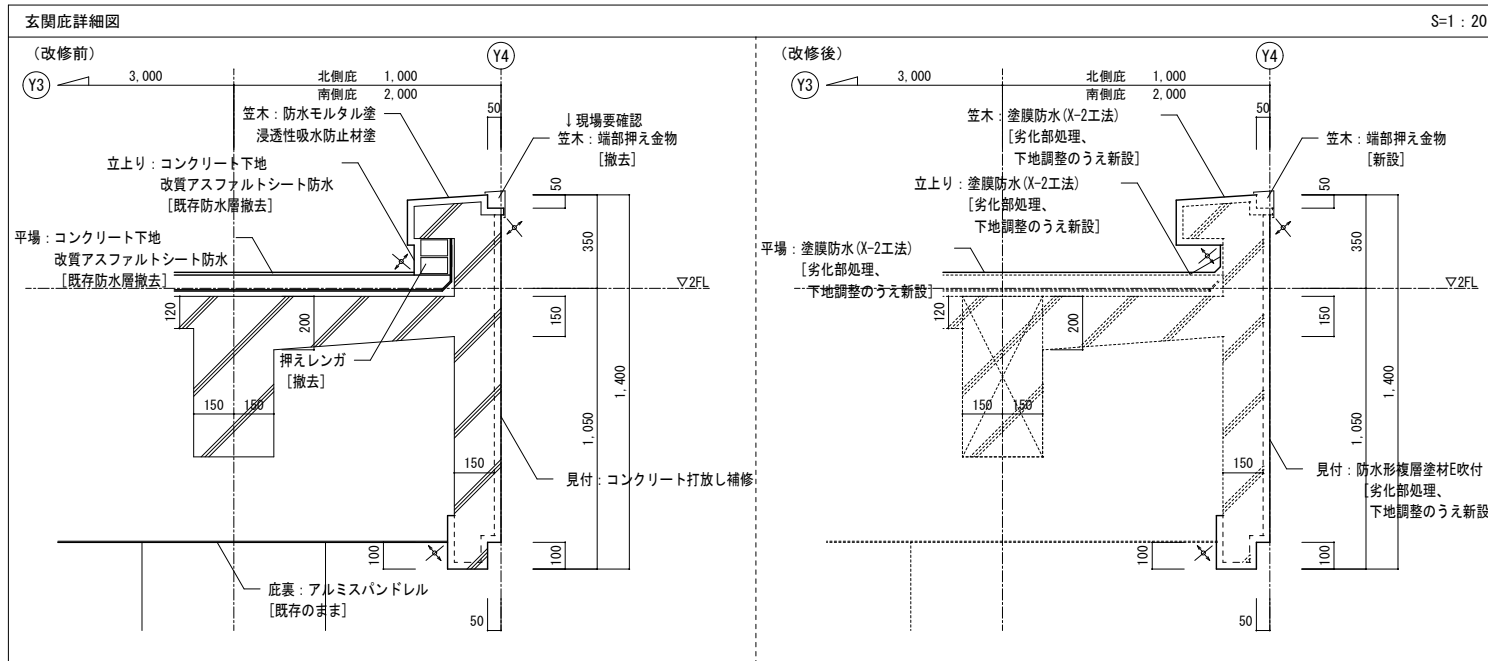
符号・名称	AD 1 アルミ製開閉戸・上部はめごろし窓 【周囲シーリング打替え】	AD 2 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 ・はめごろし窓・引違い窓・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AD 3 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 ・はめごろし窓・引違い窓・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AD 4 アルミ製開閉戸・上部はめごろし窓 【周囲シーリング打替え】	AD 5 アルミ製開閉戸・上部はめごろし窓 【周囲シーリング打替え】	AD 6 ●●● 【周囲シーリング打替え】
位置・数量	1階：昇降口 3	1階：保健室 2階：普通教室 3階：普通教室、理科教室 4階：音楽教室 12	1階：旧相談室、職員室 2	1階：第2階段室 1	1階：職員玄関 2	1階：配膳車プール 1
姿図						
▽FL						
扉仕上・扉厚	-	-	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	-
枠仕上・枠見込	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70
畚摺・水切	-	-	-	-	-	-
硝子	FL5 FL3(上部)	FL5 FL3(上部)	ST(FL)4	NP6.8	FL5 FL3(上部)	-
金物	フロアーヒンジ フランス落し シリンダー錠 アルミ製押棒	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	フロアーヒンジ フランス落し シリンダー錠 戸当り アルミ製押棒	フロアーヒンジ フランス落し シリンダー錠 アルミ製押棒	-
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)
符号・名称	AD 7 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 【周囲シーリング打替え】	AD 8 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 ・はめごろし窓・引違い窓・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AD 9 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 ・はめごろし窓・引違い窓・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AD 10 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 ・はめごろし窓・引違い窓・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AD 11 アルミ製開閉戸 【周囲シーリング打替え】	AD 12 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 ・はめごろし窓・引違い窓・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】
位置・数量	1階：下控え 1	2階：普通教室 4階：視聴覚室、保健教室、調理教室 10	3階：普通教室、理科教室 4階：視聴覚教室 8	3階：普通教室 4階：保健教室 5	1階：便所 2	2階：普通教室 1
姿図						
▽FL						
扉仕上・扉厚	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3
枠仕上・枠見込	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70
畚摺・水切	-	-	-	-	-	-
硝子	F4 FL3(上部)	FL5 FL3(上部)	FL5 FL3(上部)	FL5 FL3(上部)	FL5	FL5 FL3(上部)
金物	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	ピボットヒンジ フランス落し ドアチェック ロック錠 戸当り	引き戸錠 付属金物一式
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)
符号・名称	AD 13 アルミ製引違い戸・上部はめごろし窓 ・はめごろし窓・引違い窓・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AM 1 アルミ製引違い窓・上部はめごろし窓 【周囲シーリング打替え】	特記事項			
位置・数量	2階：普通教室 1	1階：職員室 2	<ul style="list-style-type: none"> ・窓は外観図。 ・建具製作にあたってはよく現場を調査し、施工固成のうえ監督員の承諾を得た後製作すること。 ・引き違い建具は全て網戸レールを具備してあるものとし、落下防止又はハズレ防止付とする。 ・シリンダー錠は、全て既存マスターキーに合わせる。 ・ハキ出し部分の既存畚摺りは撤去し、ステンレス(SUS304)厚 2.0mm製を取付けるものとし、研り部分は現状仕上に準じ補修すること。(出入口ドア下枠もこれに準ずる。) ・床研りは最小限にし、必要に応じてカッターを使用すること。 ・寸法は既存建具内法寸法を示す ・ガラス留め材は、網入り・FIXはシーリング(SR-1シリコン系)を使用すること。 ・アルミ水切は建具同材とし、小口はエンドキャップを使用すること。 ・アルミ製建具には二次電解着色・高耐食性アクリルクリアー電解塗装(SGコート)をすること。 ・アルミ製建具のクレセントは、中型以上とする。 ・クレセントの取付位置は、特記なき場合、FL+800mm以上1,500mm以下とする。 ・クレセント、レバーハンドルは抗菌仕様とする。 ・PL-アルミプレート3mmを使用、FIX-ガラス ・----- ステンレス製畚摺り(t=2.0)を示す。 ・----- 特記なき場合、AD、AMの場合は7A:縦線(H=25~350)、 LSO、SDの場合はF+4:縦線(H=25~350)焼付け、STDの場合はF+1:縦線(見付25)、 WDの場合は木製縦線(見付25)を示す。 			
姿図			<ul style="list-style-type: none"> □ 建具形式 □ 材種 □ ガラス □ 閉開金物 □ 鍵金物他 			
▽FL			<ul style="list-style-type: none"> D ド ア W 窓 G ガラリ S シャッター F ふすま SJ 障子 FL フロート板ガラス P 磨き板ガラス F 型板ガラス NP 網入磨き板ガラス NF 網入型板ガラス HAFL 熱線吸収フロート板ガラス A 空気層 Ar アルゴン T () 強化(材料板ガラス) ST () 学校用強化(材料板ガラス) HR () 熱線反射(材料板ガラス) IG () 複層(材料板ガラス) DS () 倍強度(材料板ガラス) L () 合わせ(材料板ガラス) H 丁番 PH ピボットヒンジ FH フロアーヒンジ LH ラバトリーヒンジ GH グレビティヒンジ DCS ドアクローザー(ストップ付) DC ドアクローザー(ストップなし) Lh レバーハンドル Kh カムラッチハンドル Gh グレモンハンドル Oh オペレーターハンドル C シリンダー錠 S サムターン錠 H 表示錠 L 空錠 CU ロック付クレセント NCU ロックなしクレセント KCU キー付クレセント 			
扉仕上・扉厚	種：アルミパネル t=3	-	□ 建具形式			
枠仕上・枠見込	アルミ製 70	アルミ製 70	□ 材種			
畚摺・水切	-	-	□ ガラス			
硝子	FL5 FL3(上部)	FL3	□ 閉開金物			
金物	引き戸錠 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	□ 鍵金物他			
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)	□ 鍵金物他			

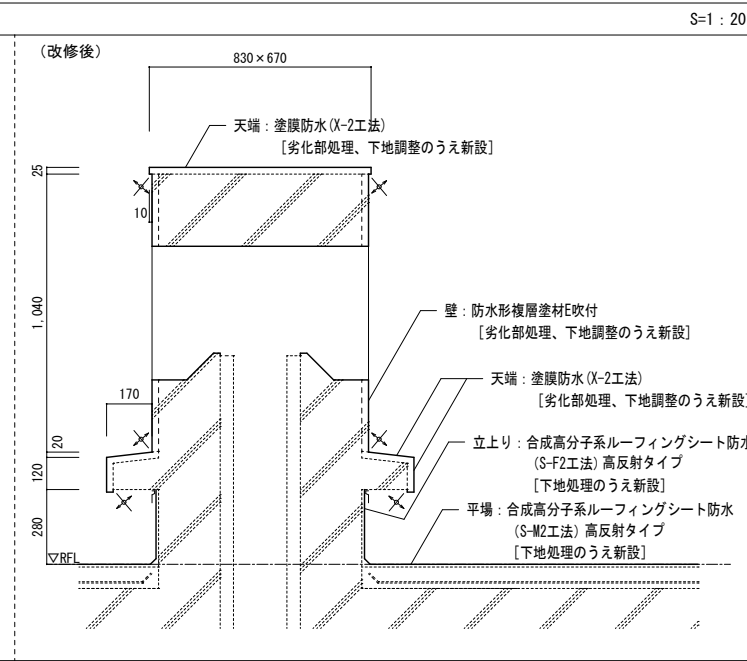
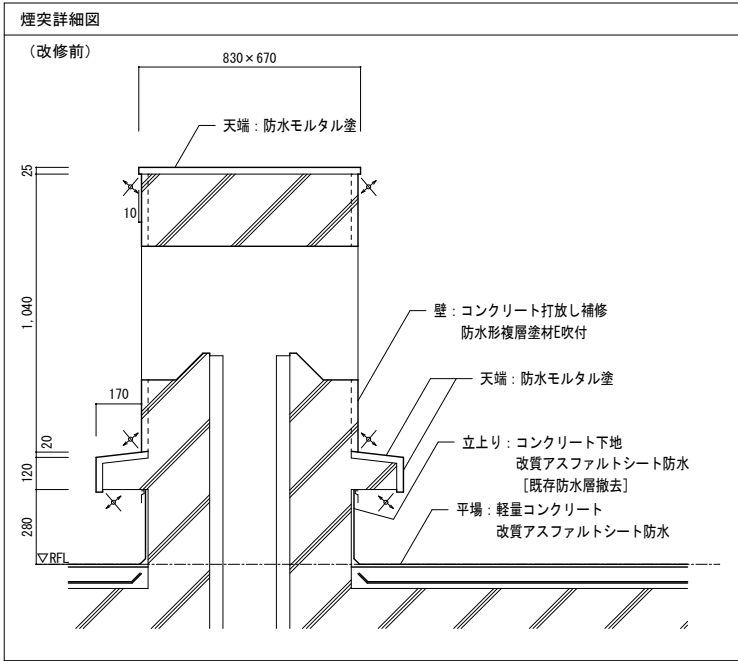
符号・名称	AM 2	アルミ製引違い窓・はめごろし窓 ・上部引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 3	アルミ製引違い窓・はめごろし窓 ・上部引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 4	アルミ製引違い窓・はめごろし窓 ・上部引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 5	アルミ製引違い窓・はめごろし窓 ・上部引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 6	アルミ製引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 7	アルミ製引違い窓	【周囲シーリング打替え】						
位置・数量	1階：会議室、職員室、木工室、金工室、2階：図書室 3階：理科教室、4階：音楽教室、家庭科準備室	11		1階：会議室、職員室、更衣室、木工室、事務室、金庫室 3階：普通教室、理科教室、理科準備室、4階：音楽準備室、調理教室	11		1階：女子更衣室、放送室、木工室、金工室、2階：図書室 3階：普通教室、理科教室、4階：音楽教室、視聴覚教室	10		1階：校長室、2階：廊下、図書室、3階：廊下、理科教室 4階：廊下、音楽教室、視聴覚教室、相談室、被服教室、調理教室	32		1階：身障者用便所	1		1階：便所	3							
姿図																								
▽FL	910			910			910			910			910			910								
厚仕上・扉厚	-			-			-			-			-			-			-					
枠仕上・枠見込	アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70					
畚摺・水切	-			-			-			-			-			-			-					
硝子	FL3			FL3			FL3			FL3			F4			FL3			FL3					
金物	クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式					
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)					
符号・名称	AM 8	AM 8'	アルミ製引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 9	アルミ製引違い窓・はめごろし窓 ・下部ガラリ	【周囲シーリング打替え】	AM 10	アルミ製引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 11	アルミ製はめごろし窓・下部ガラリ	【周囲シーリング打替え】	AM 12	アルミ製はめごろし窓	【周囲シーリング打替え】	AM 13	アルミ製引違い窓	【周囲シーリング打替え】					
位置・数量	1階：校長室、2~4階：便所		AM-8：1 AM-8'：6		1階：給食調理室		2		1階：休憩室		1		1階：便所		1		1階：食品庫		1		2~3階：廊下		3	
姿図																								
▽FL	910			910			910			910			910			910			910					
厚仕上・扉厚	-			-			-			-			-			-			-			-		
枠仕上・枠見込	アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70		
畚摺・水切	-			-			-			-			-			-			-			-		
硝子	FL3			F4			FL3			F4			FL3			FL3			FL3					
金物	クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式					
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10) ガラリ付			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)					
符号・名称	AM 14	アルミ製はめごろし窓	【周囲シーリング打替え】	AM 15	アルミ製引違い窓・はめごろし窓	【周囲シーリング打替え】	AM 16	アルミ製はめごろし窓	【周囲シーリング打替え】	AM 17	アルミ製引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 18	アルミ製引違い窓・上部引違い窓	【周囲シーリング打替え】	AM 19	アルミ製引違い窓・上部はめごろし窓	【周囲シーリング打替え】						
位置・数量	第一階段室		2		2~3階：便所		6		第二階段室		3		2階：教材室 3階：第3倉庫 4階：第4倉庫		3		4階：廊下		1		1階：湯沸室		1	
姿図																								
▽FL	140			2,160			2,160			2,510			910			1,110								
厚仕上・扉厚	-			-			-			-			-			-			-					
枠仕上・枠見込	アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70			アルミ製 70					
畚摺・水切	-			-			-			-			-			-			-					
硝子	FL3			FL3			FL3			FL3			FL3			F4 FL3(上部)								
金物	付属金物一式			クレセント 付属金物一式			付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式			クレセント 付属金物一式								
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)			周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)								

符号・名称	AM 20	AM 20'	アルミ製引違い窓	[周囲シーリング打替え]	AM 21	アルミ製引違い窓	[周囲シーリング打替え]	AM 22	アルミ製引違い窓	[周囲シーリング打替え]	○	○	○
位置・数量	2階：渡り廊下		AM-20：2 AM-20'：1		2階：渡り廊下		1		2階：渡り廊下		1		
姿図													
▽FL													
扉仕上・扉厚	-		-		-		-		-				
枠仕上・枠見込	アルミ製		70		アルミ製		70		アルミ製		70		
畚摺・水切	-		-		-		-		-				
硝子	NP6.8		NP6.8		NP6.8		NP6.8		NP6.8				
金物	クレセント 付属金物一式		クレセント 付属金物一式		クレセント 付属金物一式		クレセント 付属金物一式		クレセント 付属金物一式				
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)		周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)		周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)		周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)		周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)				
符号・名称	○		○		○		○		○		○		
位置・数量													
姿図													
▽FL													
扉仕上・扉厚													
枠仕上・枠見込													
畚摺・水切													
硝子													
金物													
備考													
符号・名称	○		○		○		○		○		○		
位置・数量													
姿図													
▽FL													
扉仕上・扉厚													
枠仕上・枠見込													
畚摺・水切													
硝子													
金物													
備考													

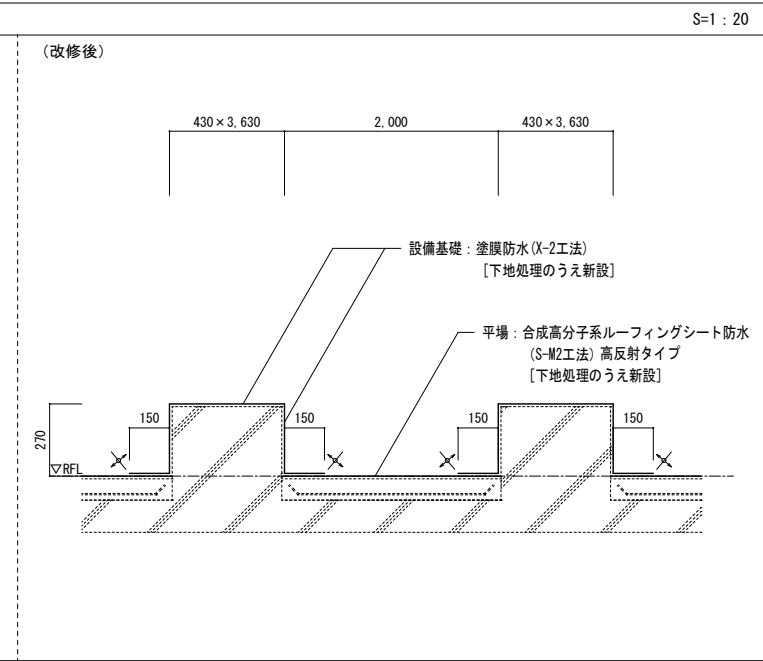
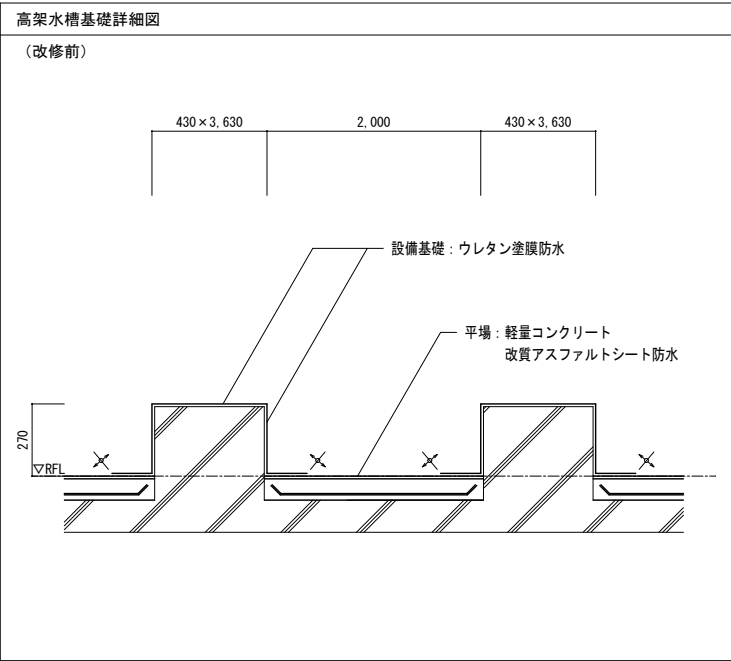






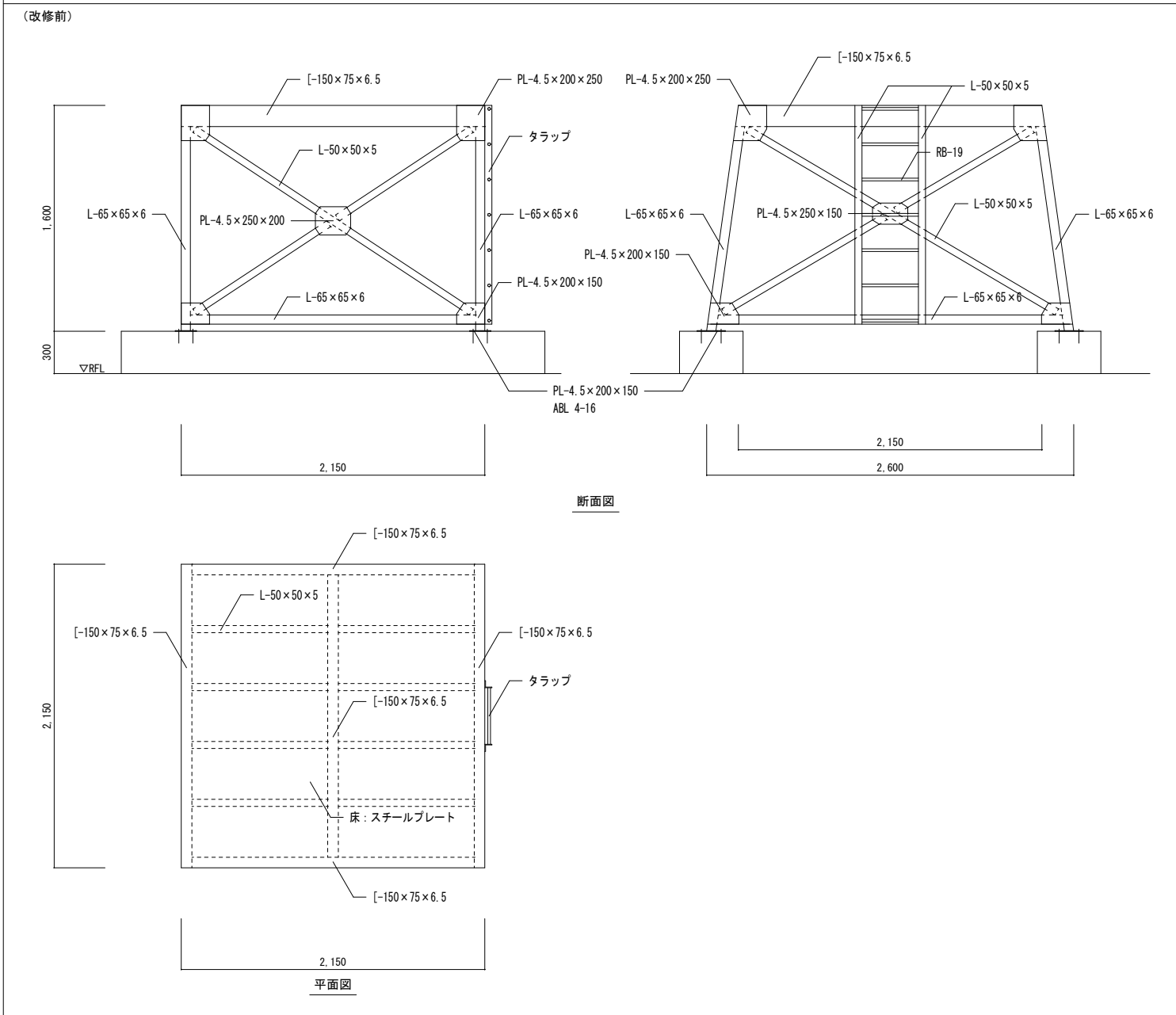


S=1 : 20

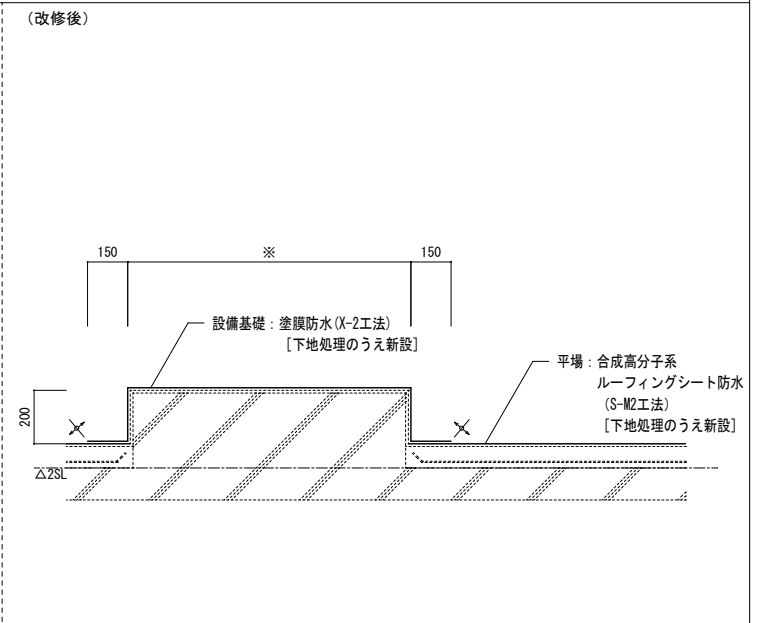
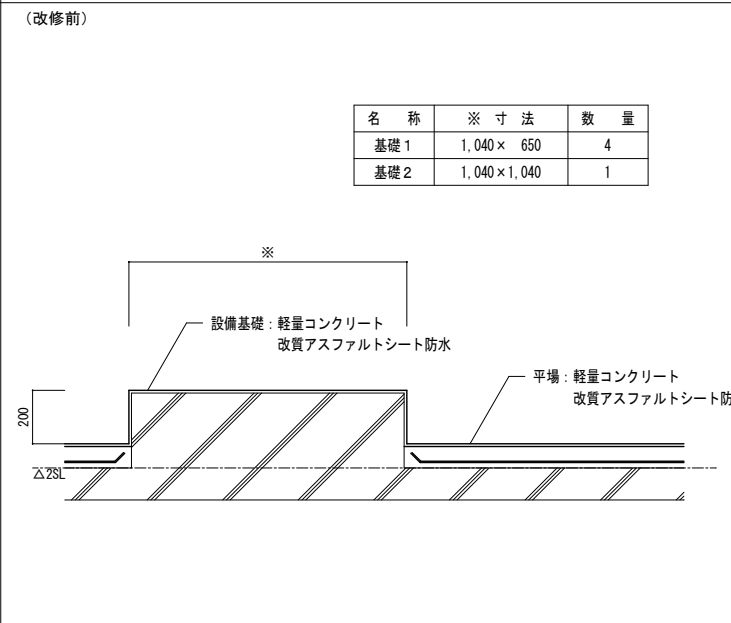
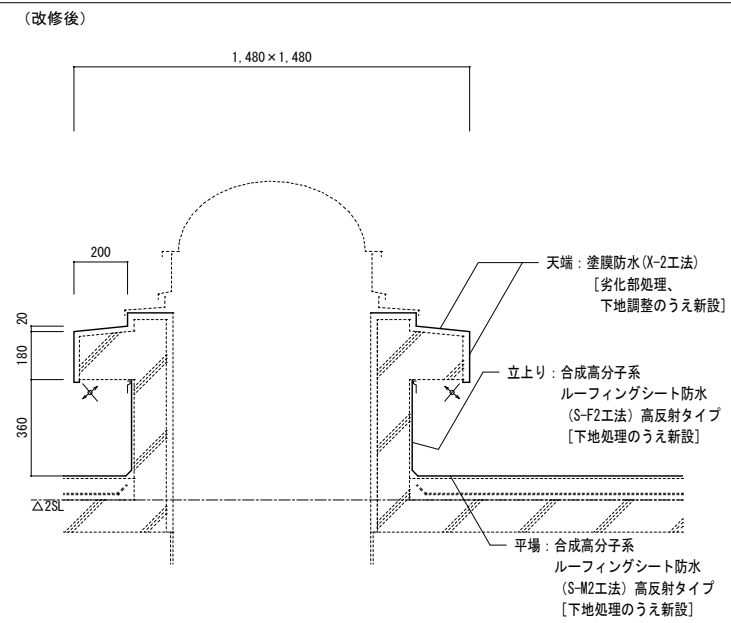
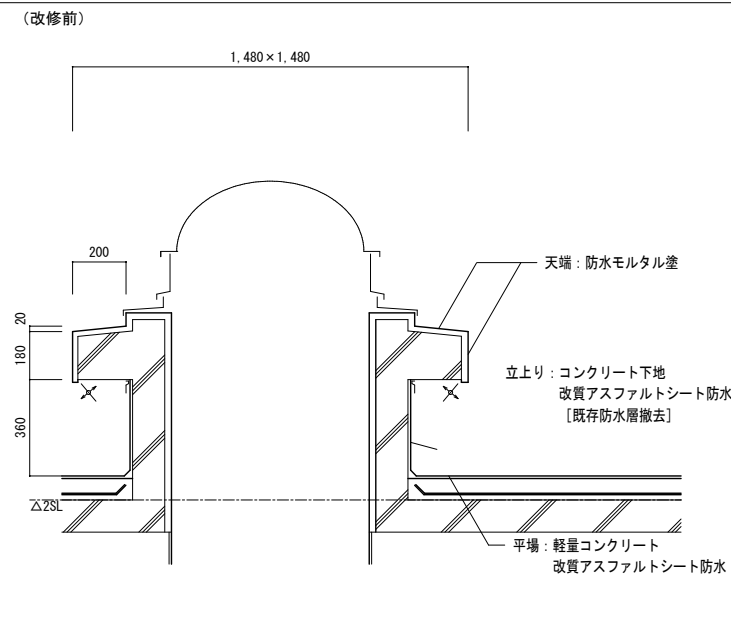
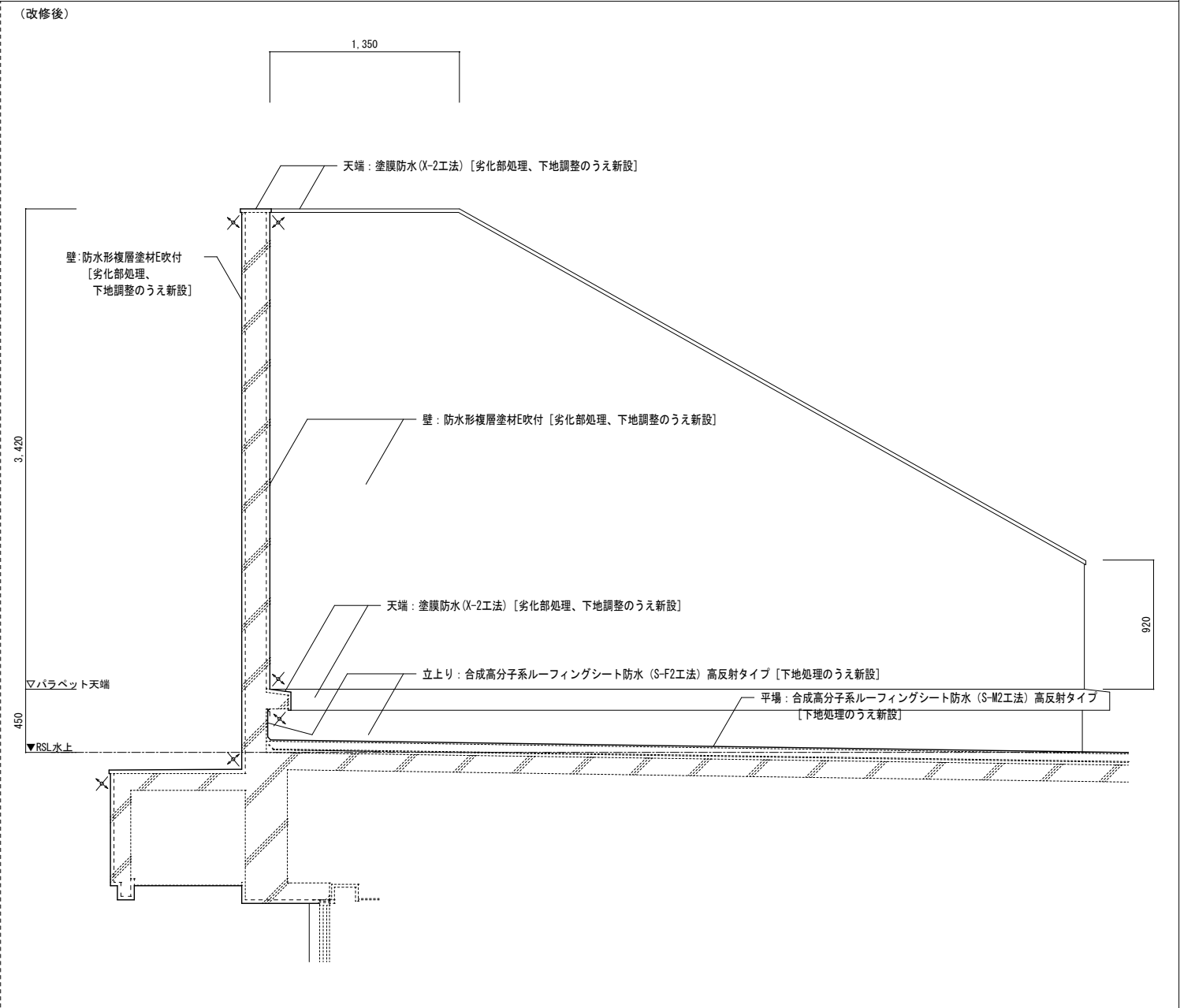
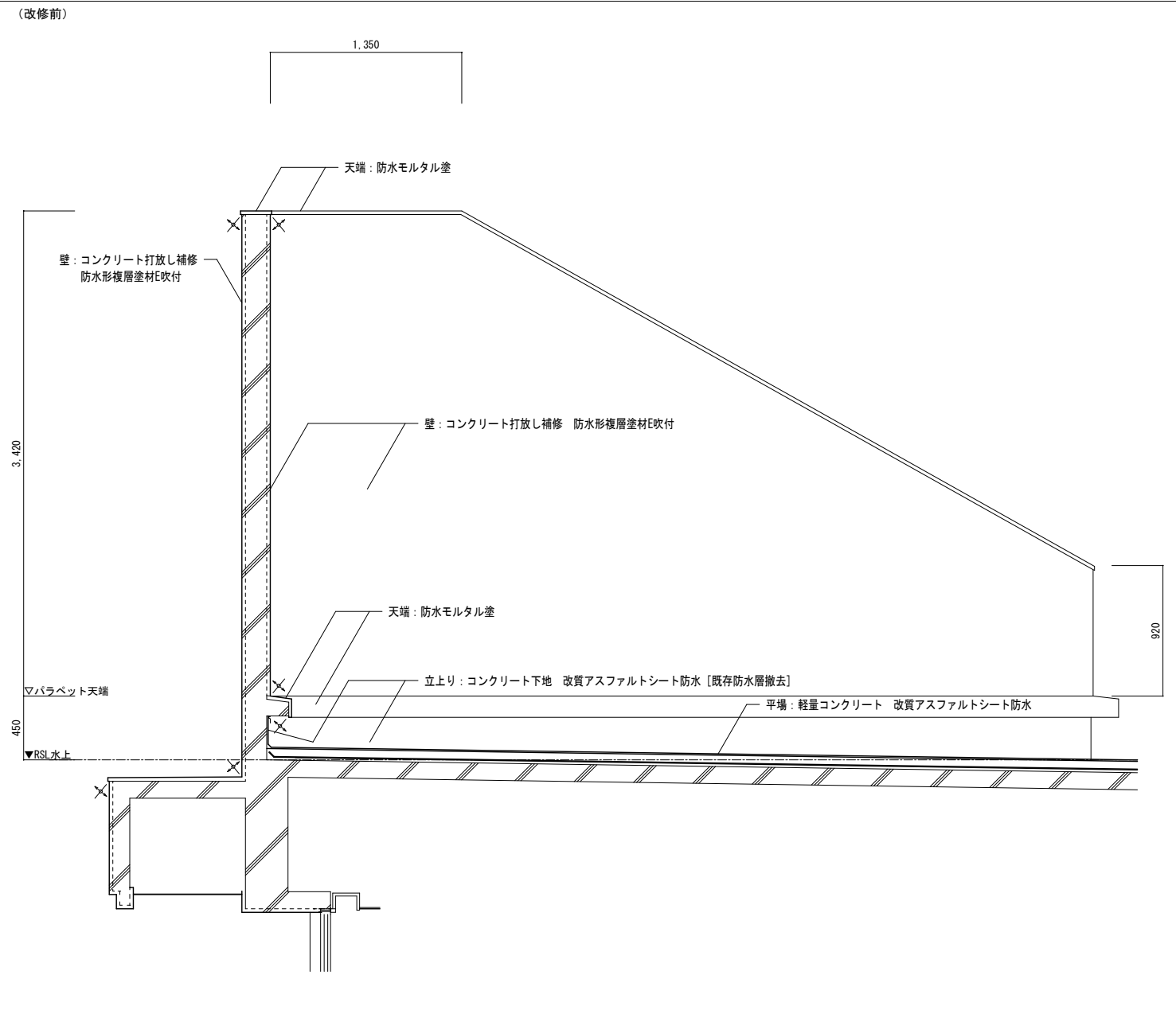


S=1 : 20

高架水槽架台詳細図



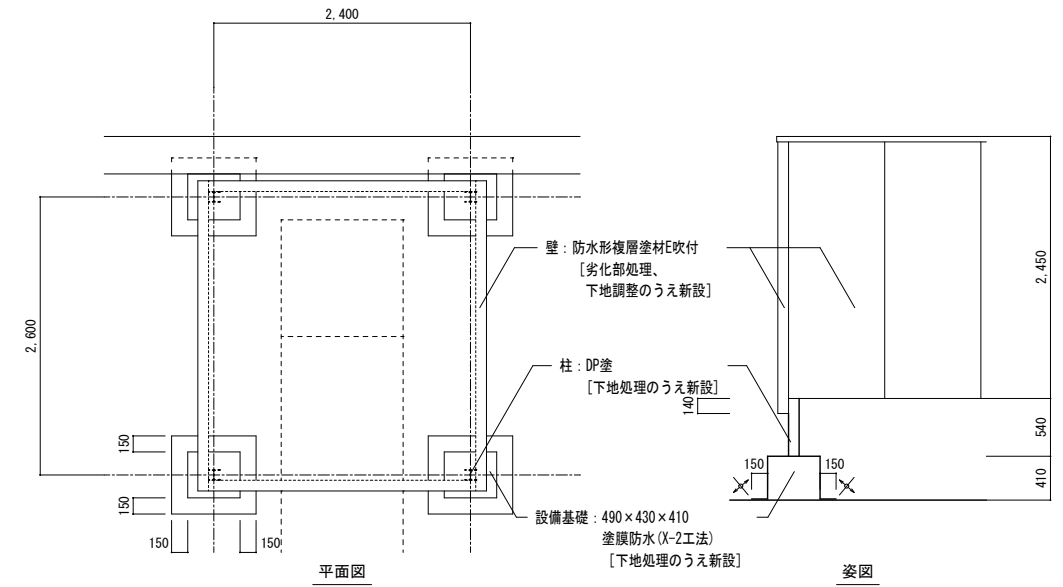
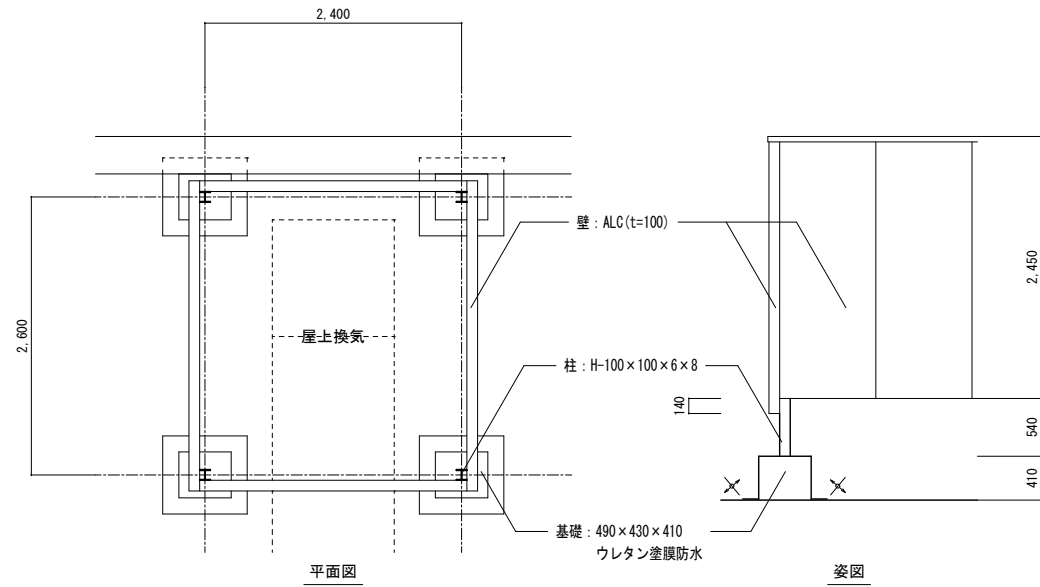
S=1 : 30



名称	※寸法	数量
基礎1	1,040 × 650	4
基礎2	1,040 × 1,040	1



(改修前)

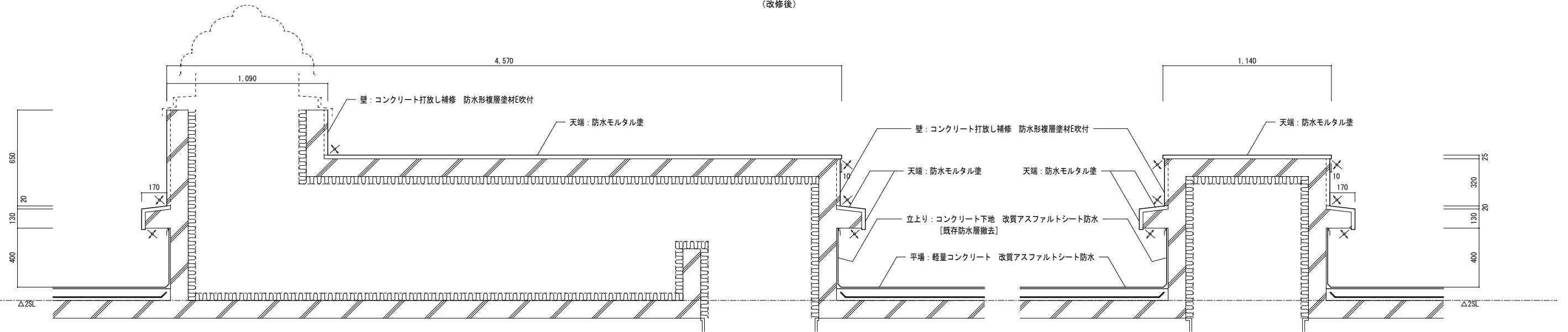


屋上換気詳細図

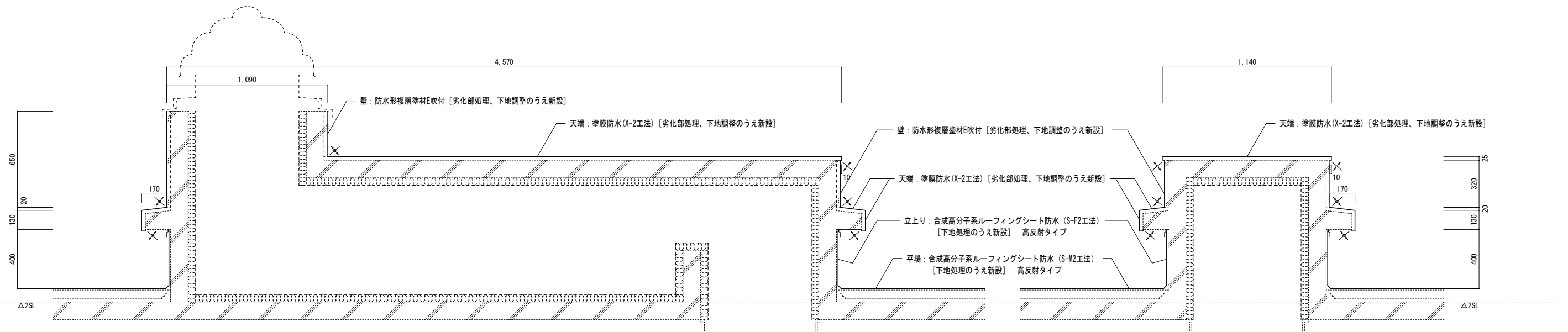
S=1 : 20

(改修前)

(改修後)

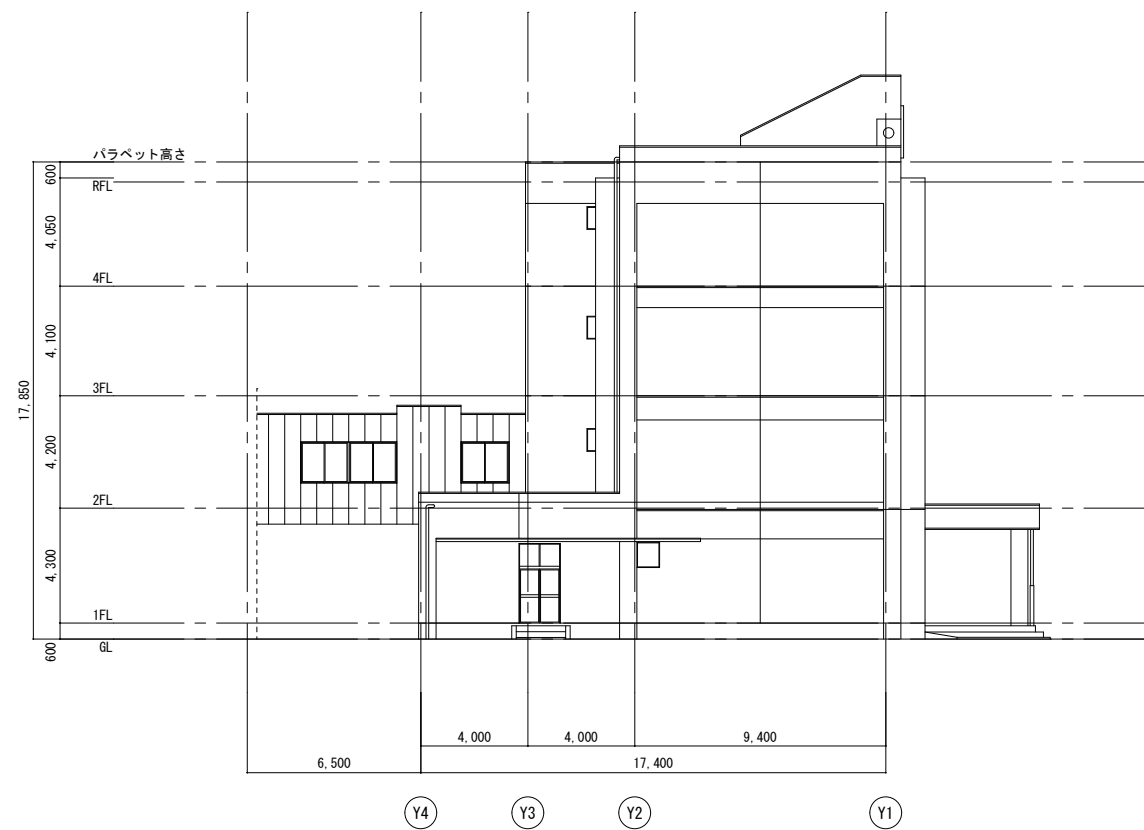


(改修後)





南面立面图 S=1:200



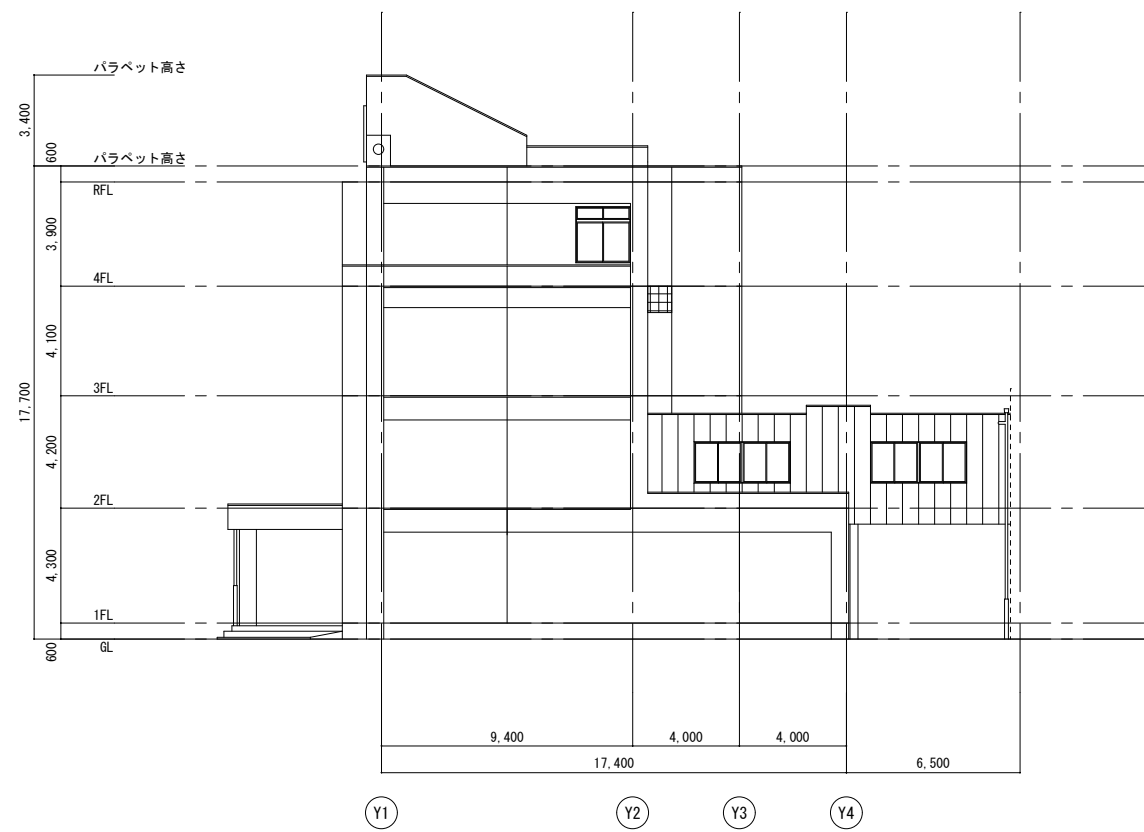
西面立面图 S=1:200

凡例

	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部



北面立面図 S=1:200



東面立面図 S=1:200

凡例

	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部

名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理																									
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 1.0mm以上		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 0.2~1.0mm																									
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量: 342m²</p>		<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量: 11.7m²</p>		<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm 290m () ひび割れ幅 0.5~1.0mm 350m () ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量: 261m</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②④の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>																									
名称	B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理																									
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm		C-1 打放し面錆鉄筋部処理																									
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑥の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: 43m</p>																									
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理																									
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]																									
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①カッター縁切り ②浮き部のはつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①カッター縁切り ②浮き部のはつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table>		一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	<p>⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] 一般部 16 ヶ所 指定部 25 ヶ所</p> <p>⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥⑦⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③狭幅部:</p>		<p>①一般部分標準グリッド (250×250) ③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>● アンカーピン固定部</p>	
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																

名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.11] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.10]																																									
改修前	改修後																																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所	<p>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所																																								
名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.12] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.11]																																									
改修前	改修後																																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所	<p>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所																																								
名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.12]																																									
改修前	改修後																																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 9ヶ所	③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			<p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>								
①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																								
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 9ヶ所																																								
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	一般部 9ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																								
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所																																										

名称		D 浮き部処理																									
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.13]																									
改修前	改修後																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑦孔内モアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td colspan="2">※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</td> </tr> </table> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>	①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内モアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)		④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む		
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																						
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																						
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内モアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																							
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む																							

名称		D 浮き部処理																										
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.15] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ																										
改修前	改修後																											
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>	①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所		④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)		<p>D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.5.15]</p> <p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>参考数量：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																								
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																									
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																									
④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所																									
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ]	一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所	⑩サンダーケレン	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																									

名称		E 欠損部処理		F 外壁複合改修工法							
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4.3.7]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.3.3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4.4.3]	F 外壁複合改修工法						
改修前	改修後										
工程		<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：1㎡</p>	<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>参考数量：</p>	<p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④欠損部はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>参考数量：1㎡</p>	<p>下地補修後</p> <p>①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p> <p>*印寸法は80程度とする</p>						
					<table border="1"> <tr> <td>参考数量</td> <td>ネット張り</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水切</td> <td>m</td> </tr> </table>	参考数量	ネット張り	㎡		水切	m
参考数量	ネット張り	㎡									
	水切	m									

外部仕上表

部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	
屋上	一般部	木毛セメント板(t=20)		下地処理のうえ新設	超速硬化ウレタン塗膜防水									
		アスファルトルーフィング			(密着工法)									
		長尺カラー鉄板 瓦葺き												
		常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗												
	溝部	モルタル塗	既存防水層撤去	下地処理のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
	笠木	カラー鉄板	塗装改修	下地処理のうえ新設	DP塗									
	RD	鋳鉄製φ100		新設	改修用ドレンφ100用									
樋	樋	VPφ100	撤去	新設(摺り金物共)	VPφ100カラー									
					SUS製摺り金物共									
外壁	根回り	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗									
		着色防水材吹付												
	壁(鉄骨部)	金属系サイディング 横張り		下地調整のうえ新設	DP塗									
		アクリル樹脂吹付												
	壁(RC部)	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
		着色防水材吹付												
	柱型	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
		着色防水材吹付												
	梁型	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
		着色防水材吹付												
ギャラリースラブ下	スラブ下	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	外装薄塗材E吹付									
		着色防水材吹付												
玄関上部屋上	平場	コンクリート直押え	S4S	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水									
		合成高分子系ルーフィングシート防水			(S-M2工法) 高反射タイプ									
	バラベツト	コンクリート下地	既存防水層撤去	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水									
	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水			(S-F2工法) 高反射タイプ									
	笠木	防水モルタル塗		下地処理のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
屋根(ステージ上部)	屋根	コンクリート直押え	S4S	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水									
		合成高分子系ルーフィングシート防水			(S-M2工法) 高反射タイプ									
玄関庇	屋根	ルーフデッキ H87	塗装改修	下地処理のうえ新設	DP塗									
							略号凡例					特記事項		
							塗 装		そ の 他					
							SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	SUS	ステンレス				
							EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	≡	シーリング				
							EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	RD	ルーフトレ				
							DP	耐侯性塗料塗り	FD	フロアドレ				
							AE	アクリル樹脂エナメル塗り	G.P	配管用炭素鋼鋼管				

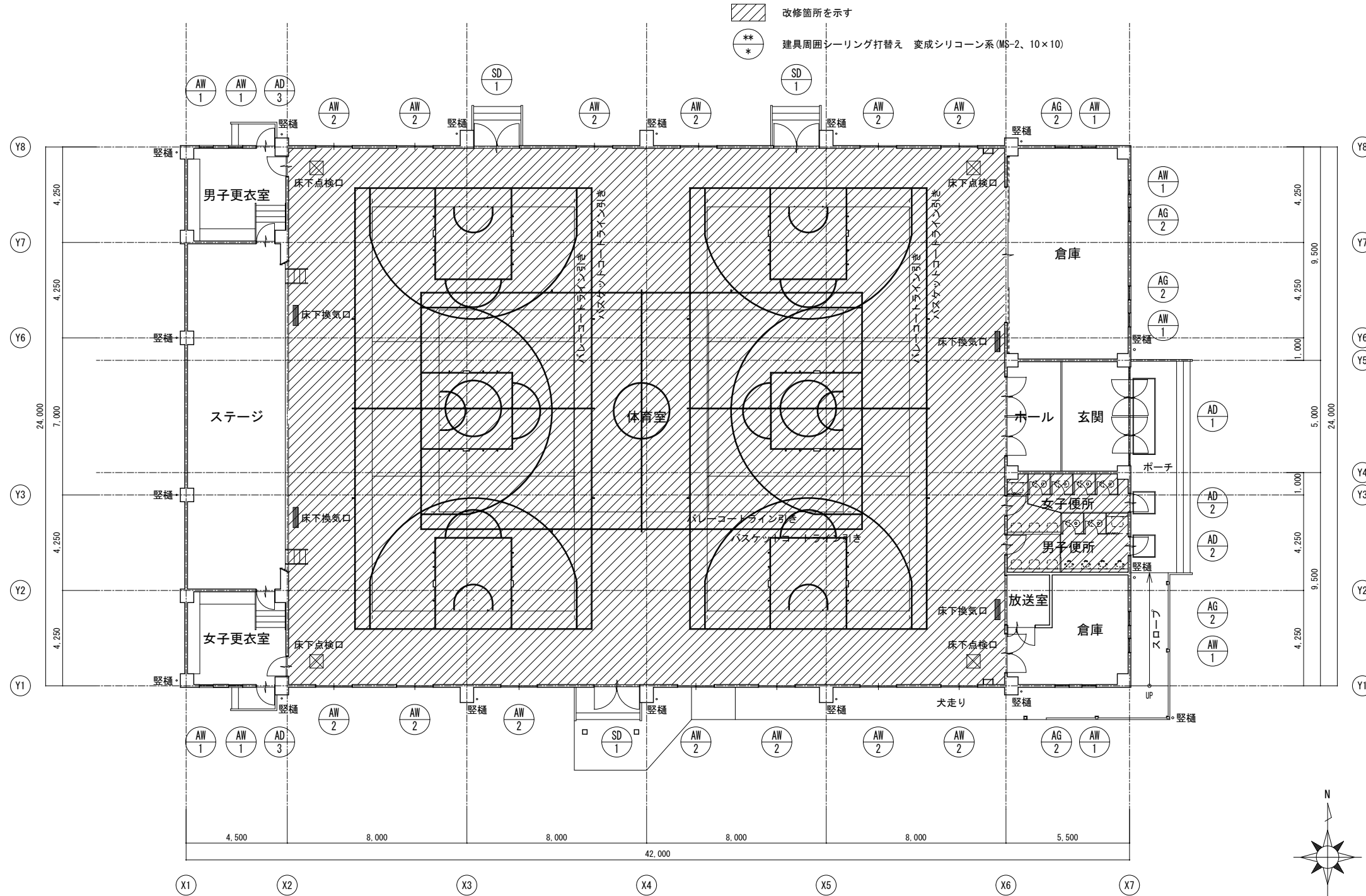
内部仕上表

階	室名	床			巾木			腰壁			壁			天井			梁型			廻縁	天井高	カーペット カーペット取付板	環境 測定 特記1-14	備考		
		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上								
1	体育室	改修前	C	鋼製床組 [既存のまま]		C	木製巾木 (H=100) OS [撤去]		-	-	C	木脚縁下地 24×50 @300 タテヨコ共 有孔ベニヤ張り (t=9)			鉄骨表し 木毛セメント板		-	-	-	-				床下点検口 (450×450) 1箇所 [撤去] 床下換気口 (950×300) 4箇所 [撤去] 支柱金物 [撤去]		
			C	耐水ベニヤ (t=12) のうえ複合フローリング (t=15) ウレタン樹脂塗 [捨板・仕上撤去]																						
		改修後	C	耐水合板 (t=12) のうえ複合フローリング (t=15) ウレタン樹脂塗 (3回塗、コートライン共) [新設]		C	木製巾木 (H=100) SOP [新設]		-	-		[既存のまま]			[既存のまま]			[既存のまま]		-	-	-	-		床下点検口 (450×450) 1箇所 [新設] 床下換気口 (950×300) 4箇所 [新設] 支柱金物 [新設]	
男子便所		改修前	C	土間コンクリート (t=120) [撤去]		-	-		C	モザイクタイル貼り		C	ブラスター塗 [既存のまま]		LGS	石綿大平板 (t=4) [撤去]		-	-					天井点検口 (450×450) 1箇所 [撤去]		
		改修後	C	モザイクタイル貼り 一部長尺シート貼り						CB (9面)	モザイクタイル貼り [撤去]		CB (9面)	ブラスター塗 [撤去]			化粧メラミン合板 (t=40) [撤去]									
			C	土間コンクリートコテ押え ビニル床シート ビニル床シート貼り (t=2.0) [新設]		LGS	床同材立上げ (H=100) [新設]		LGS	GB-R (t=12.5) のうえFK (t=6)		LGS	GB-R (t=12.5) のうえFK (t=6) [下地共新設]		LGS	GB-D (t=9.5) [下地共新設]		-	-						天井点検口 (450×450) 1箇所 [新設]	
女子便所		改修前	C	土間コンクリート (t=120) [撤去]		-	-		C	モザイクタイル貼り		C	ブラスター塗 [既存のまま]		LGS	石綿大平板 (t=4) [撤去]		-	-							
		改修後	C	モザイクタイル貼り 一部長尺シート貼り						CB (9面)	モザイクタイル貼り [撤去]		CB (9面)	ブラスター塗 [撤去]			化粧メラミン合板 (t=40) [撤去]									
			C	土間コンクリートコテ押え ビニル床シート ビニル床シート貼り (t=2.0) [新設]		LGS	床同材立上げ (H=100) [新設]		LGS	GB-R (t=12.5) のうえFK (t=6)		LGS	GB-R (t=12.5) のうえFK (t=6) [下地共新設]		LGS	GB-D (t=9.5) [下地共新設]		-	-						天井点検口 (450×450) 1箇所 [新設]	

略号凡例										防火材料認定番号				特記事項			
下地	塗装			防火材料認定番号			特記事項										
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード (9.5)	準不燃	QM-9828	※既存の仕上 (シート類、塗装、壁紙等) のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、						
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	石こうボード (12.5)	不燃	NM-8619	既存の下地 (モルタル面、ボード面等) の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、						
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シーリング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	OS	オイルステイン	化粧石こうボード (9.5)	準不燃	QM-9824	新規仕上げの施工に支障のないよう、適切な下地補修を行うこと						
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	DP	耐候性塗料	WP	木材保護塗料	ロックウール化粧吸音板 (12)	不燃	NM-8599	※表中の [一部〇〇] の範囲は、図示による						
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	その他						※図中 (〇〇) は下地を示す					
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	≡	シーリング (種別は特記仕様書による)				※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと						
LGS'	薄型軽量鉄骨下地	FK	けい酸カルシウム板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール										



内部仕上表							
階	室名	床		巾木		備考	
		下地	仕上	下地	仕上		
1	体育室	改修前	C	鋼製床組 [下地既存のまま]	W	木製巾木 (H=100) OS塗 [撤去]	床下点検口 (450×450) 1箇所 [撤去]
				耐水ペニヤ (t=12) のうえ複合フナフローリング (t=15) [捨板・仕上撤去]			床下換気口 (950×300) 4箇所 [撤去]
	改修後	C	既存鋼製床組	W	木製巾木 (H=100) OS塗 [新設]	床下点検口 (600×600) 4箇所 [新設]	
			耐水合板 (t=12) のうえ複合フローリング (t=15) [新設]			床下換気口 (950×300) 4箇所 [新設]	
			ウレタン樹脂塗 (3回塗、コートライン共)				

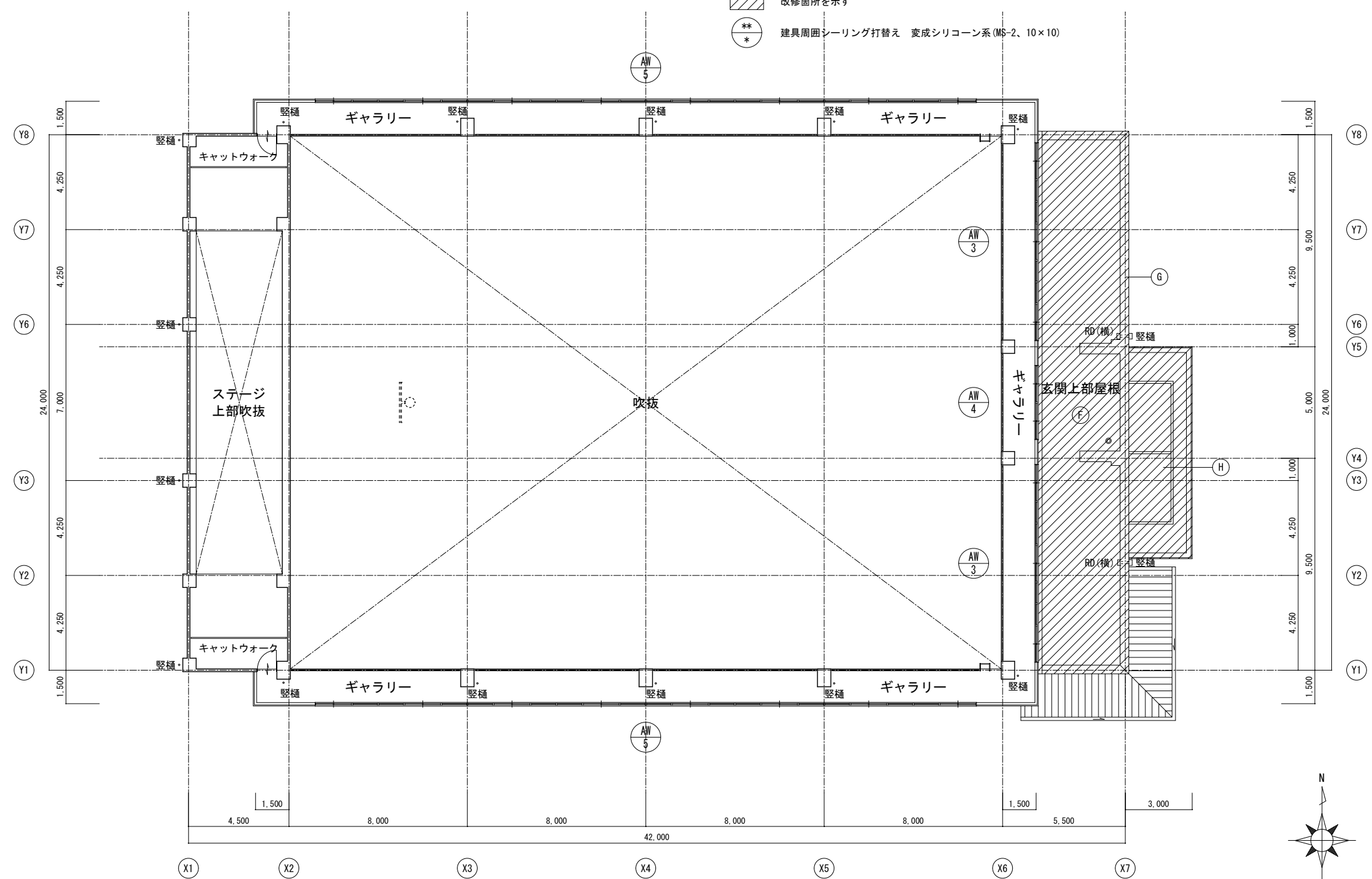
記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
A	屋上：木毛セメント板 (t=20) アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗	屋上：超速硬化ウレタン塗膜防水 (密着工法) [下地処理のうえ新設]
B	屋上溝部：シート防水	屋上溝部：塗膜防水 (X-2工法) [下地処理のうえ新設]
C	笠木：カラー鉄板	笠木：DP塗 [下地調整のうえ新設]
D	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法) [下地処理のうえ新設]
E	ガラリ部：カラー鉄板	ガラリ部：DP塗 [下地処理のうえ新設]
F	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法) [下地処理のうえ新設]
G	笠木：防水モルタル塗	笠木：塗膜防水 (X-2工法) [下地処理のうえ新設]
H	玄関庇：ルーフデッキ H87	玄関庇：DP塗 [下地処理のうえ新設]
RD	RD：铸铁製φ100 [撤去]	RD：改修用ドレンφ100用 縦引き [新設]
壁樋	壁樋：VPφ100 [撤去]	壁樋：VPφ100カラー SUS製組み金物共 [新設]



1階平面図 (改修前・後) S=1:150

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	
A	屋上：木毛セメント板 (t=20) アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗	屋上：超硬化ウレタン塗膜防水（密着工法）	[下地処理のうえ新設]
B	屋上溝部：シート防水	[既存防水層撤去]	屋上溝部：塗膜防水 (X-2工法) [下地処理のうえ新設]
C	笠木：カラー鉄板	笠木：DP塗	[下地調整のうえ新設]
D	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法)	[下地処理のうえ新設]
E	ガラリー部：カラー鉄板	ガラリー部：DP塗	[下地処理のうえ新設]
F	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法) 高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
G	笠木：防水モルタル塗	笠木：塗膜防水 (X-2工法)	[下地処理のうえ新設]
H	玄関庇：ルーフデッキ H87	玄関庇：DP塗	[下地処理のうえ新設]
	RD：铸铁製φ100	[撤去]	RD：改修用ドレンφ100用 縦引き [新設]
	縦樋：VPφ100	[撤去]	縦樋：VPφ100カラー SUS製掴み金物共 [新設]



 改修箇所を示す
 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系 (MS-2、10×10)

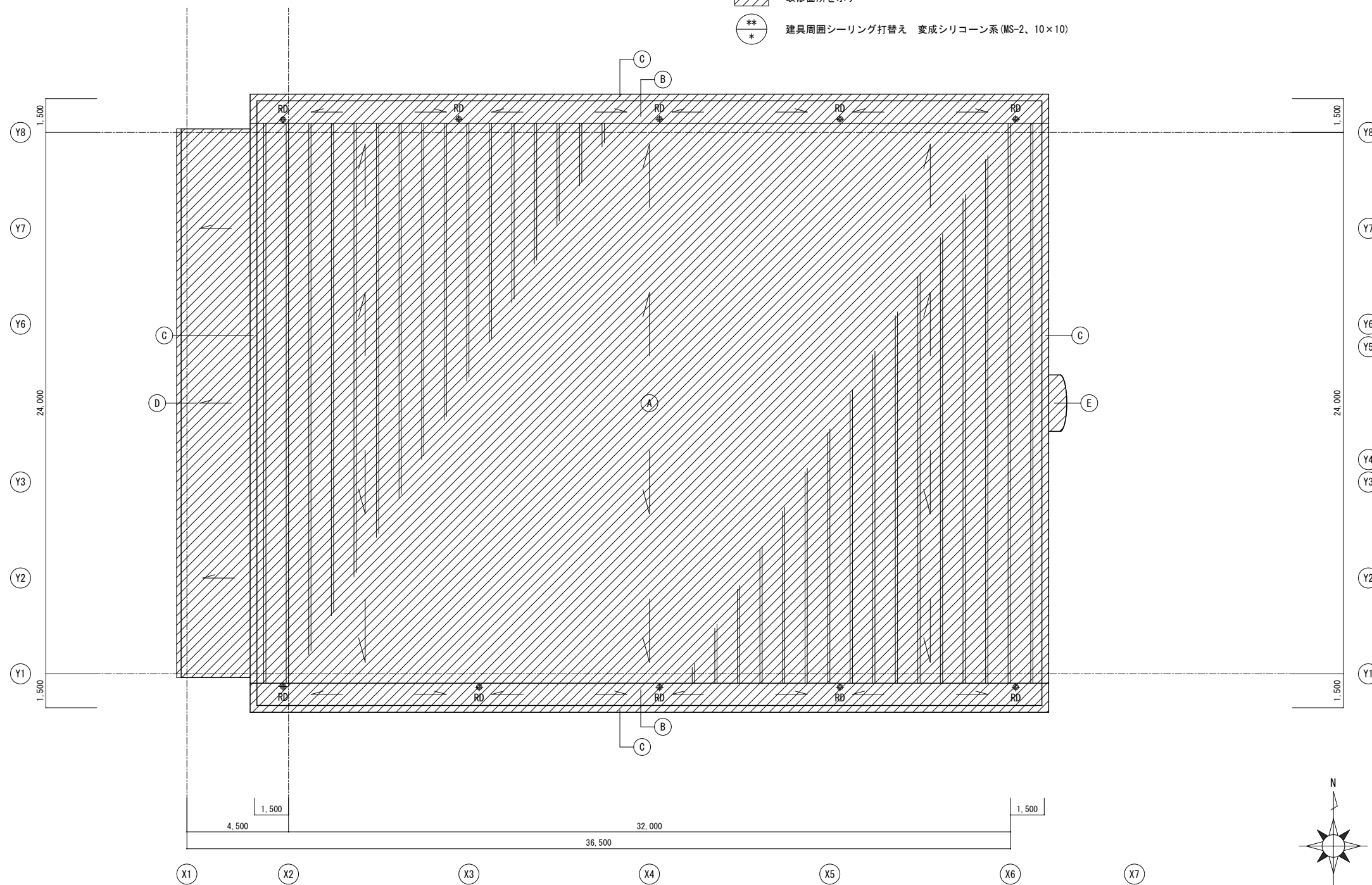


2階平面図 (改修前・後) S=1:150

は対象外を示す

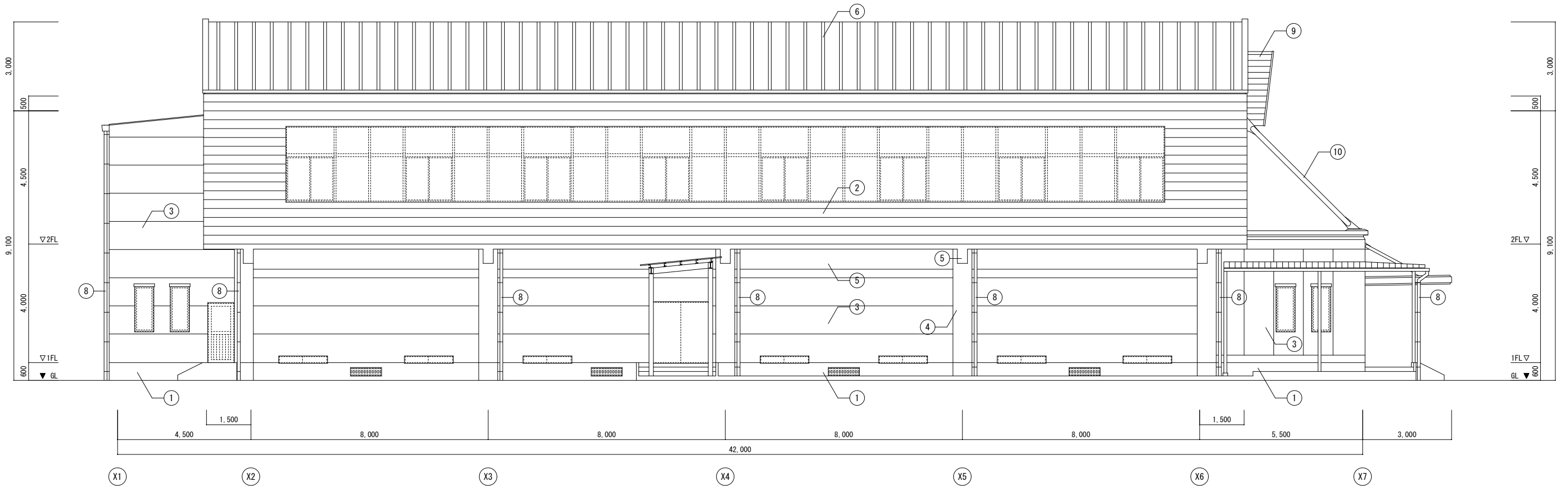
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	
A	屋上：木毛セメント板 (t=20)	屋上：超硬化ウレタン塗膜防水（密着工法）	[下地処理のうえ新設]
	アスファルトルーフィング		
	長尺カラー鉄板 瓦葺き		
	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗		
B	屋上溝部：シート防水	屋上溝部：塗膜防水 (X-2工法)	[下地処理のうえ新設]
C	笠木：カラー鉄板	笠木：DP塗	[下地調整のうえ新設]
D	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法) 高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
E	ガリ部：カラー鉄板	ガリ部：DP塗	[下地処理のうえ新設]
F	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法)	[下地処理のうえ新設]
G	笠木：防水モルタル塗	笠木：塗膜防水 (X-2工法)	[下地処理のうえ新設]
H	玄関庇：ルーフデッキ H87	玄関庇：DP塗	[下地処理のうえ新設]
	RD：铸铁製φ100	RD：改修用ドレンφ100用 縦引き	[新設]
	竪樋：VPφ100	竪樋：VPφ100カラー SUS製掴み金物共	[新設]

-  改修箇所を示す
-  建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系 (MS-2、10×10)



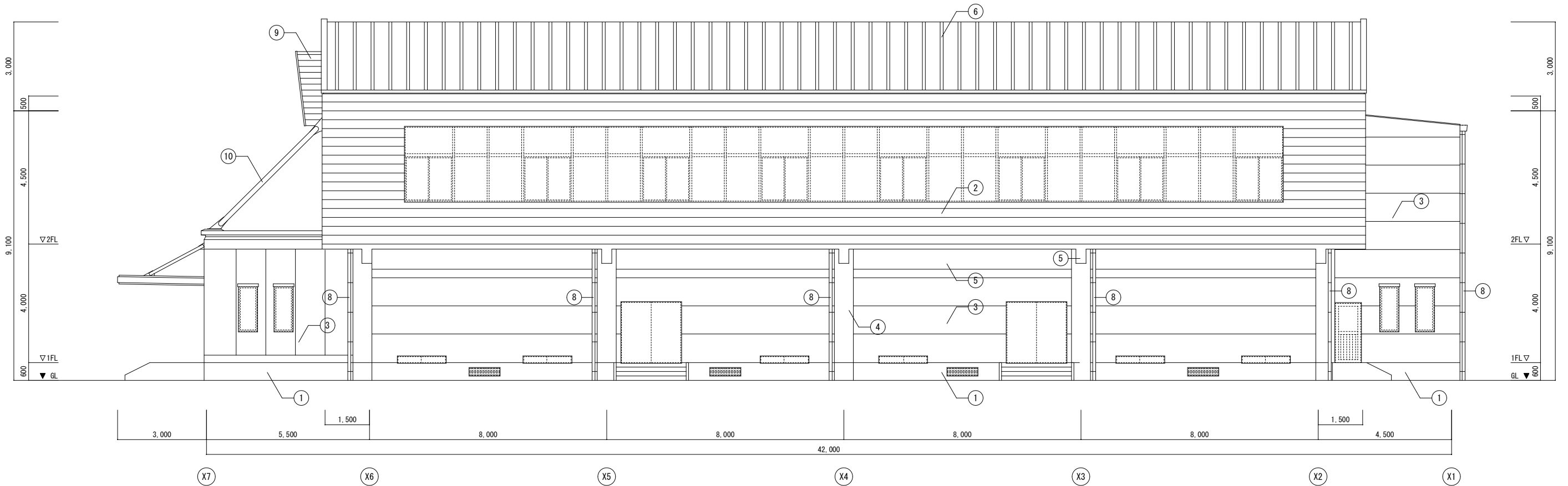
屋根伏図（改修前・後） S=1:150

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
①	根回り：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁（鉄骨部）：金属系サイディング 横張り アクリル樹脂吹付 [吹付材撤去]	壁（鉄骨部）：DP塗 [下地調整のうえ新設]
③	壁（RC部）：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	壁（RC部）：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	柱型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	柱型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	梁型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	梁型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	屋上：木毛セメント板（t=20） アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗 [吹付材撤去]	屋上：超速硬化ウレタン塗膜防水（密着工法） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑦	屋根：コンクリート直押え 合成高分子系ルーフィングシート防水 [吹付材撤去]	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水（S-W2工法）高反射タイプ [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑧	縦樋：VPφ100 [撤去（掘み金物共）]	縦樋：VPφ100カラー [新設（掘み金物共）]
	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [撤去]	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [新設]



南面立面図（改修前・後） S=1:100

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
①	根回り：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁（鉄骨部）：金属系サイディング 横張り アクリル樹脂吹付 [吹付材撤去]	壁（鉄骨部）：DP塗 [下地調整のうえ新設]
③	壁（RC部）：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	壁（RC部）：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	柱型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	柱型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	梁型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	梁型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	屋上：木毛セメント板（t=20） アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗 [吹付材撤去]	屋上：超速硬化ウレタン塗膜防水（密着工法） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑦	屋根：コンクリート直押え 合成高分子系ルーフィングシート防水 [吹付材撤去]	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水（S-M2工法）高反射タイプ [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑧	縦樋：VPφ100 [撤去（掘み金物共）]	縦樋：VPφ100カラー [新設（掘み金物共）]
	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [撤去]	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [新設]



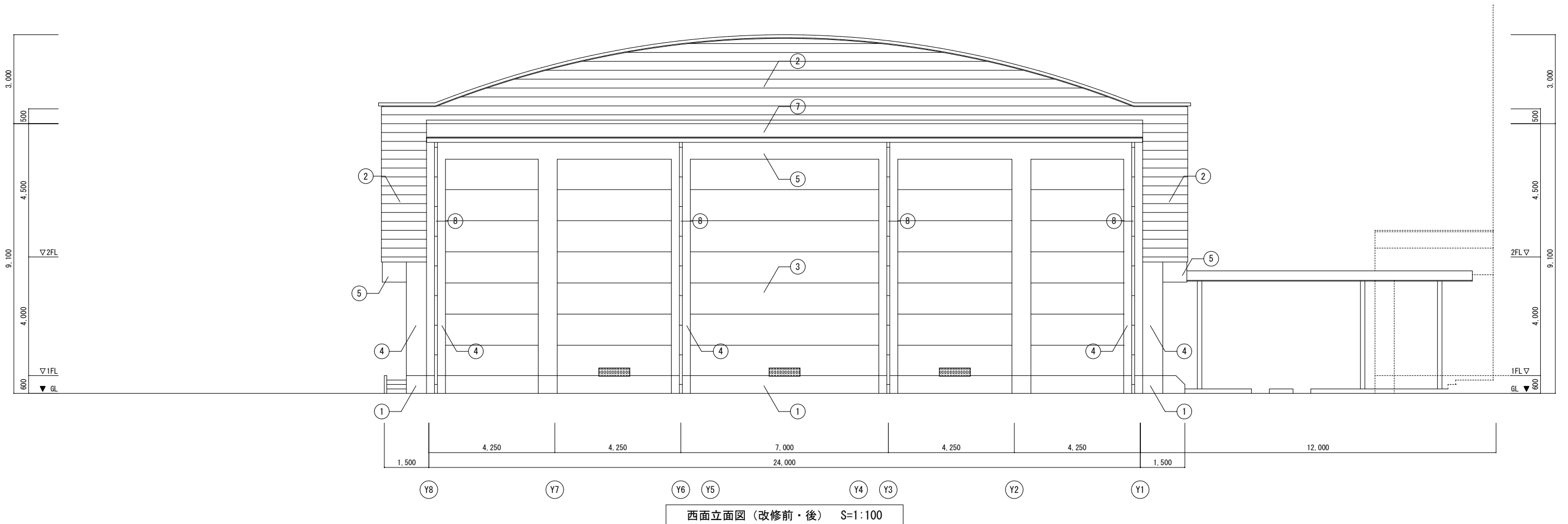
北面立面図（改修前・後） S=1:100

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
①	根回り：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁（鉄骨部）：金属系サイディング 横張り アクリル樹脂吹付 [吹付材撤去]	壁（鉄骨部）：DP塗 [下地調整のうえ新設]
③	壁（RC部）：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	壁（RC部）：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	柱型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	柱型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	梁型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	梁型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	屋上：木毛セメント板（t=20） アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗 [吹付材撤去]	屋上：超速硬化ウレタン塗膜防水（密着工法） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑦	屋根：コンクリート直押え 合成高分子系ルーフィングシート防水 [吹付材撤去]	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水（S-M2工法）高反射タイプ [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑧	縦樋：VPφ100 [撤去（掘み金物共）]	縦樋：VPφ100カラー [新設（掘み金物共）]
	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [撤去]	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [新設]

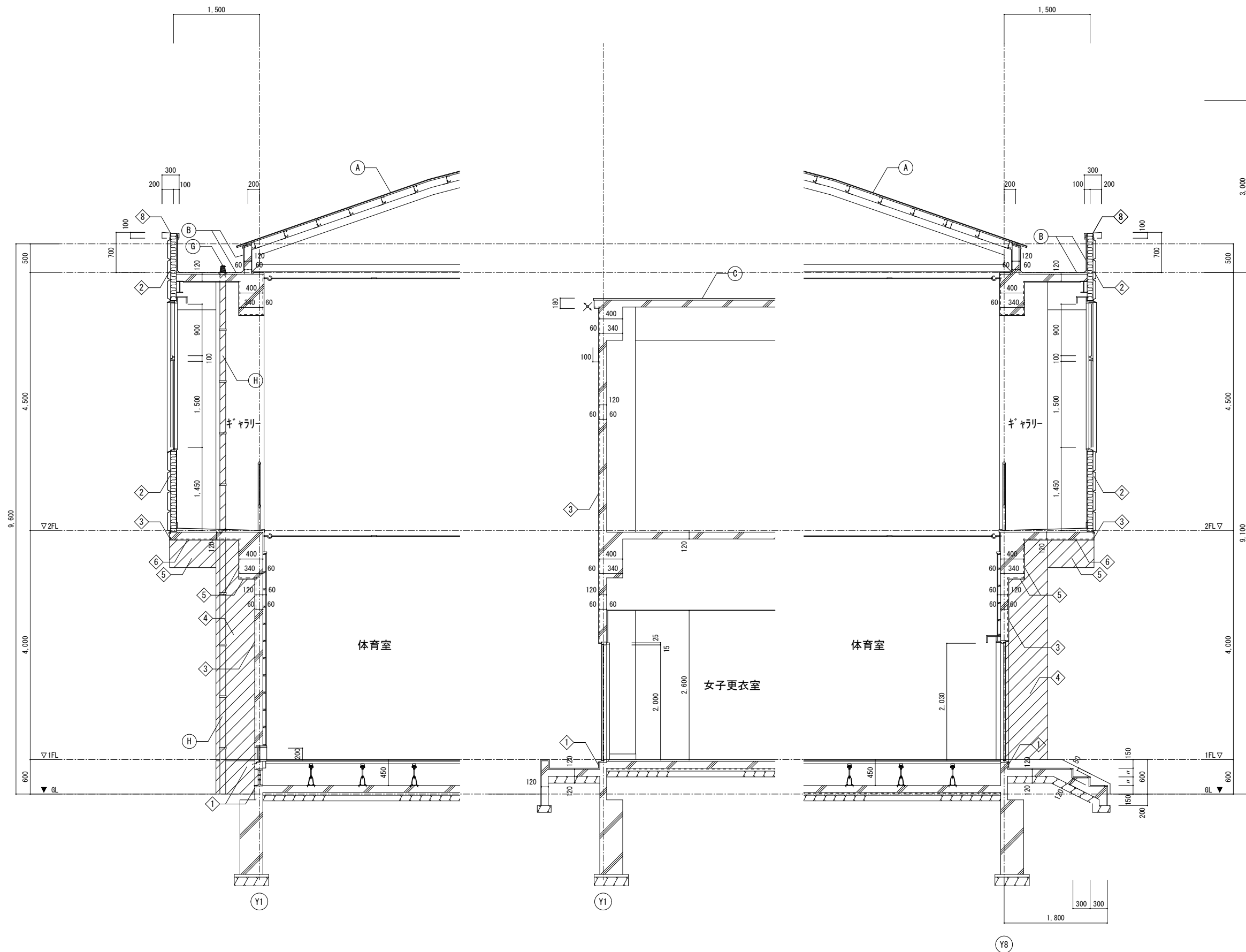


東面立面図（改修前・後） S=1:100

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
①	根回り：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁（鉄骨部）：金属系サイディング 横張り アクリル樹脂吹付 [吹付材撤去]	壁（鉄骨部）：DP塗 [下地調整のうえ新設]
③	壁（RC部）：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	壁（RC部）：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	柱型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	柱型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	梁型：コンクリート打放し補修 着色防水材吹付 [吹付材撤去]	梁型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	屋上：木毛セメント板（t=20） アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦棒葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗 [吹付材撤去]	屋上：超速硬化ウレタン塗膜防水（密着工法） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑦	屋根：コンクリート直押え 合成高分子系ルーフィングシート防水 [吹付材撤去]	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水（S-M2工法）高反射タイプ [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑧	堅樋：VPφ100 [撤去（掘み金物共）]	堅樋：VPφ100カラー [新設（掘み金物共）]
	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [撤去]	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [新設]



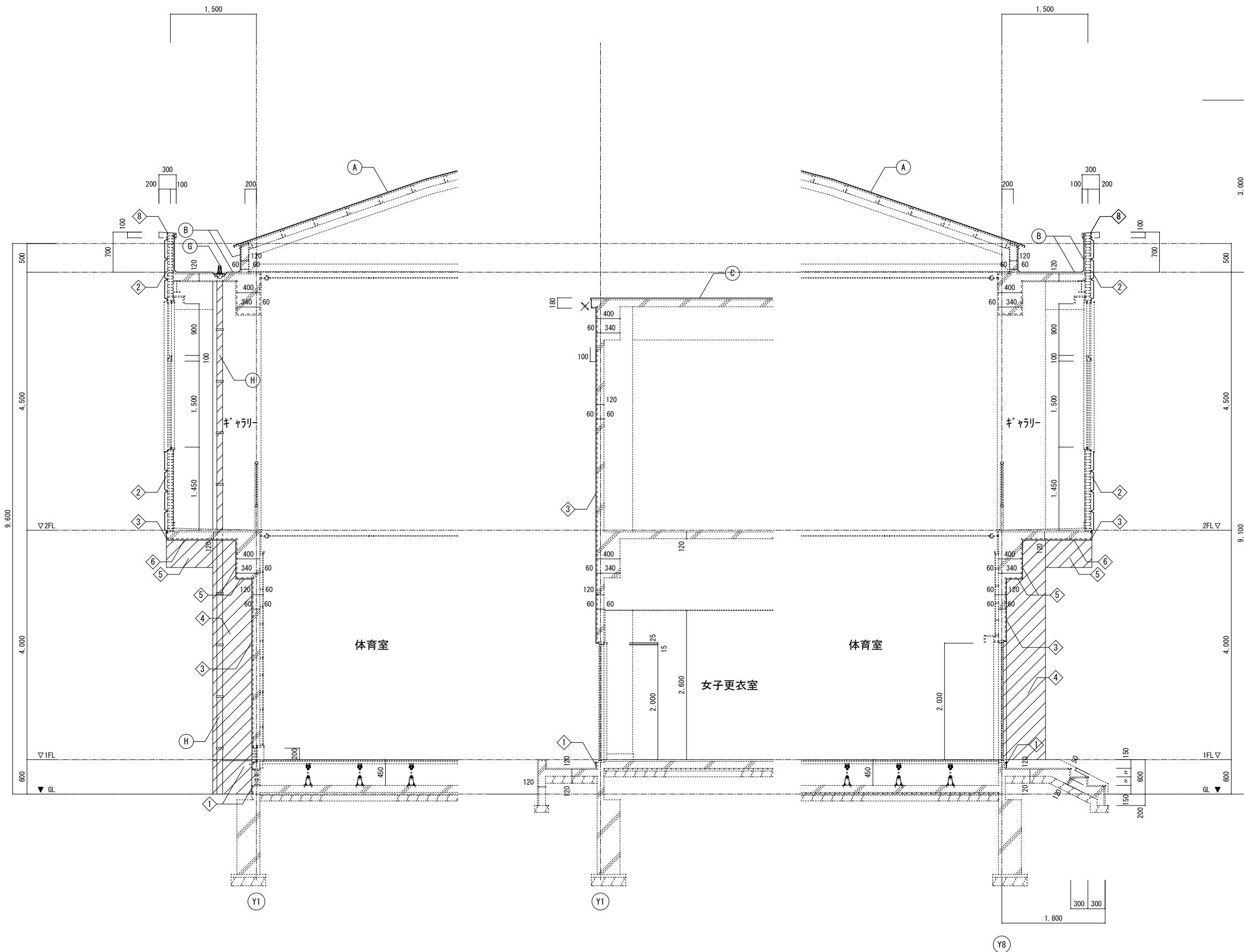
西面立面図（改修前・後） S=1:100



記号	部位	仕様	備考
	部位	仕上げ材 (下地)	(改修前)
X	防水改修工事		
A	屋上	木毛セメント板 (t=20) アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗	
B	屋上溝部	シート防水 (M)	[既存防水層撤去]
C	屋根	合成高分子系ルーフィングシート防水 (C)	
D	平場	合成高分子系ルーフィングシート防水 (C)	
E	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水 (C)	[既存防水層撤去]
F	笠木	防水モルタル塗	
G	RD	鋳鉄製 φ100	[撤去]
H	堅壁	VP φ100	[撤去 (摺り金物共)]
	建具周囲	変成シリコン系 (MS-2、10×10)	[撤去]
X	外壁改修工事		
1	根回り	着色防水材吹付 (C)	[吹付材撤去]
2	壁	金属系サイディング 横張り アクリル樹脂吹付	
3	壁	着色防水材吹付 (C)	[吹付材撤去]
4	柱型	着色防水材吹付 (C)	[吹付材撤去]
5	梁型	着色防水材吹付 (C)	[吹付材撤去]
6	スラブ下	着色防水材吹付 (C)	[吹付材撤去]
7	屋根	ルーフェデッキ H=87	
8	笠木	カラー鉄板	
9	ガラリ部	カラー鉄板	

凡例
 X …仕上げ見切りを示す

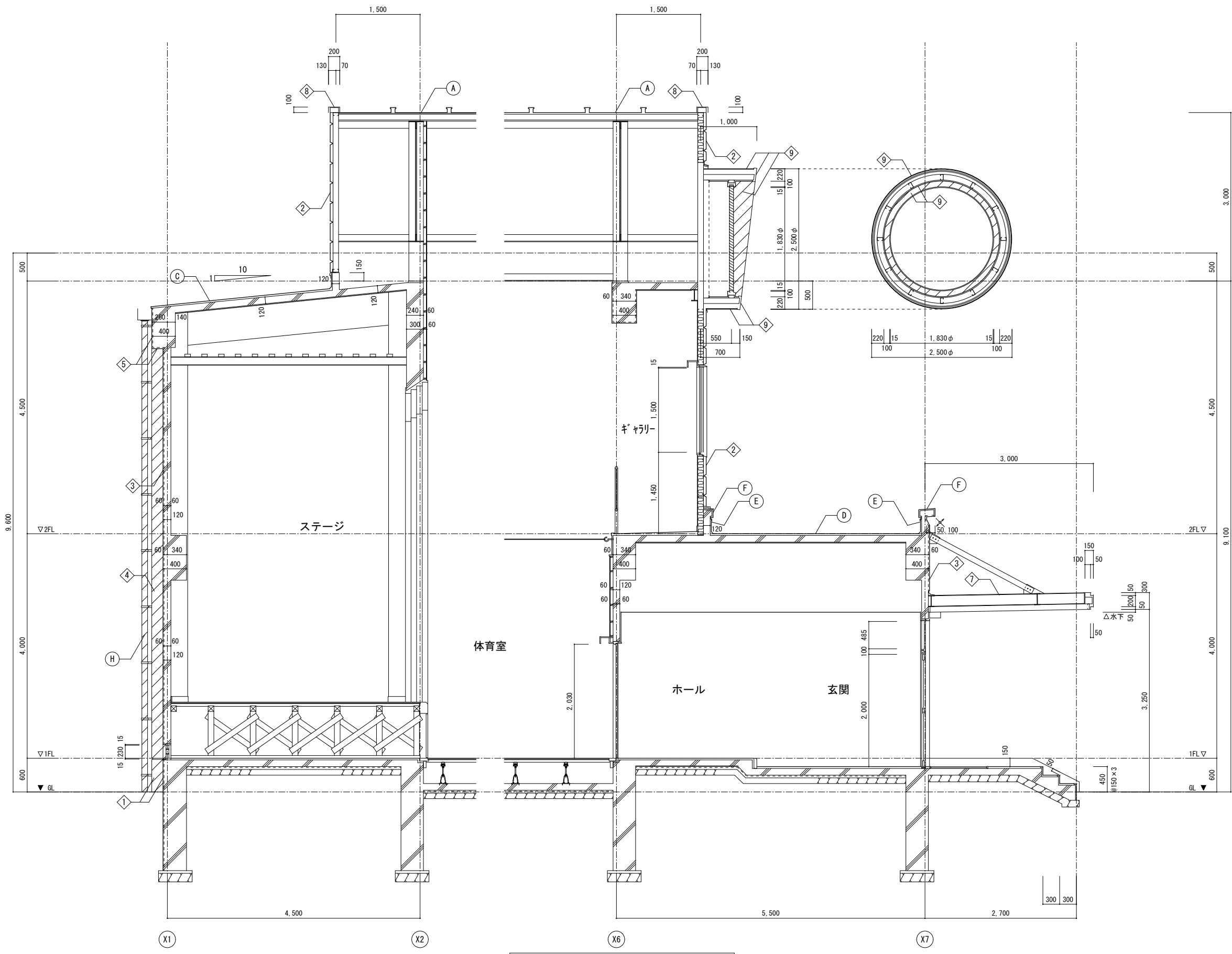
矩計図 (1) (改修前) S:1:50



矩計図(1) (改修後) S=1:50

記号	部位	仕様	備考
X	防水改修工事		
A	屋上	超速硬化ウレタン塗膜防水(密着工法)	[下地処理のうえ新設]
B	屋上溝部	塗膜防水(X-2工法) (M)	[下地処理のうえ新設]
C	屋根	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) (C)	
		高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
D	平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) (C)	
		高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
E	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	
		高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
F	笠木	塗膜防水(X-2工法) (M)	[下地処理のうえ新設]
G	RD	改修用ドレンφ100用	[新設]
H	堅積	VPφ100カラー	[新設(摺り金物共)]
	建具周囲	変成シリコン系(MS-2、10×10)	[新設]
X	外壁改修工事		
1	根回り	水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁	DP塗	[下地調整のうえ新設]
3	壁	防水形複層塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	柱型	防水形複層塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
5	梁型	防水形複層塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
6	スラブ下	外装薄塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
7	屋根	DP塗	[下地処理のうえ新設]
8	笠木	DP塗	[下地処理のうえ新設]
9	ガラリ部	DP塗	[下地調整のうえ新設]

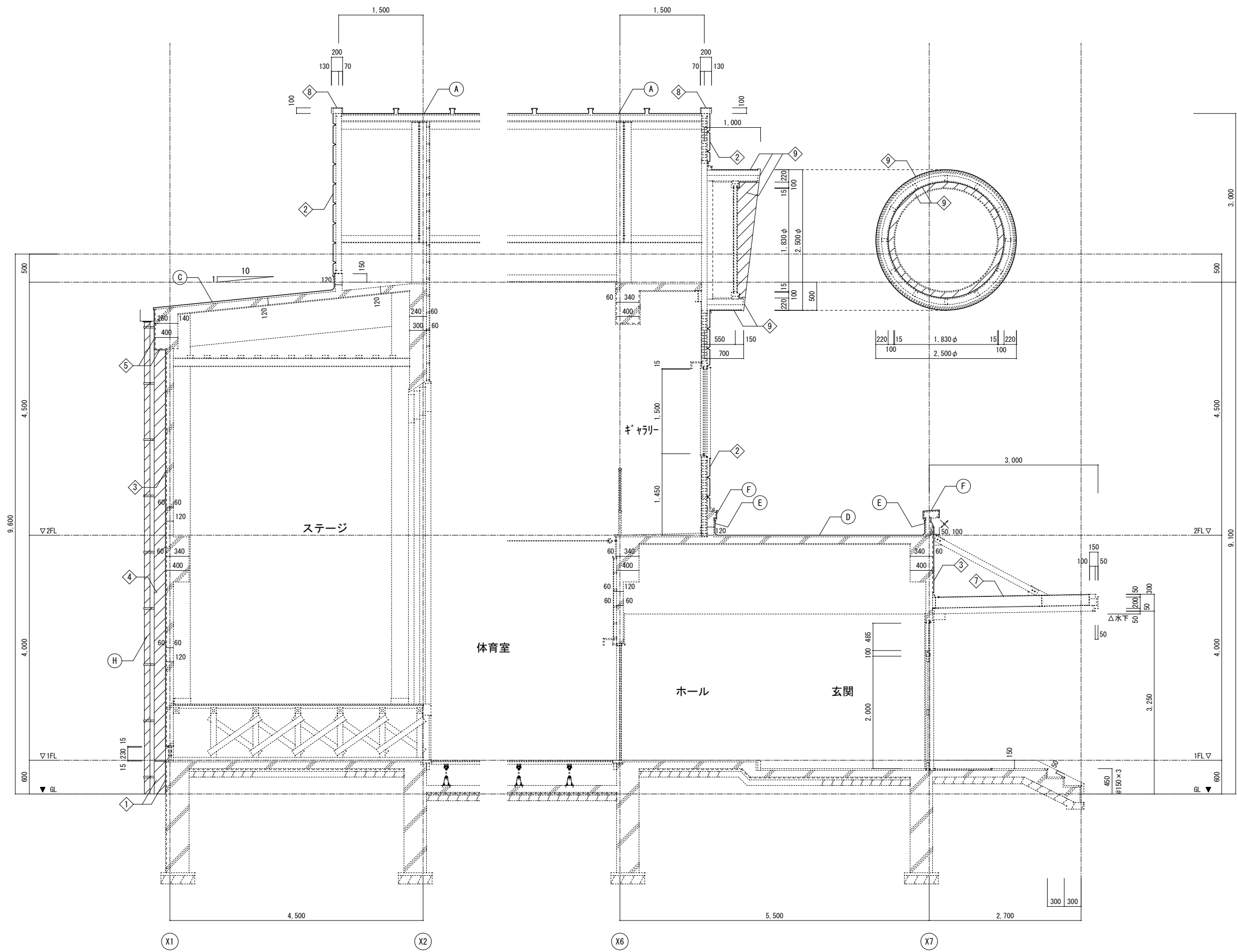
凡例
 X ……仕上げ見切りを示す



矩計図(2) (改修前) S=1:50

記号	部位：仕上げ材(下地) (改修前)
X	防水改修工事
A	屋上：木毛セメント板(t=20) アスファルトルーフィング 長尺カラー鉄板 瓦棒葺き 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗
B	屋上溝部：シート防水(M) [既存防水層撤去]
C	屋根：合成高分子系ルーフィングシート防水(C)
D	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水(C)
E	立上り：合成高分子系ルーフィングシート防水(C) [既存防水層撤去]
F	笠木：防水モルタル塗
G	RD：鑄鉄製φ100 [撤去]
H	壁：VPφ100 [撤去(摺り金物共)]
	建具周囲：変成シリコン系(MS-2、10×10) [撤去]
X	外壁改修工事
1	根回り：着色防水材吹付(C) [吹付材撤去]
2	壁：金属系サイディング 横張り アクリル樹脂吹付
3	壁：着色防水材吹付(C) [吹付材撤去]
4	柱型：着色防水材吹付(C) [吹付材撤去]
5	梁型：着色防水材吹付(C) [吹付材撤去]
6	スラブ下：着色防水材吹付(C) [吹付材撤去]
7	屋根：ルーフデッキ H=87
8	笠木：カラー鉄板
9	ガラリー部：カラー鉄板

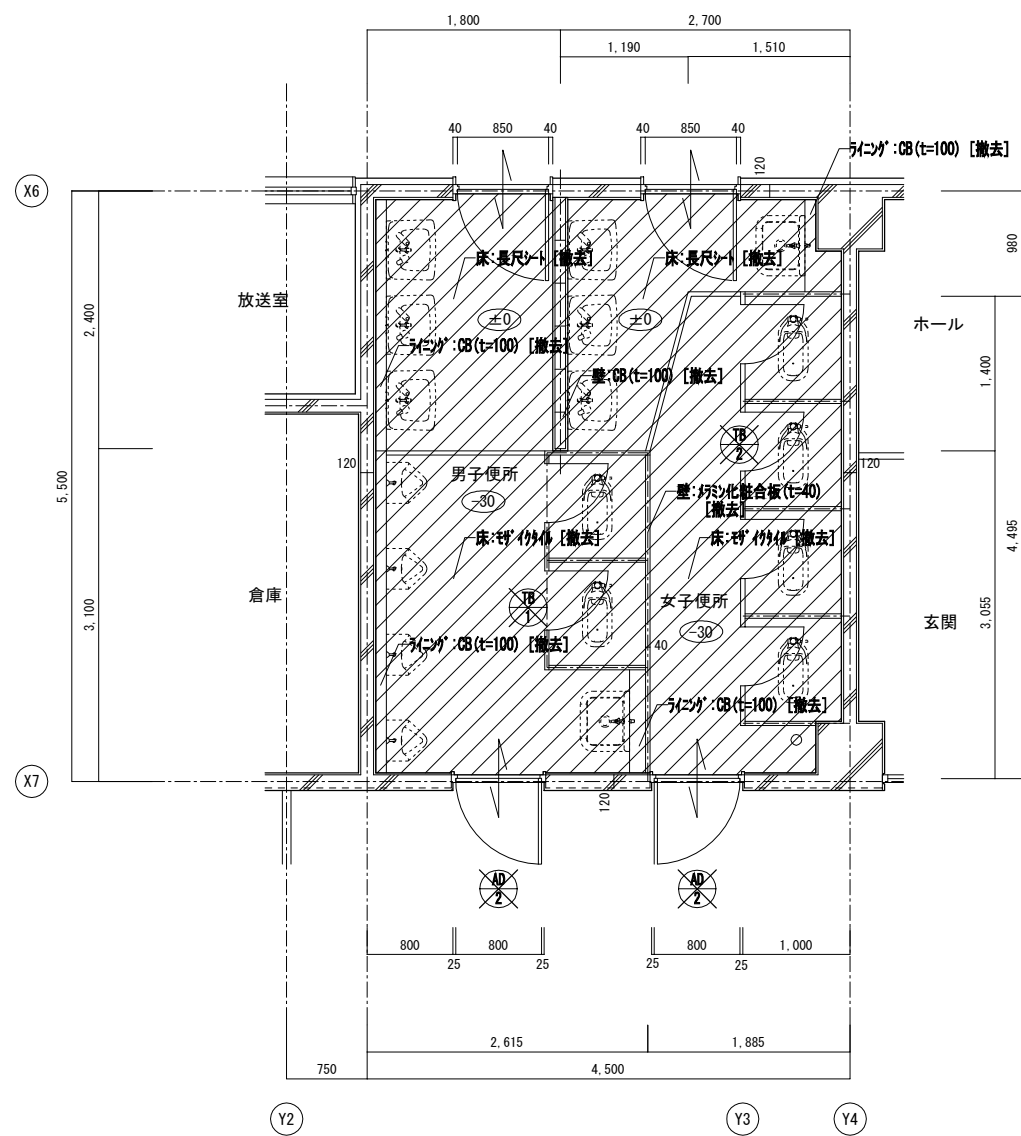
凡例
 X ...仕上げ見切りを示す





矩計図(2) (改修後) S=1:50

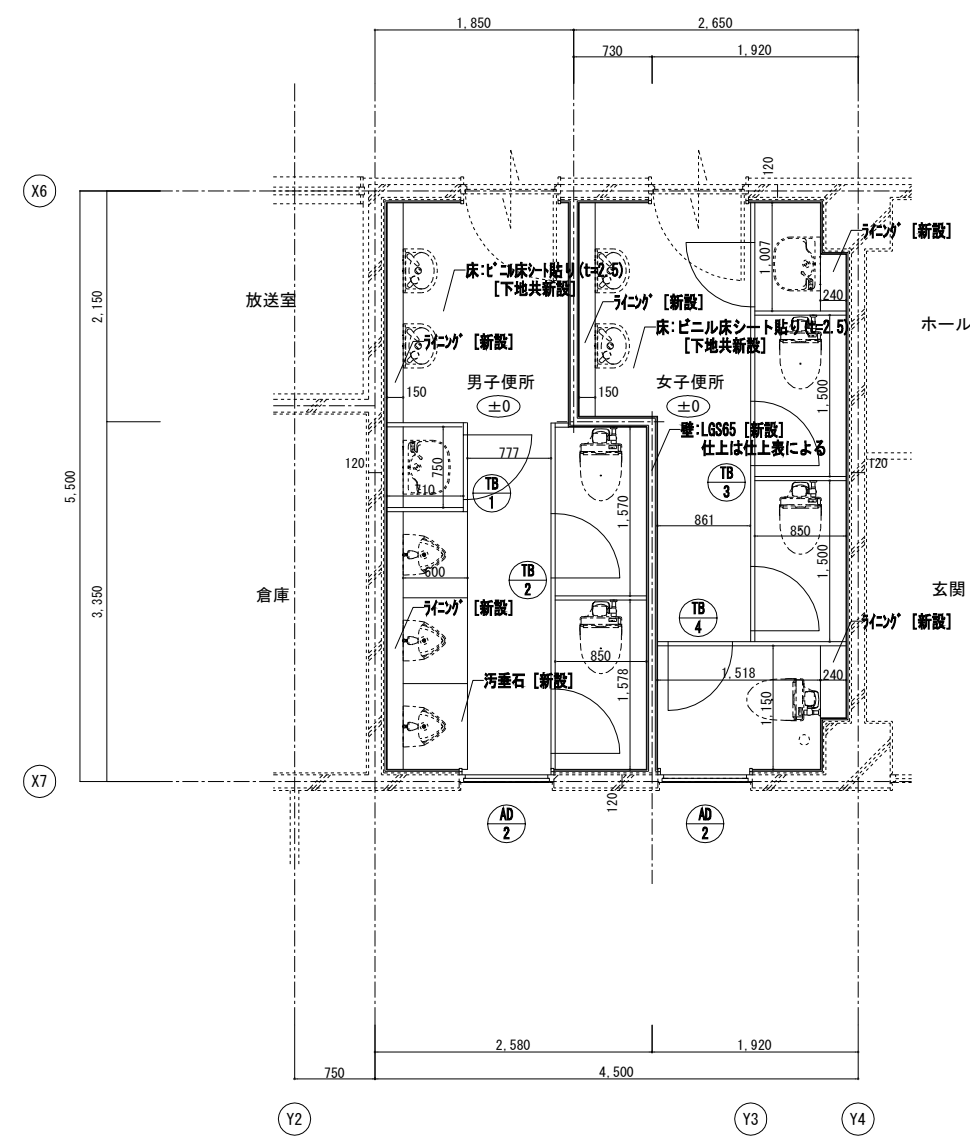
記号	部位	仕様	備考
X	防水改修工事		
A	屋上	超速硬化ウレタン塗膜防水(密着工法)	[下地処理のうえ新設]
B	屋上溝部	塗膜防水(X-2工法) (M)	[下地処理のうえ新設]
C	屋根	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) (C)	
		高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
D	平場	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) (C)	
		高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
E	立上り	合成高分子系ルーフィングシート防水(S-F2工法) (C)	
		高反射タイプ	[下地処理のうえ新設]
F	笠木	塗膜防水(X-2工法) (M)	[下地処理のうえ新設]
G	RD	改修用ドレンφ100用	[新設]
H	堅種	VPφ100カラー	[新設(掘み金物共)]
	建具周囲	変成シリコン系(MS-2、10×10)	[新設]
X	外壁改修工事		
1	根回り	水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁	DP塗	[下地調整のうえ新設]
3	壁	防水形複層塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	柱型	防水形複層塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
5	梁型	防水形複層塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
6	スラブ下	外装薄塗材E吹付(C)	[劣化部処理、下地調整のうえ新設]
7	屋根	DP塗	[下地処理のうえ新設]
8	笠木	DP塗	[下地処理のうえ新設]
9	ガラリ部	DP塗	[下地調整のうえ新設]

凡例
 X ...仕上げ見切りを示す






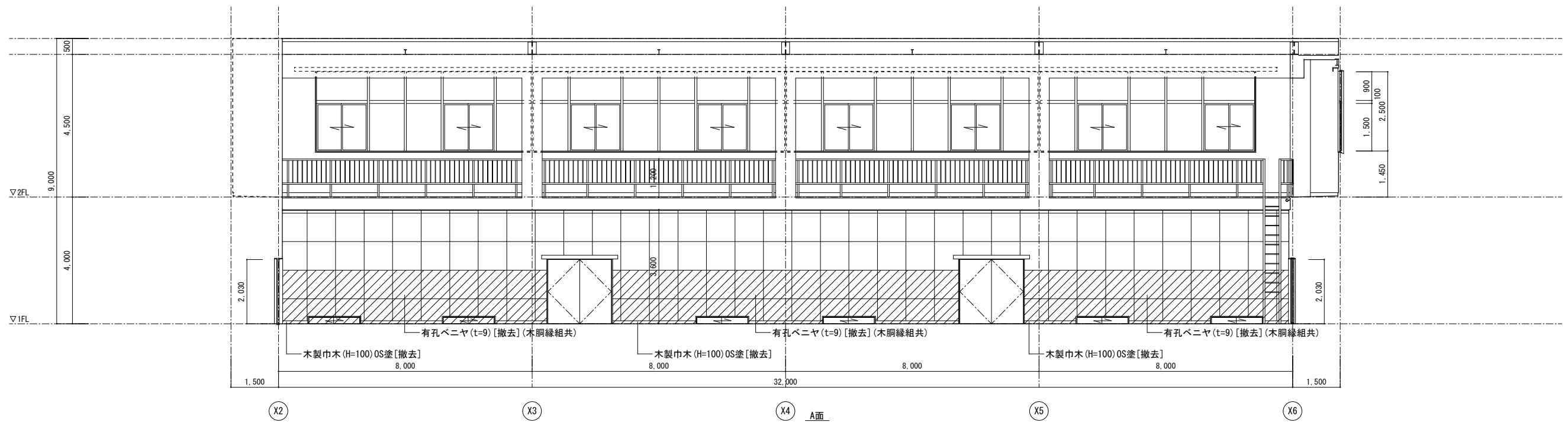
平面詳細図(改修前) S=1:50

- 凡例
-  [下地共撤去] を示す
※床土間コンクリート t=120共
 -  撤去建具を示す

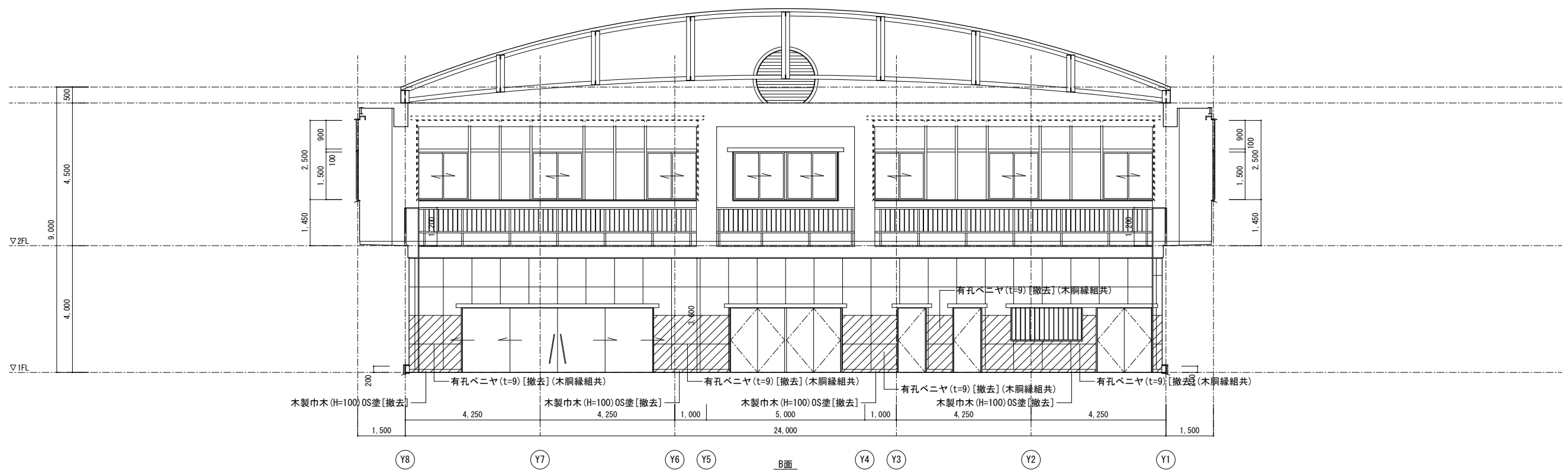


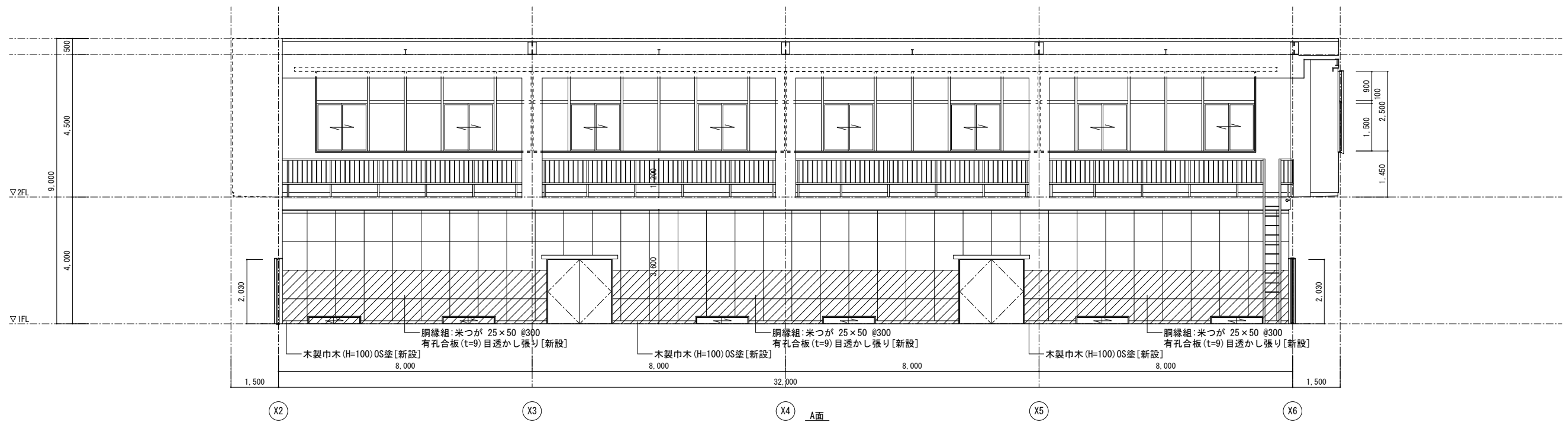
平面詳細図(改修後) S=1:50

- 凡例
-  実線 新設部分を示す
 -  破線 既存部分を示す
 -  新設建具を示す

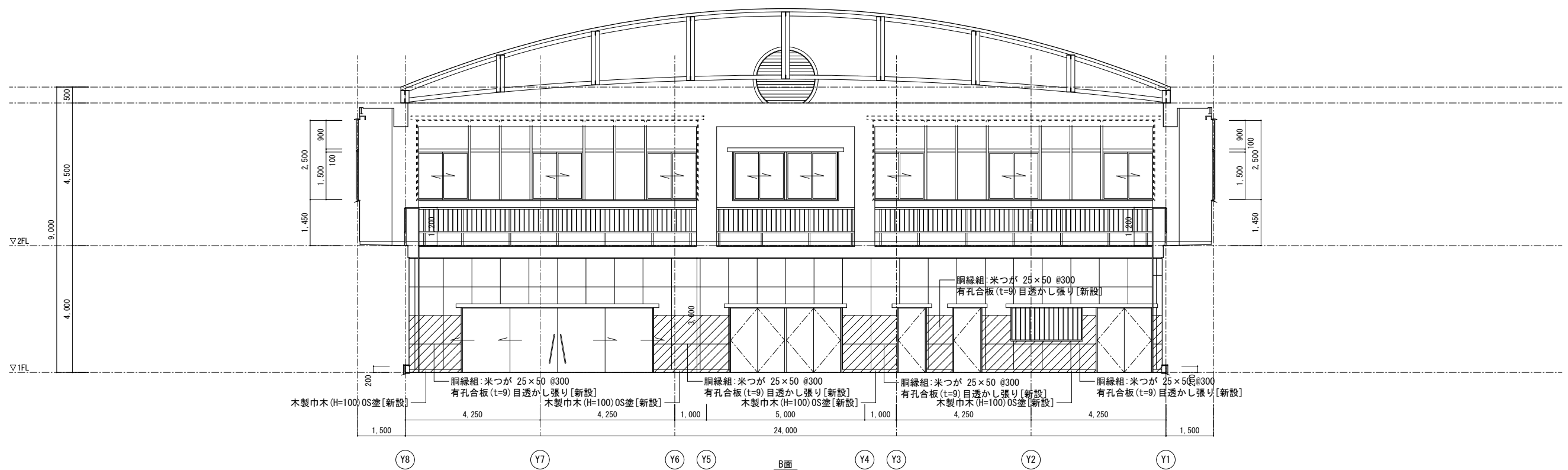


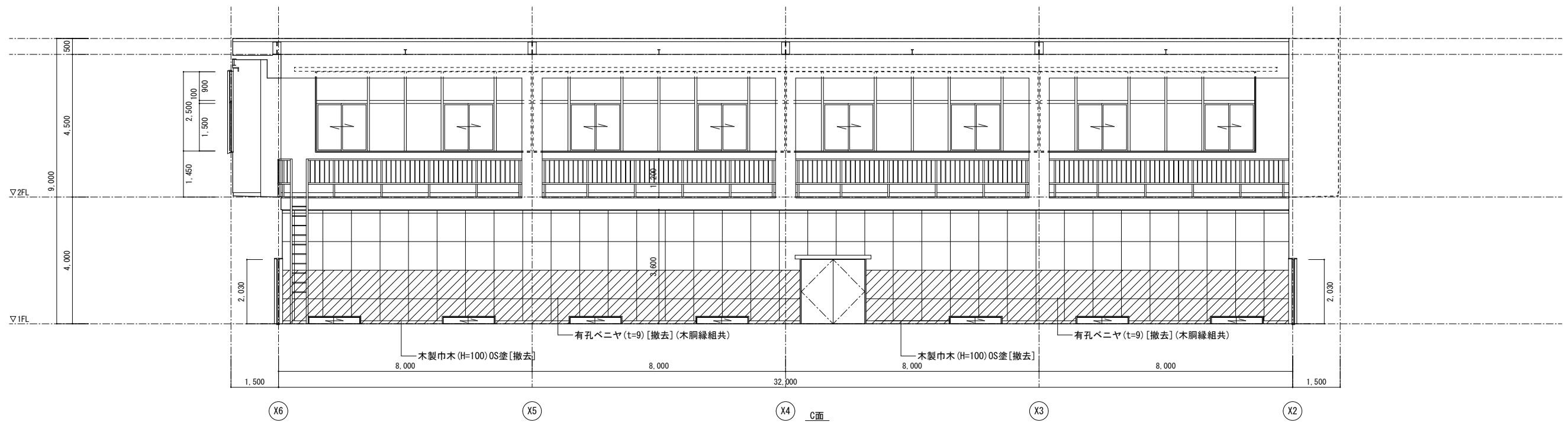
屋内運動場展開図 S=1:100



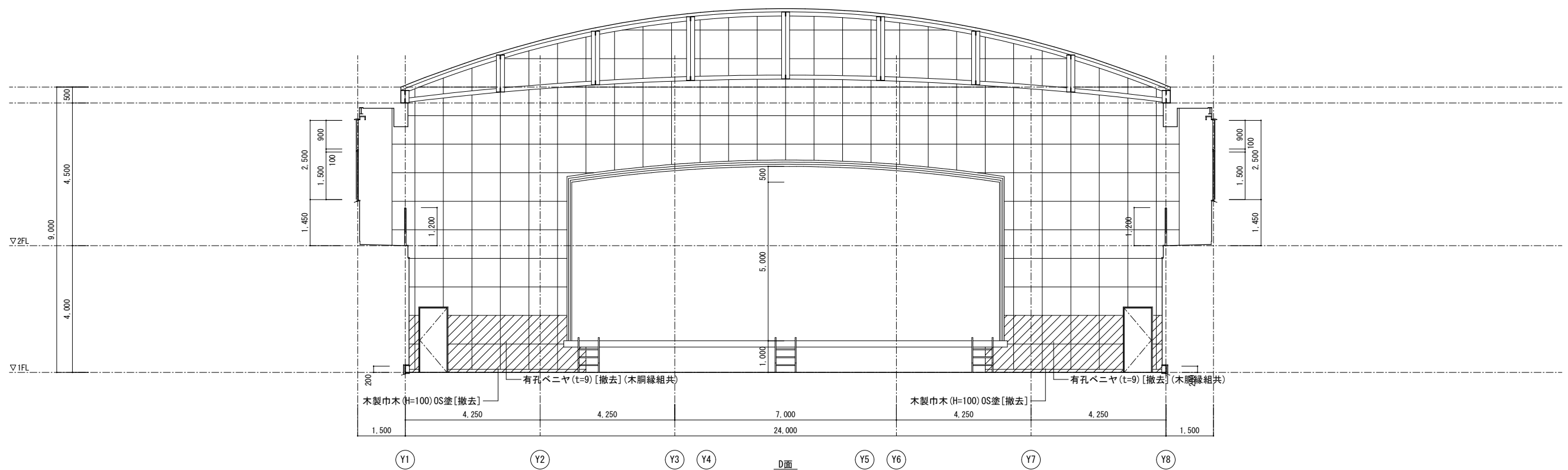


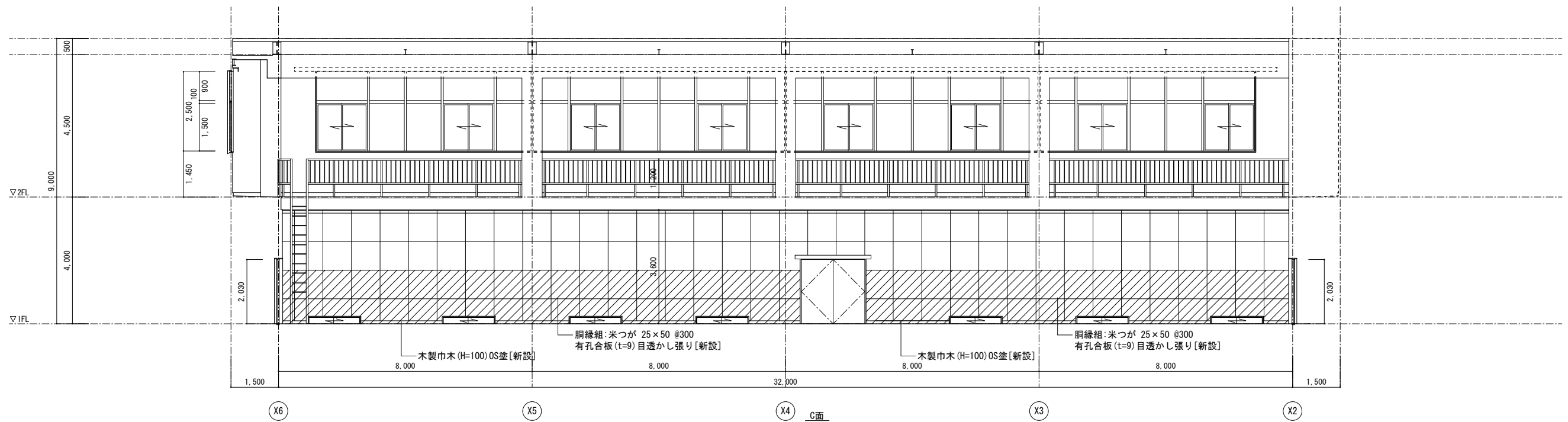
屋内運動場展開図 S=1:100



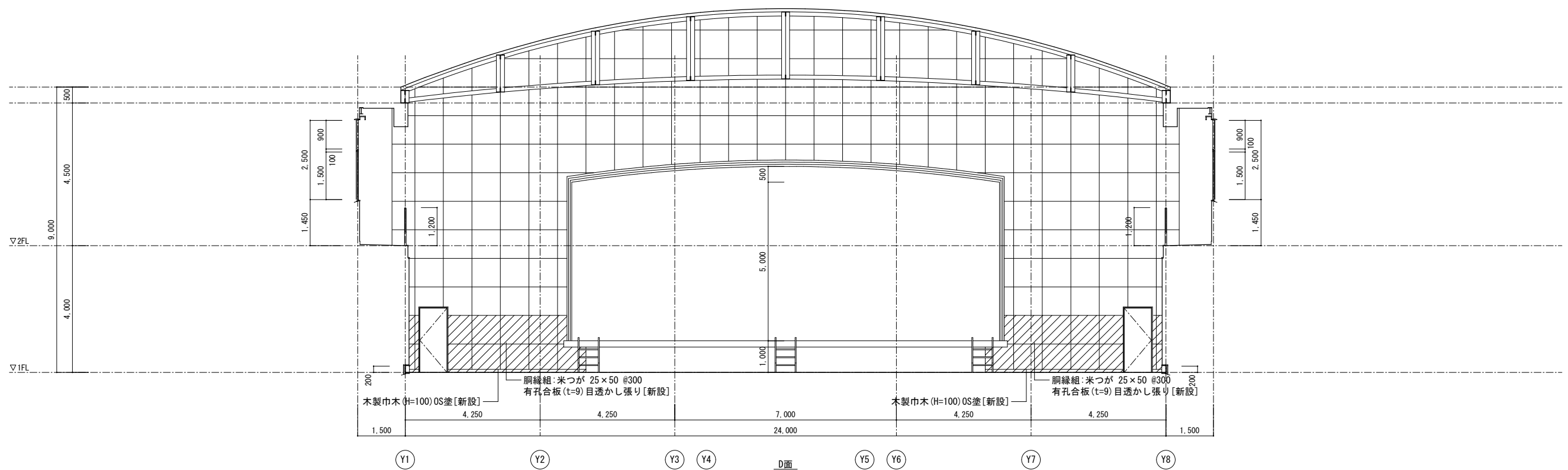


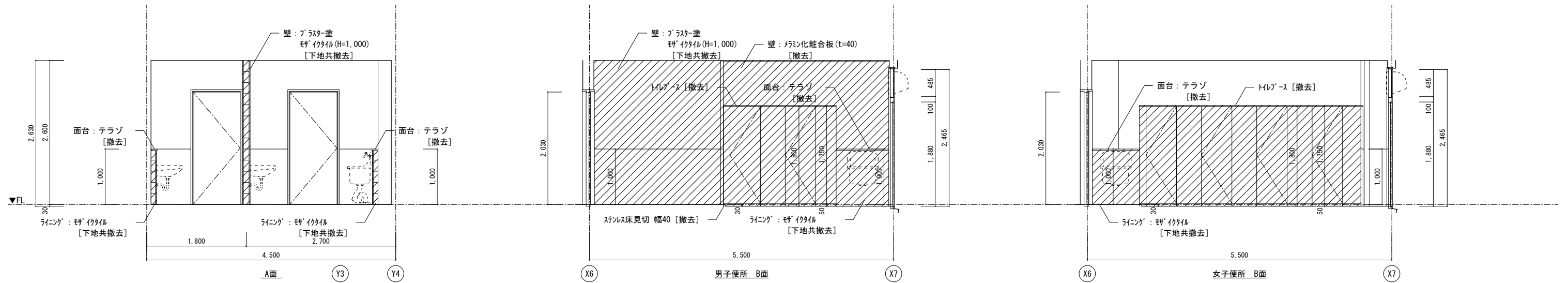
屋内運動場展開図 S=1:100



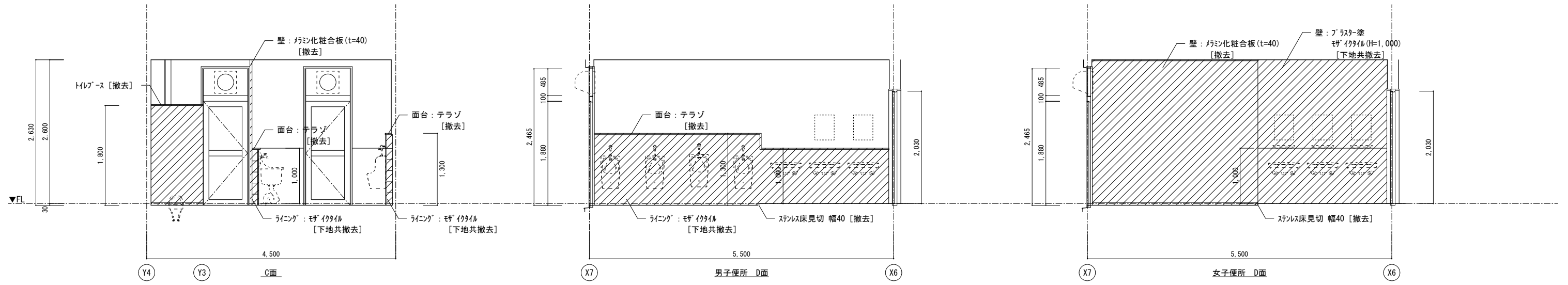


屋内運動場展開図 S=1:100

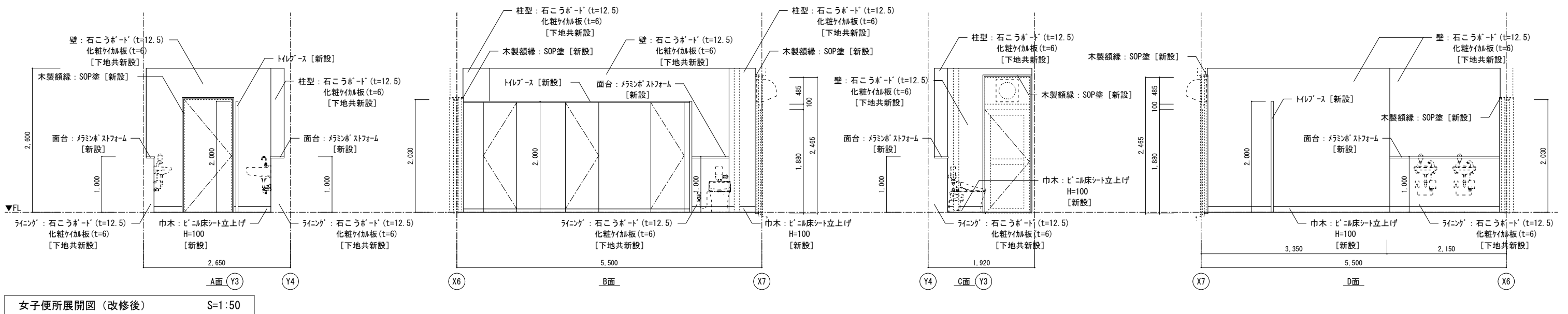
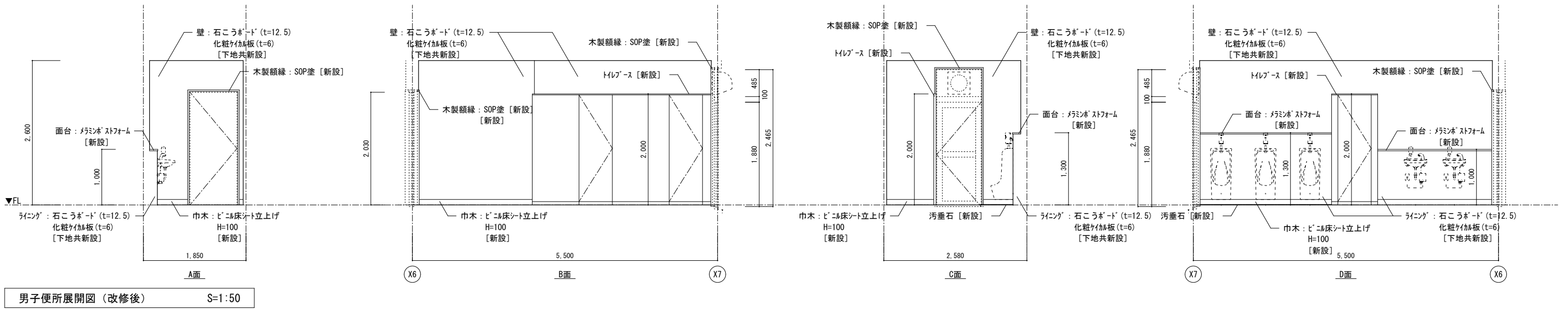




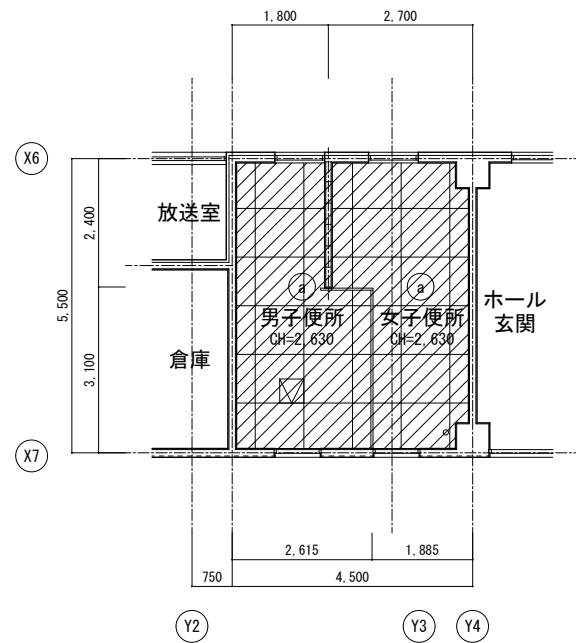
便所展開図 (改修前) S=1:50



凡例
 [撤去]を示す



凡例
 ——— 実線 新設部分を示す
 - - - - - 破線 既存部分を示す

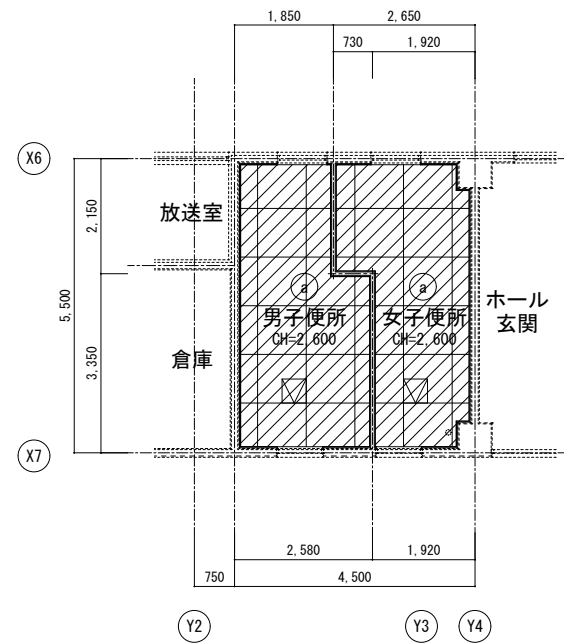


凡例

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	
Ⓐ	石綿大平板	【撤去】
☑	点検口：アルミ枠(450×450)	【撤去】

凡例
 【撤去】を示す

天井伏図（改修前） S=1:100

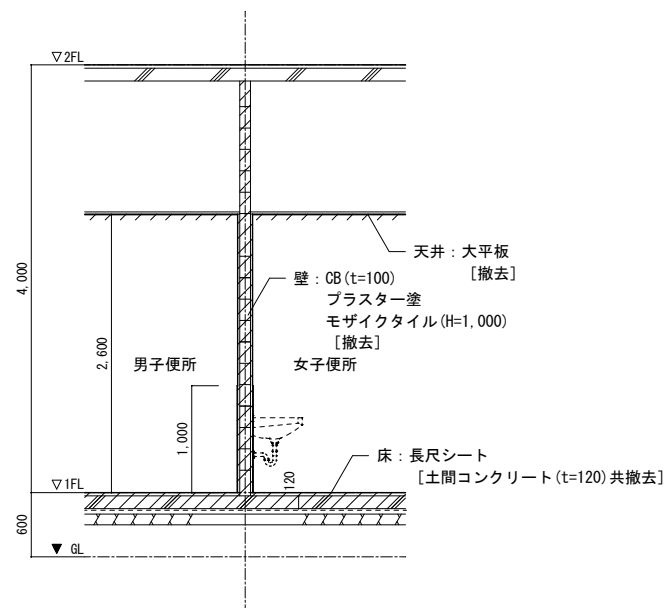


凡例

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	
Ⓐ	化粧石こうボード(t=9.5)	【新設】
☑	点検口：アルミ枠(450×450)	【新設】

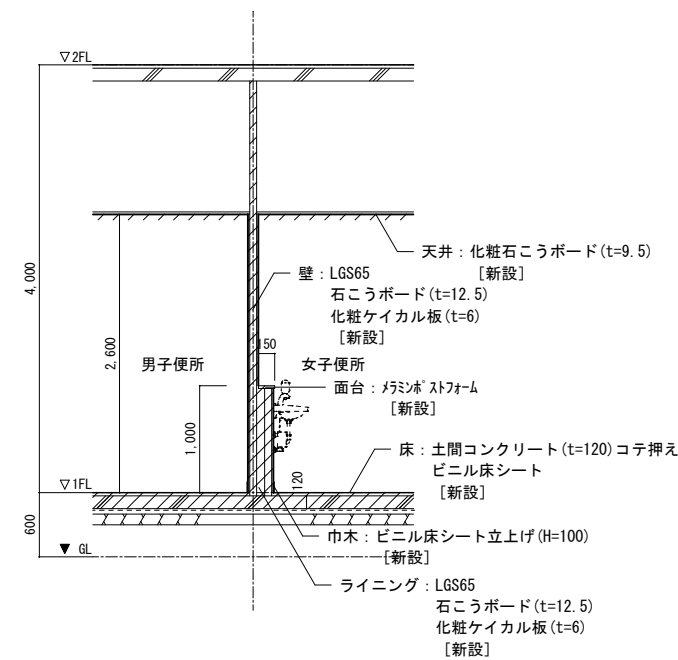
凡例
 【新設】を示す

天井伏図（改修後） S=1:100



断面詳細図（改修前） S=1:50

凡例
 【撤去】を示す



断面詳細図（改修後） S=1:50

凡例
 【新設】を示す



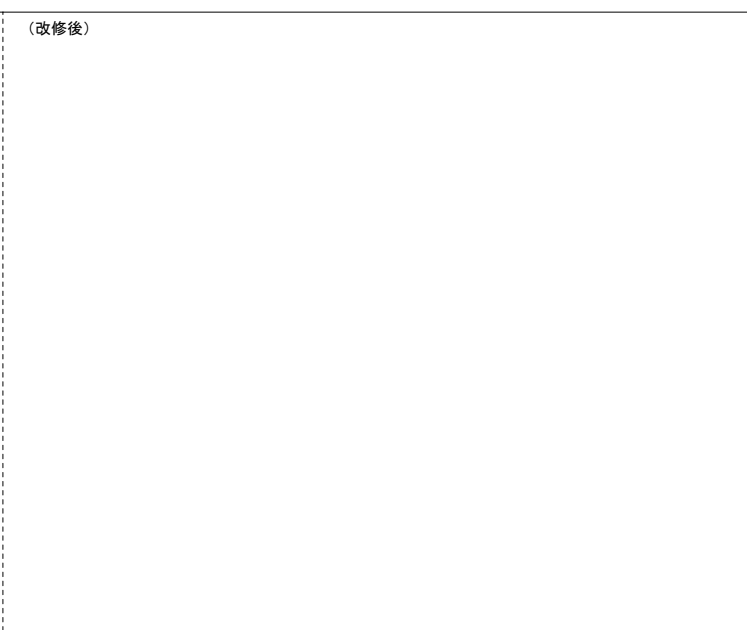
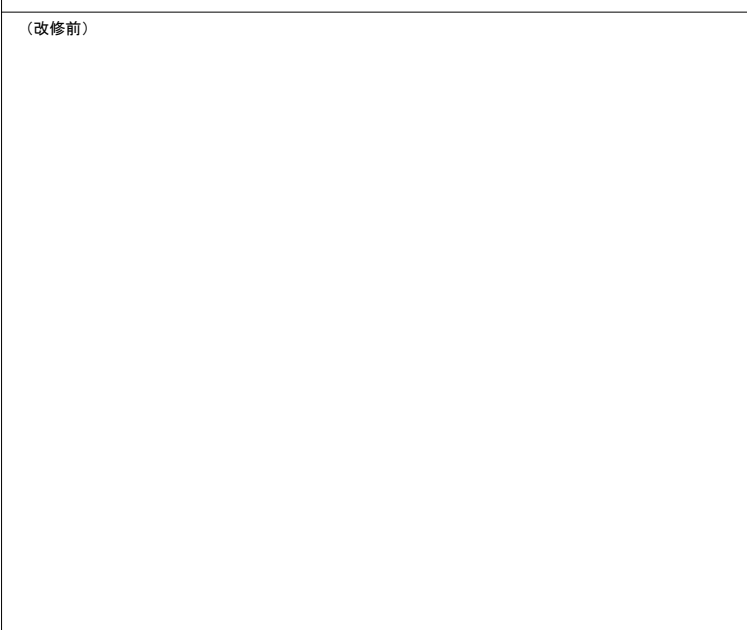
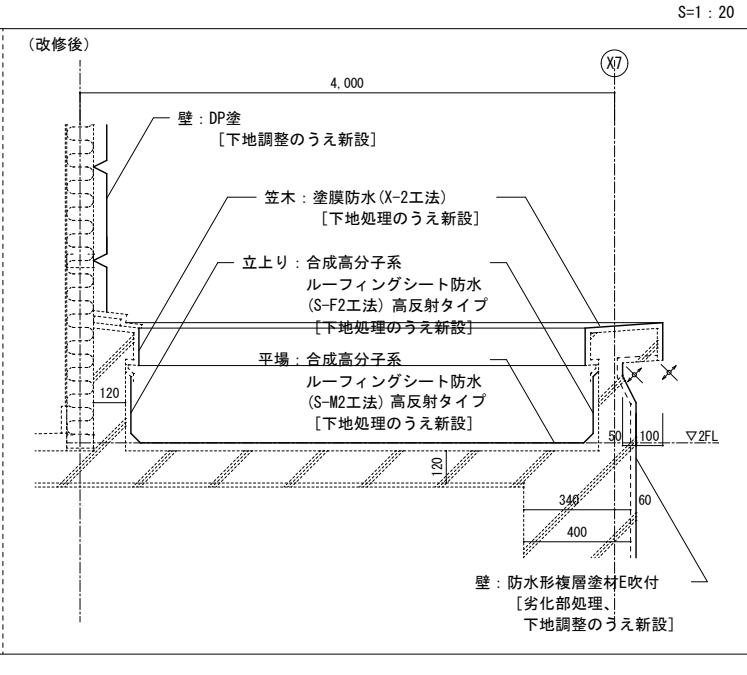
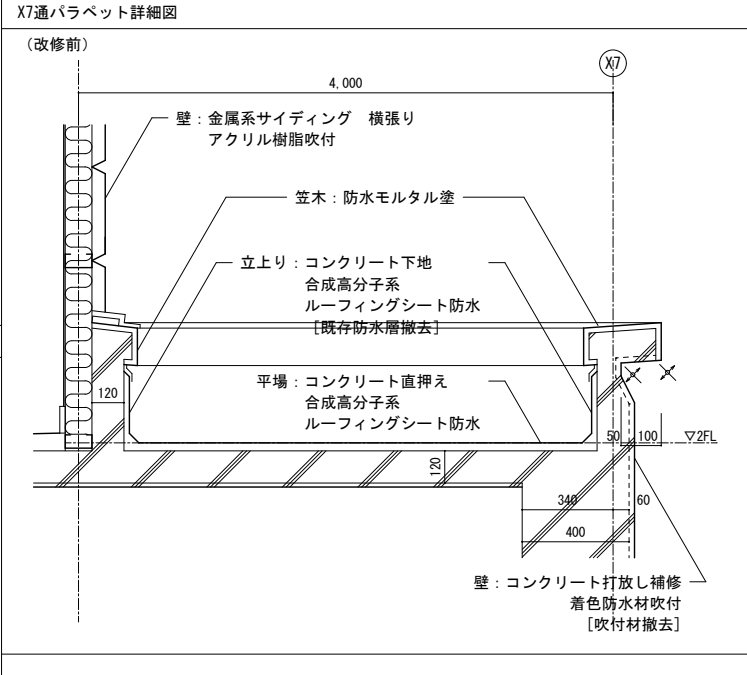
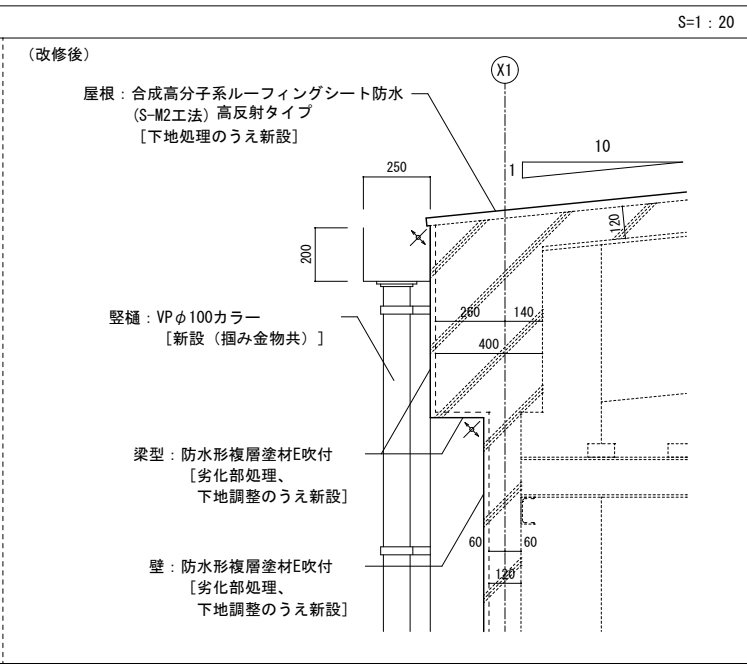
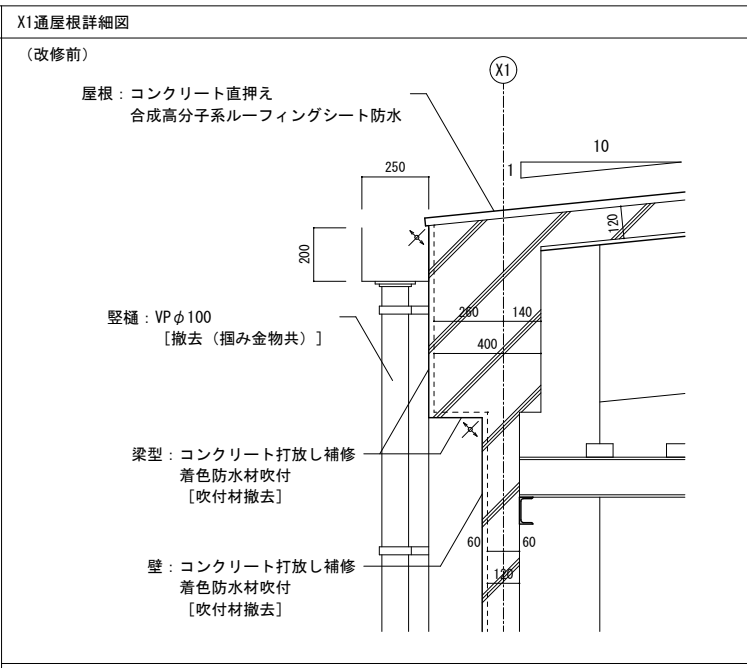
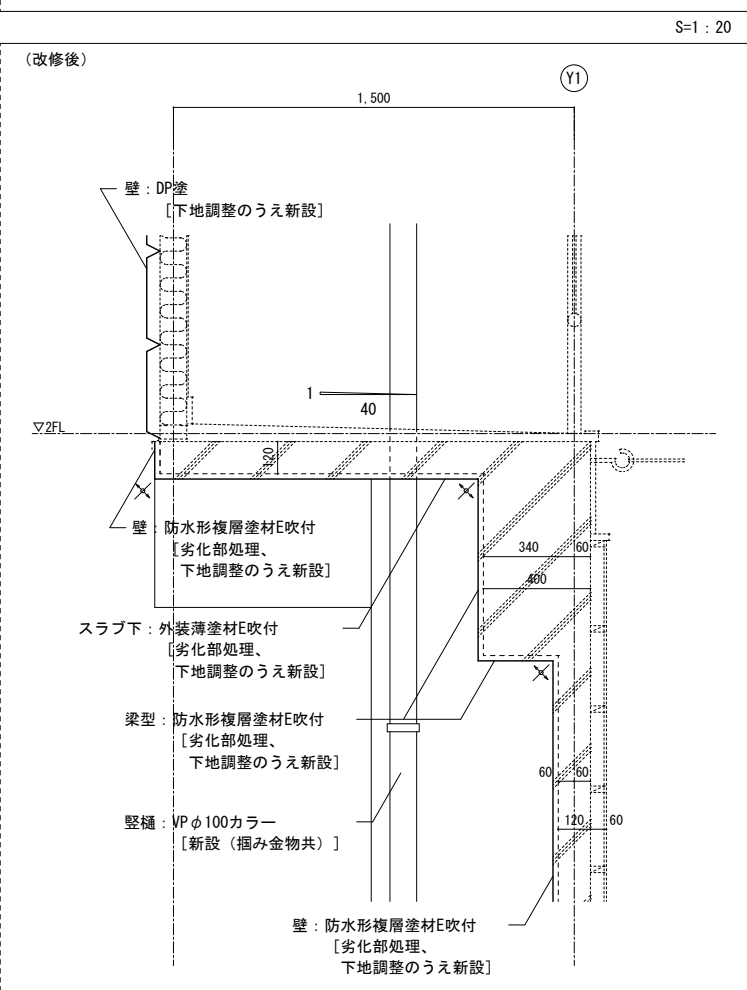
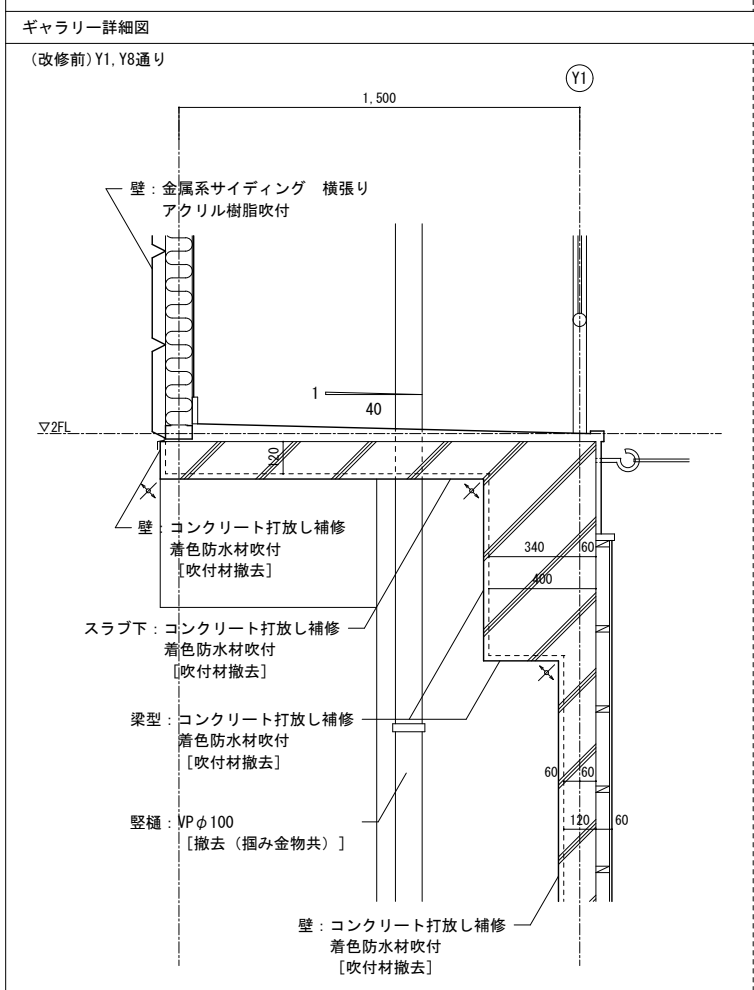
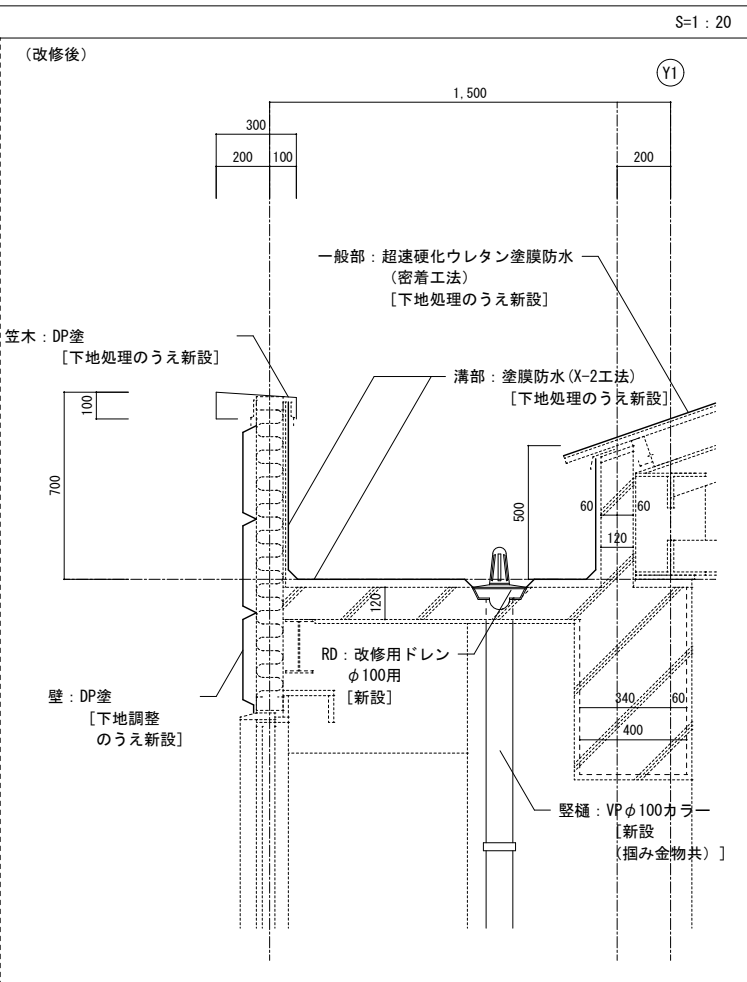
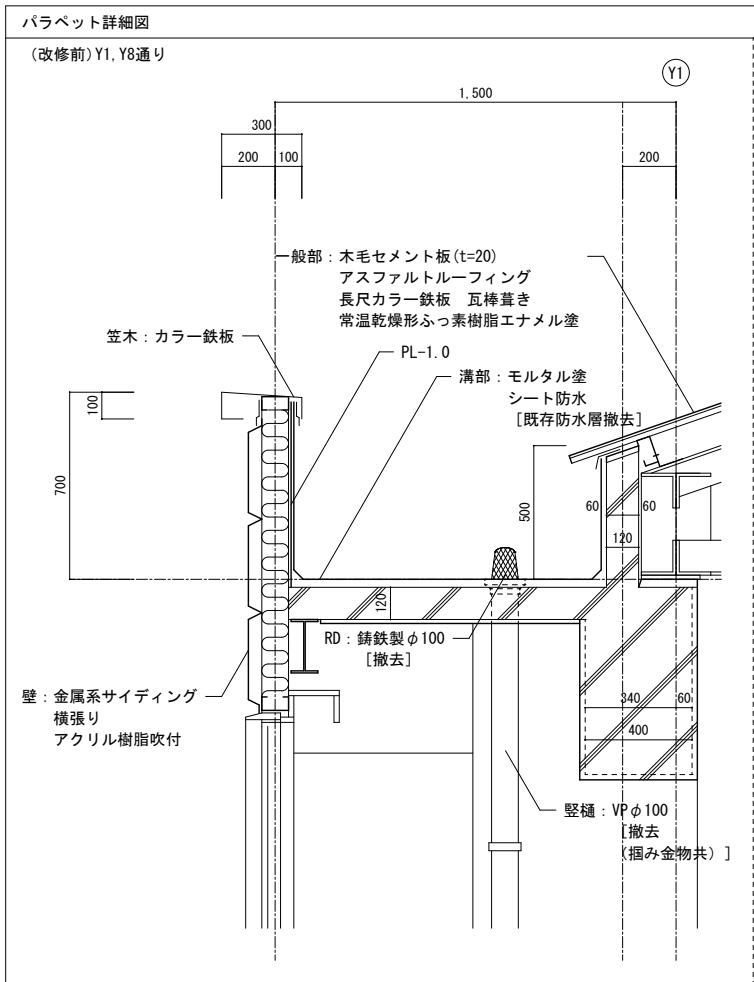
符号・名称	アルミ製両開き戸・上部はめごころし窓 [周囲シーリング打替え]	アルミ製片開き戸 [周囲シーリング打替え]	アルミ製片開き戸 [周囲シーリング打替え]	鋼製両開き戸 [周囲シーリング打替え]	アルミ製片開き窓 [周囲シーリング打替え]	アルミ製引違い窓 [周囲シーリング打替え]	
位置・数量	1階：玄関 1	1階：便所 2	1階：更衣室 2	1階：屋内運動場 3	1階：器具庫、倉庫、更衣室 9	1階：屋内運動場 13	
姿図							
扉仕上・扉厚	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	種：アルミパネル t=3	鋼製 09塗	-	アルミパネル t=3 フラッシュ	
枠仕上・枠見込	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	-	86	アルミ製 70	
番指・水切	-	-	-	-	-	-	
硝子	FL3	FL3	FL3	-	FL3	FL3	
金物	フロアーヒンジ フランス差し シリンダー錠 押棒	シリンダー錠(両面) 丁番 覆玉 ドアチェック	シリンダー錠 丁番 覆玉 ドアチェック	シリンダー錠 フランス差し 丁番 覆玉 戸当り ドアチェック	丁番 レバーハンドル ストッパー	クレセント 付属金物一式	
備考	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	

符号・名称	アルミ製引違い窓・はめごころし窓・上部はめごころし窓 [周囲シーリング打替え]	アルミ製引違い窓・はめごころし窓・上部はめごころし窓 [周囲シーリング打替え]
位置・数量	2階：ギャラリー 2	2階：ギャラリー 2
姿図		
扉仕上・扉厚	-	-
枠仕上・枠見込	アルミ製 70	アルミ製 70
番指・水切	-	-
硝子	FL3	FL3
金物	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式
備考	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)

符号・名称	アルミ製引違い窓 [周囲シーリング打替え]	アルミ製引違い窓 [周囲シーリング打替え]	特記事項
位置・数量	2階：ギャラリー 1	東面 1	
姿図			<p>・姿図は外観図。</p> <p>・建具製作にあたってはよく現場を調査し、施工図作成のうえ監督員の承認を得た後製作すること。</p> <p>・引き違い建具は全て網戸レールを具備してあるものとし、落下防止又はハズレ防止付とする。</p> <p>・シリンダー錠は、全て既存マスターキーに合わせる。</p> <p>・ハキ出し部分の既存番指りは撤去し、ステンレス(SUS304)厚 2.0mm製を取付けるものとし、新り部分は現状仕上に準じ補修すること。(出入口ドア下枠もこれに準ずる。)</p> <p>・床新りは最小限にし、必要に応じてカッターを使用すること。</p> <p>・寸法は既存建具内寸法を示す</p> <p>・ガラス留め材は、網入り・F1Xはシーリング(SR-1シリコーン系)を使用すること。</p> <p>・アルミ水切は建具同材とし、小口はエンドキャップを使用すること。</p> <p>・アルミ製建具には二次電解着色+高耐酸性アクリルクリアー電解塗装(SGコート)を使用すること。</p> <p>・アルミ製建具のクレセントは、中型以上とする。</p> <p>・クレセントの取付位置は、特記なき場合は、FL+800mm以上1,500mm以下とする。</p> <p>・クレセント、レバーハンドルは抗菌仕様とする。</p> <p>・PL-アルミプレート3mmを使用、FIX-ガラス</p> <p>・----- ステンレス製番指 (t=2.0) を示す。</p> <p>・----- 特記なき場合、AD、AMの場合は7K:縦線(0=25~350)、LSD、SDの場合はF+1:縦線(0=25~350)焼付け、STDの場合はF+1:縦線(見付25)、WDの場合は木製縦線(見付25)を示す。</p>
扉仕上・扉厚	-	-	
枠仕上・枠見込	アルミ製 70	アルミ製 70	
番指・水切	-	-	
硝子	FL3	-	
金物	クレセント 付属金物一式	-	
備考	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	周囲シーリング：変成シリコーン系(MS-2.10×10)	

<p>□ 建具形式</p> <p>D ドア</p> <p>W 窓</p> <p>G ガラリ</p> <p>S シャッター</p> <p>F ふすま</p> <p>SJ 障子</p>	<p>□ 材種</p> <p>S スチール</p> <p>ST ステンレス</p> <p>A アルミ</p> <p>W 木</p> <p>P 合成樹脂</p>	<p>□ ガラス</p> <p>FL フロート板ガラス</p> <p>P 層板ガラス</p> <p>F 型板ガラス</p> <p>NP 網入層板ガラス</p> <p>NF 網入型板ガラス</p> <p>HAF 熱線吸収フロート板ガラス</p> <p>A 空気層</p> <p>Ar アルゴン</p>	<p>□ 閉閉金物</p> <p>H 丁番</p> <p>PH ビボットヒンジ</p> <p>FH フロアーヒンジ</p> <p>LH ラバトリーヒンジ</p> <p>GH グレピティヒンジ</p> <p>DCS ドアクローザー(ストップ付)</p> <p>DC ドアクローザー(ストップなし)</p> <p>Lh レバーハンドル</p> <p>Kh カムラッチハンドル</p> <p>Gh グレモンハンドル</p> <p>Oh オペレーターハンドル</p>	<p>□ 鍵金物他</p> <p>C シリンダー錠</p> <p>S サムターン錠</p> <p>H 表示錠</p> <p>L 錠錠</p> <p>CU ロック付クレセント</p> <p>NCU ロックなしクレセント</p> <p>KCU キー付クレセント</p>
<p>□ 扉の形状と符号</p> <p>ST-1</p> <p>ST-2</p> <p>ST-3</p> <p>ST-4</p> <p>ST-5</p> <p>ST-6</p>				

符号・名称	AG 2	アルミ引違い窓	[周囲シーリング打替え]	TB 2	トイレブース	[撤去]	TB 2	トイレブース	[撤去]	TB 1	トイレブース	[新設]	TB 2	トイレブース	[新設]	TB 3	トイレブース	[新設]
位置・数量	1階：器具庫、倉庫	5		1階：男子便所	1		1階：女子便所	1		1階：男子便所	1		1階：男子便所	1		1階：女子便所	1	
姿図																		
▽FL																		
扉仕上・扉厚	-	-		メラミン化粧合板フラッシュ	40		メラミン化粧合板フラッシュ	40		高圧メラミン化粧板	40		高圧メラミン化粧板	40		高圧メラミン化粧板	40	
枠仕上・枠見込	アルミ製	70		-			-			-			-			-		
番指・水切	-	-		-			-			-			-			-		
硝子	-	-		-			-			-			-			-		
金物	-	-		標準金物一式、笠木：ステンレス			標準金物一式、笠木：ステンレス			標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304			標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304			標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304		
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2.10×10)									三和シャッター工業TA40同等			三和シャッター工業TA40同等			三和シャッター工業TA40同等		
符号・名称	TB 4	トイレブース	[新設]															
位置・数量	1階：女子便所	1																
姿図																		
▽FL																		
扉仕上・扉厚	高圧メラミン化粧板	40																
枠仕上・枠見込	-	-																
番指・水切	-	-																
硝子	-	-																
金物	標準金物一式、笠木・エッジ：アルミ押出形材、巾木：ステンレスSUS304																	
備考	三和シャッター工業TA40同等																	
符号・名称																		
位置・数量																		
姿図																		
▽FL																		
扉仕上・扉厚																		
枠仕上・枠見込																		
番指・水切																		
硝子																		
金物																		
備考																		





南面立面图 S=1:100

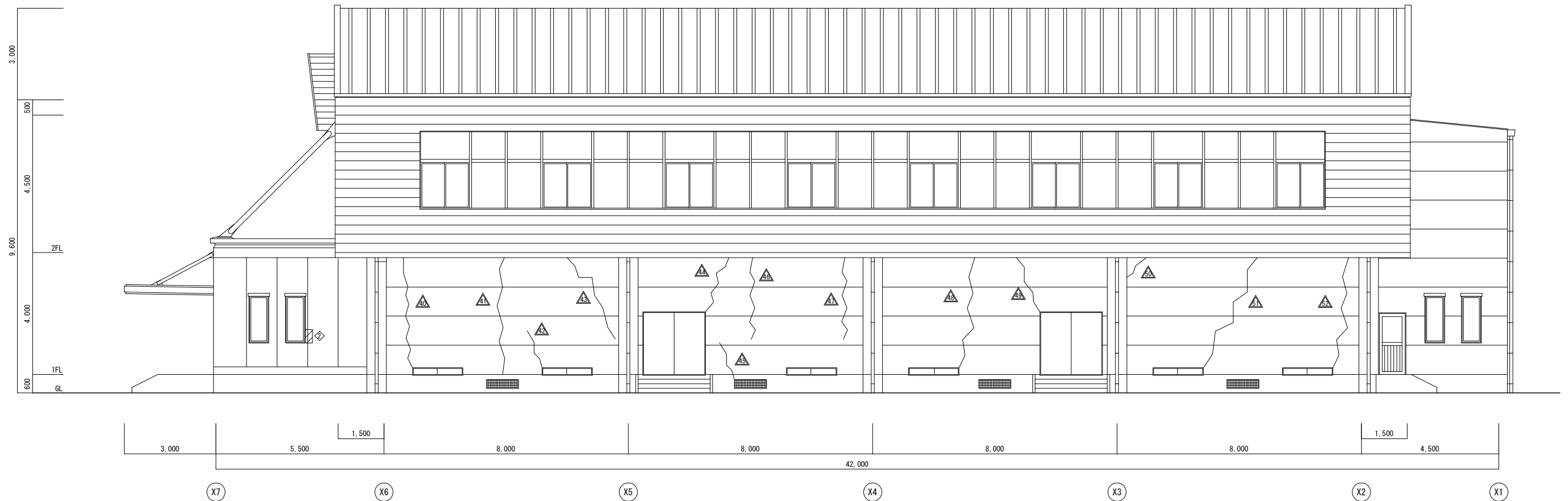


東面立面图 S=1:100

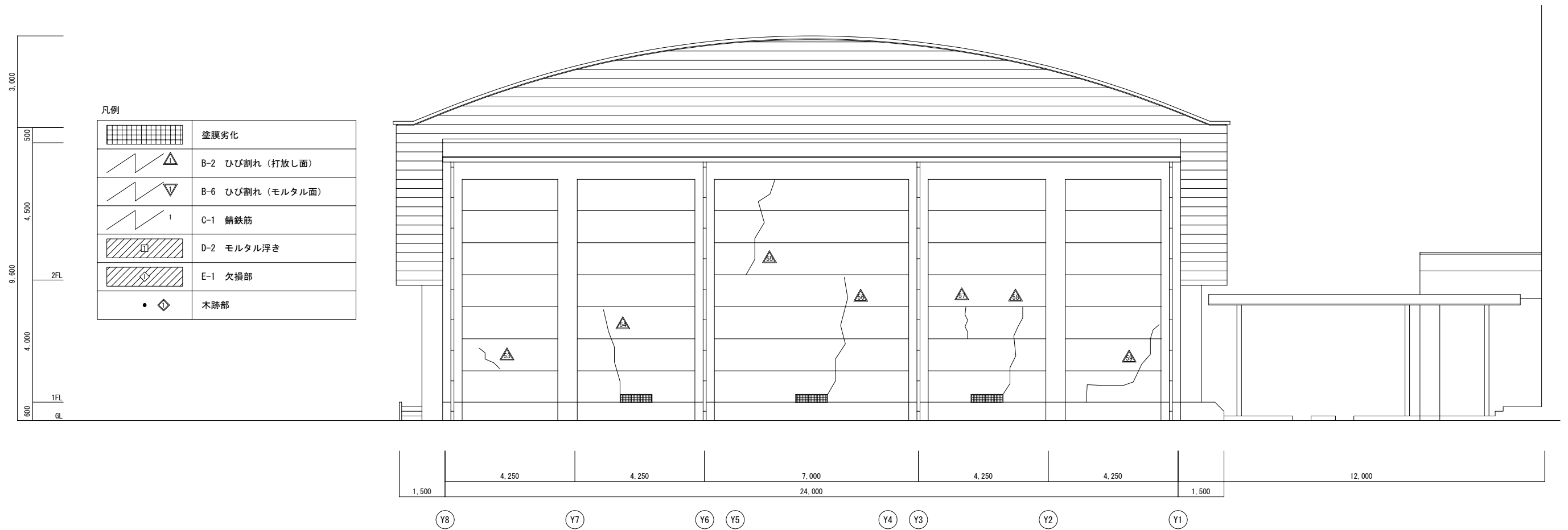
凡例

	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部





北面立面図 S=1:100



凡例

	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部

西面立面図 S=1:100



名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理																									
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 1.0mm以上		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 0.2~1.0mm																									
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量: 569m²</p>		<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量: 50.2m²</p>		<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm 44m² () ひび割れ幅 0.5~1.0mm 54m² () ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②④の工程はA-1工法に含む。 参考数量:</p>																									
名称	B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理																									
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-5 モルタル面全体部樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm		C-1 打放し面錆鉄筋部処理																									
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm () ひび割れ幅 0.5~1.0mm () ()内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②④の工程はA-2工法に含む。 参考数量:</p>		<p>①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:</p>																									
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理		D 浮き部処理																									
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]																									
改修前																																		
改修後																																		
工程	<p>①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量:</p>		<p>①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:</p>		<p>①穿孔 ②孔内エア清掃 ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入</p> <table border="1"> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>一般部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr> <tr><td>指定部</td><td>25</td><td>ヶ所</td></tr> </table>		一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	一般部	16	ヶ所	指定部	25	ヶ所	<p>⑤穿孔跡埋戻し [バテ状エポキシ樹脂] 一般部 16 ヶ所 指定部 25 ヶ所</p> <p>⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: ②指定部分: ③幅幅部:</p>		<p>①一般部分標準グリッド (250×250) ③幅幅部 (指定部以外の部分) (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>②指定部分標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>アンカーピン固定部</p>	
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																
一般部	16	ヶ所																																
指定部	25	ヶ所																																

名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.11] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.10]																																									
改修前	改修後																																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所	<p>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所																																								
名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.12] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.11]																																									
改修前	改修後																																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所	<p>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																								
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																								
	指定部 20ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 12ヶ所																																								
名称 D 浮き部処理		記号・仕様 D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.12]																																									
改修前	改修後																																										
工程		<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 9ヶ所	③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			<p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>								
①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																								
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所	⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	一般部 9ヶ所																																								
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	一般部 9ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																								
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所																																								
	指定部 16ヶ所																																										

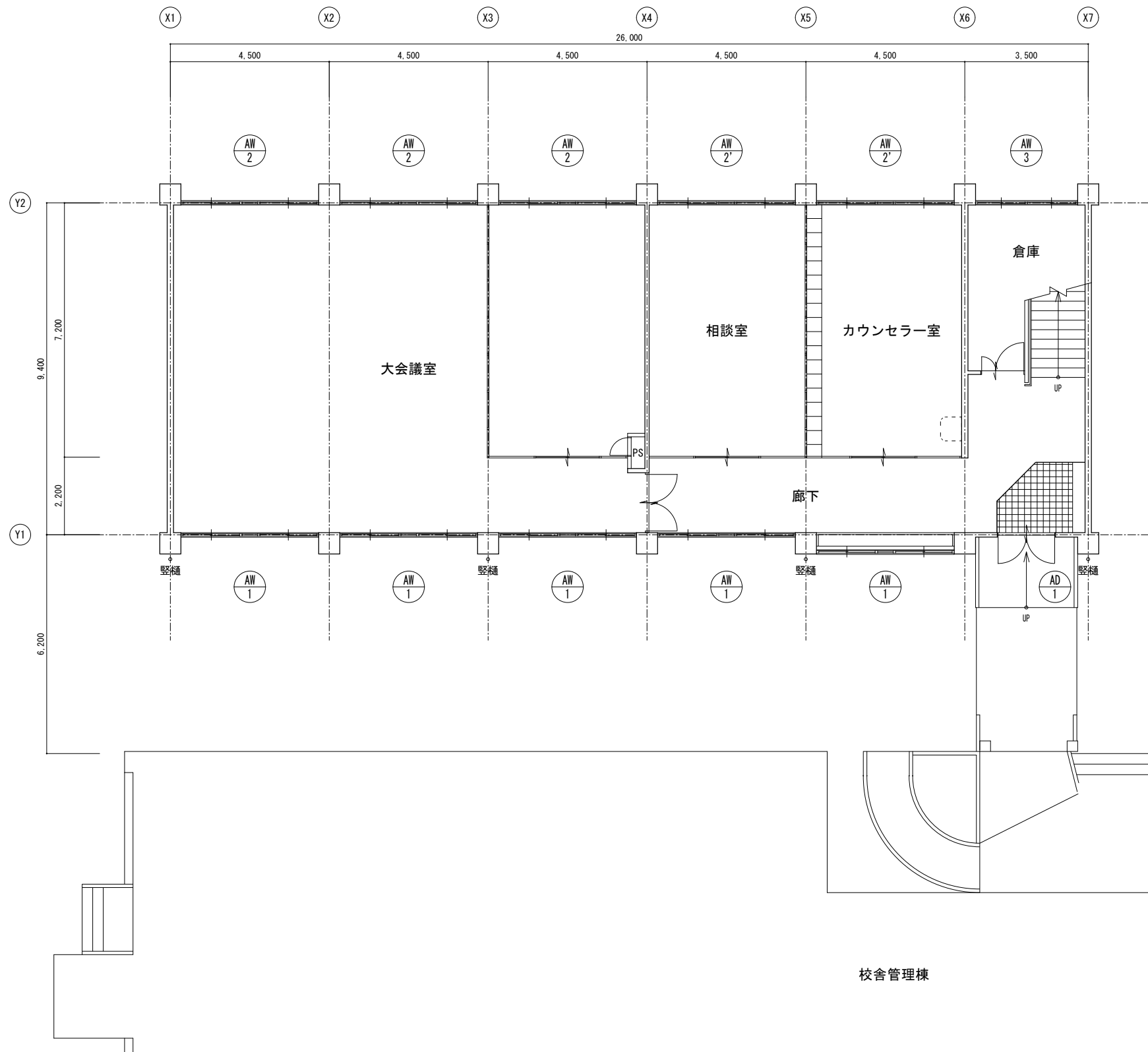
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.13]	
改修前	改修後		
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑦孔内モアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：
		①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分) ②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③峽幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口	

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.15] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	
改修前	改修後		
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントパテ] 一般部 9ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：
		D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4.5.15] ①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは黄色樹脂パテ]	

名称		E 欠損部処理		F 外壁複合改修工法	
記号・仕様		E-1 打放し面充填工法 [標仕4.3.7]		E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4.3.3]	
改修前	改修後				
工程		①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ③欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：2m ²	①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) ※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：	①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²) ④欠損はつり部埋戻し [※ポリマーセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による) ※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：	①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2) *印寸法は80程度とする 参考数量：ネット張り m ² 水切 m

外部仕上表

部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	部 位	部 分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備 考	
屋上	平場	コンクリート直押え	M/S工法	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法) 高反射タイプ									
		アスファルト露出防水												
	バラベツト 立上り	コンクリート直押え	既存防水層撤去	下地処理のうえ新設	合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F2工法) 高反射タイプ									
		アスファルト露出防水												
	笠木	防水モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
	RD	鋳鉄製φ100 横引き	撤去	新設	改修用ドレンφ100用 横引き									
樋	竪樋	VPφ100	撤去	新設(摺り金物共)	VPφ100カラー SUS製摺り金物共									
外壁	根回り	モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗									
	壁	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
		外装薄塗材E吹付												
	柱型	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
		外装薄塗材E吹付												
梁型見付	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付										
梁型天端	防水モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)										
庇	天端	防水モルタル塗	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	塗膜防水(X-2工法)									
	見付	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
		外装薄塗材E吹付												
庇裏	コンクリート打放し補修	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	外装薄塗材E吹付										
渡り廊下	屋根	ルーフデッキ(t=0.6) H=87		下地処理のうえ新設	DP塗									
	笠木	カラー鉄板(t=0.6)	塗装改修	下地処理のうえ新設	DP塗									
	壁	ALC(t=100)	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E吹付									
外装薄塗材E吹付														
							略号凡例		特記事項					
							塗 装		そ の 他					
							SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	SUS	ステンレス				
							EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	≡	シーリング				
							EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	RD	ルーフトレン				
							DP	耐侯性塗料塗り	FD	フロアドレン				
							AE	アクリル樹脂エナメル塗り	G.P	配管用炭素鋼鋼管				

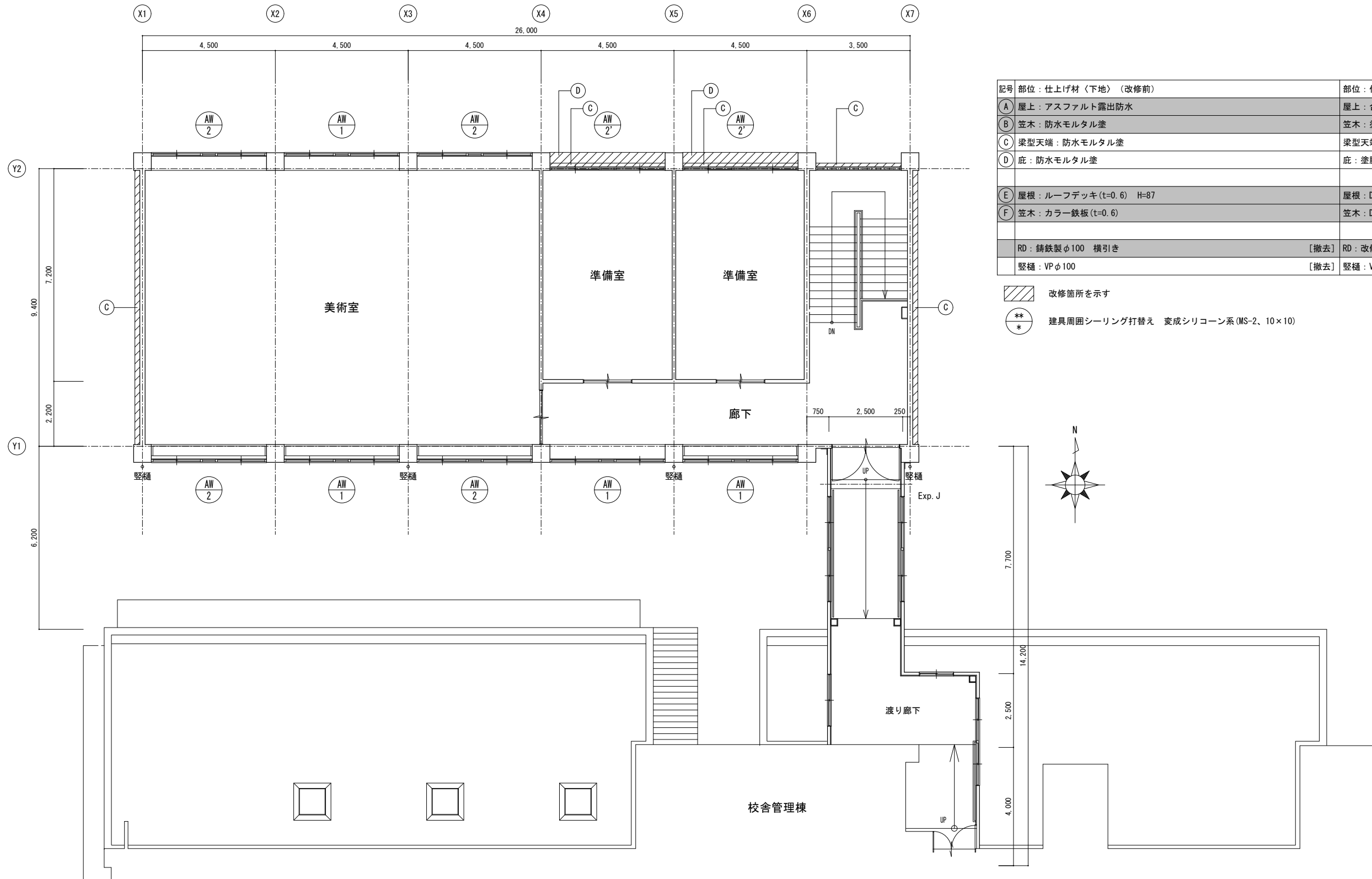


記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	屋上：アスファルト露出防水	屋上：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法) [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗	笠木：塗膜防水 (X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	梁型天端：防水モルタル塗	梁型天端：塗膜防水 (X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水 (X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	屋根：ルーフデッキ (t=0.6) H=87	屋根：DP塗 [下地処理のうえ新設]
F	笠木：カラー鉄板 (t=0.6)	笠木：DP塗 [下地処理のうえ新設]
RD	鋳鉄製φ100 横引き	RD：改修用ドレンφ100用 横引き [新設]
壁樋	VPφ100	壁樋：VPφ100カラー SUS製摺り金物共 [新設]

- 改修箇所を示す
- 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系 (MS-2、10×10)

校舎管理棟

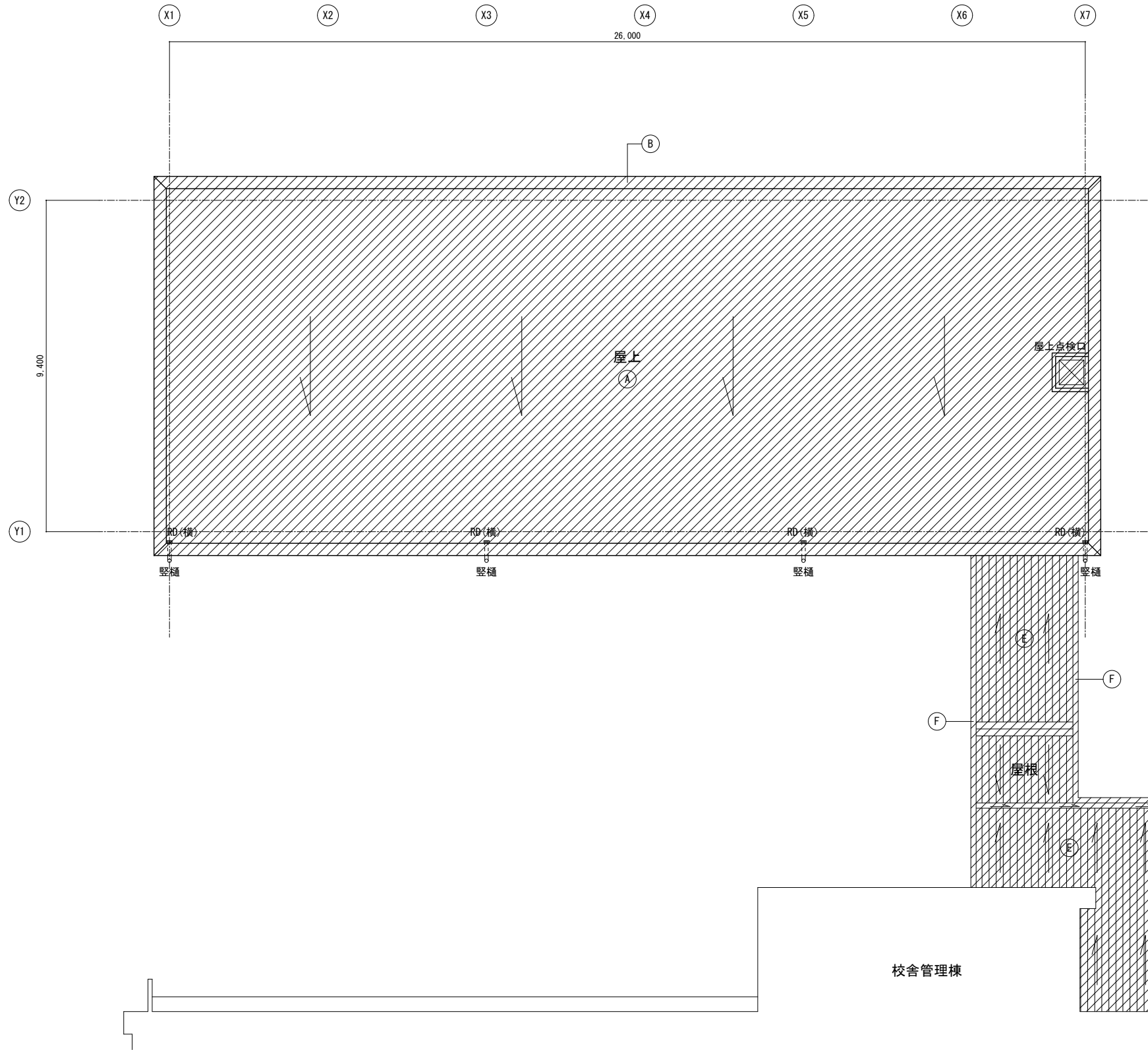
1階平面図（改修前・後） S=1:100



記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	屋上：アスファルト露出防水	屋上：合成高分子系ルーフィングシート防水(S-M2工法) [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗	笠木：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	梁型天端：防水モルタル塗	梁型天端：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	屋根：ルーフェッキ(t=0.6) H=87	屋根：DP塗 [下地処理のうえ新設]
F	笠木：カラー鉄板(t=0.6)	笠木：DP塗 [下地処理のうえ新設]
RD	鋳鉄製φ100 横引き	[撤去] RD：改修用ドレンφ100用 横引き [新設]
壁樋	VPφ100	[撤去] 壁樋：VPφ100カラー SUS製摺り金物共 [新設]

- 改修箇所を示す
- 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)

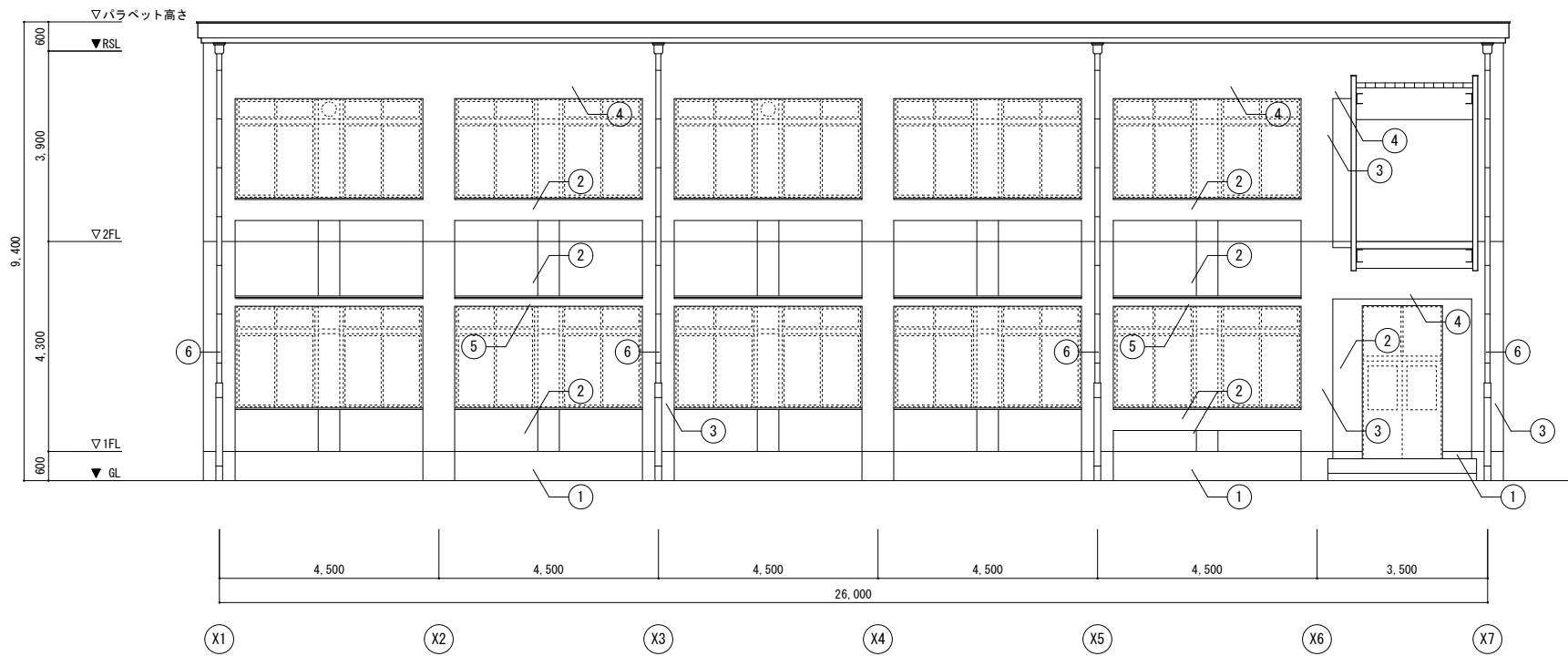
2階平面図（改修前・後） S=1:100



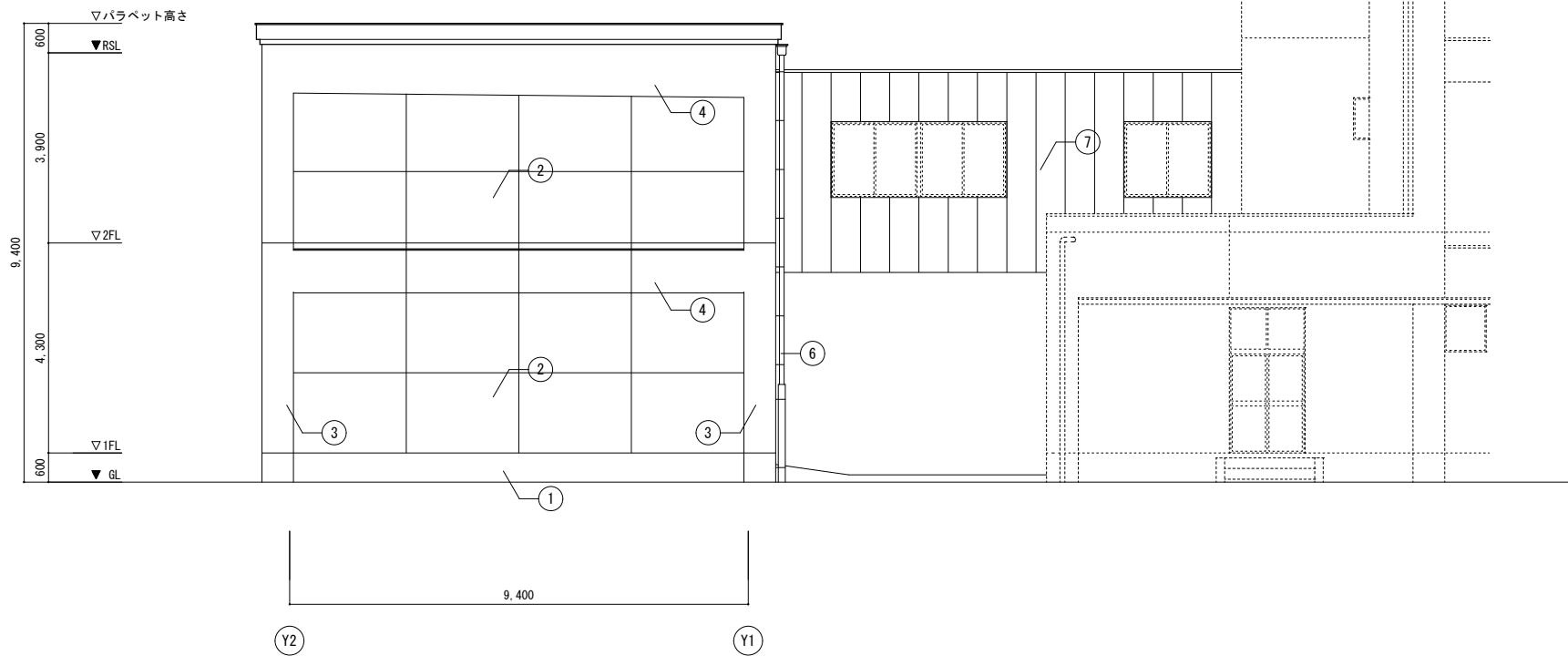
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
A	屋上：アスファルト露出防水	屋上：合成高分子ルーフィングシート防水(S-M2工法)高反射タイプ [下地処理のうえ新設]
B	笠木：防水モルタル塗	笠木：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	梁型天端：防水モルタル塗	梁型天端：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	庇：防水モルタル塗	庇：塗膜防水(X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
E	屋根：ルーフィング(t=0.6) H=87	屋根：DP塗 [下地処理のうえ新設]
F	笠木：カラー鉄板(t=0.6)	笠木：DP塗 [下地処理のうえ新設]
	RD：鋳鉄製φ100 横引き	[撤去] RD：改修用ドレンφ100用 横引き [新設]
	縦樋：VPφ100	[撤去] 縦樋：VPφ100カラー SUS製掴み金物共 [新設]

- 改修箇所を示す
- 建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)

R階平面図（改修前・後） S=1:100

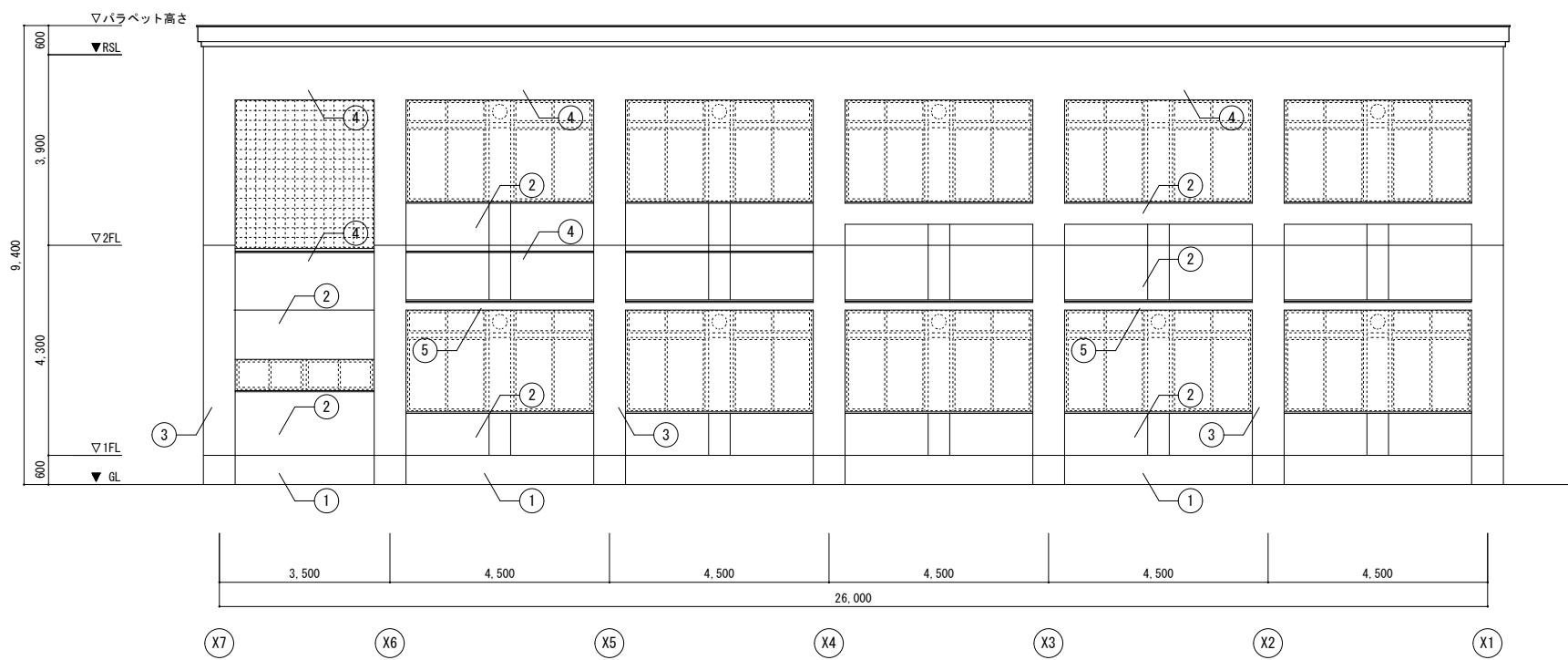


南面立面図 (改修前・後) S=1:100

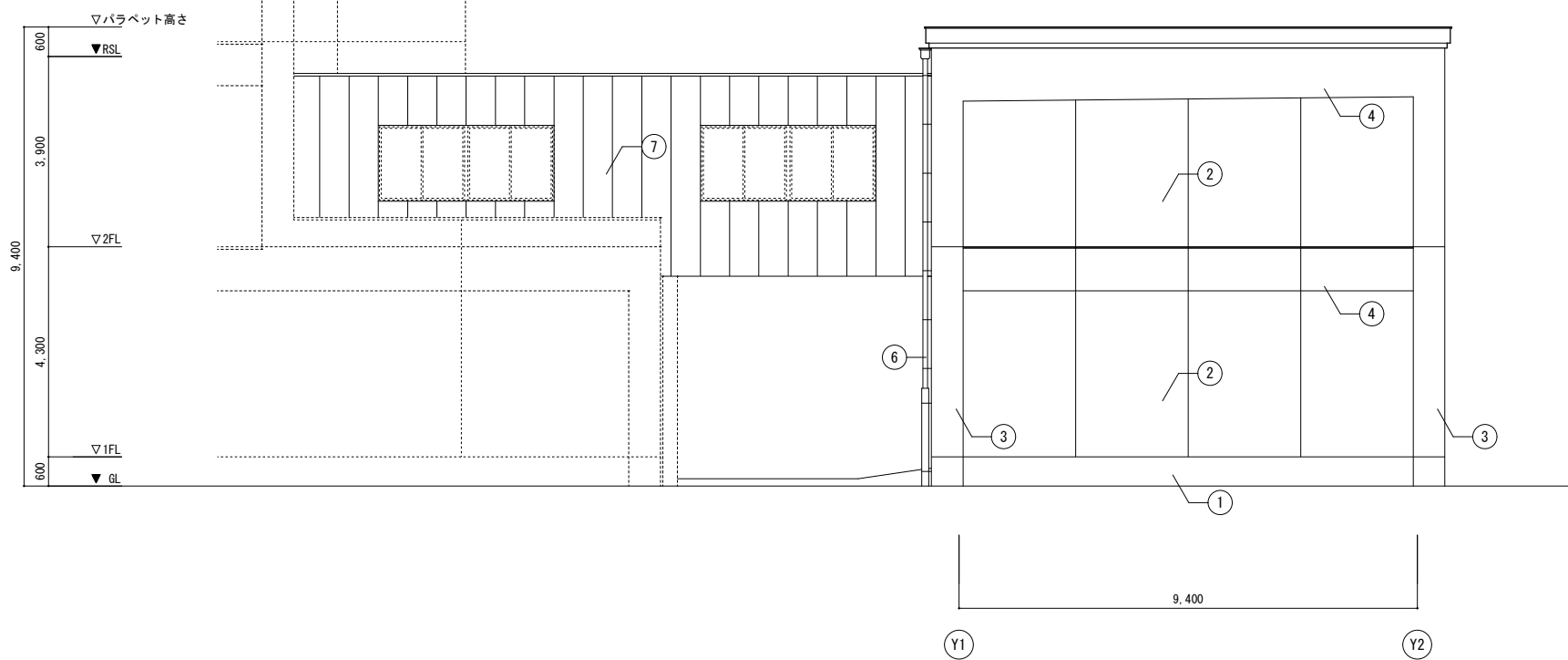


西面立面図 (改修前・後) S=1:100

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
①	根回り : モルタル塗	根回り : 水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗 (M) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁 : コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	壁 : 防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	柱型 : コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	柱型 : 防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	梁型 : コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	梁型 : 防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	庇 : コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	庇 : 防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	縦樋 : VP φ100 [撤去 (摺り金物共)]	縦樋 : VP φ100カラー [新設 (摺り金物共)]
⑦	壁 : ALC (t=100) 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	壁 : 防水形複層塗材E吹付 (ALC) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
	建具周囲 : 変成シリコン系 (MS-2、10×10) [撤去]	建具周囲 : 変成シリコン系 (MS-2、10×10) [新設]



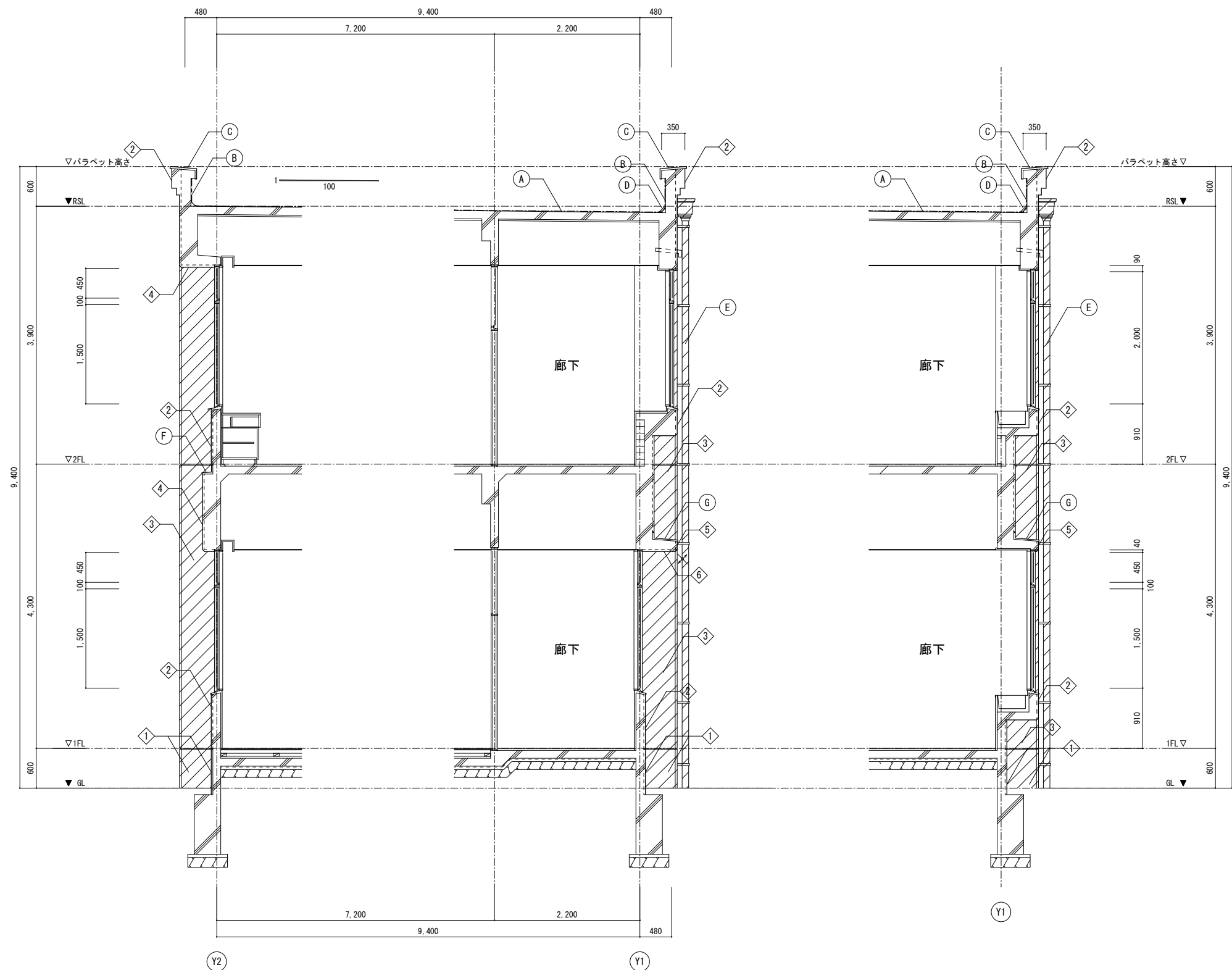
北面立面図（改修前・後） S=1:100



東面立面図（改修前・後） S=1:100

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
①	根回り：モルタル塗	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性防水防止塗料塗（M） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁：コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	壁：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	柱型：コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	柱型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	梁型：コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	梁型：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑤	庇：コンクリート打放し補修 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	庇：防水形複層塗材E吹付（C） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
⑥	縦樋：VPφ100 [撤去（掴み金物共）]	縦樋：VPφ100カラー [新設（掴み金物共）]
⑦	壁：ALC（t=100） 外装薄塗材E吹付 [吹付材撤去]	壁：防水形複層塗材E吹付（ALC） [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [撤去]	建具周囲：変成シリコン系（MS-2、10×10） [新設]

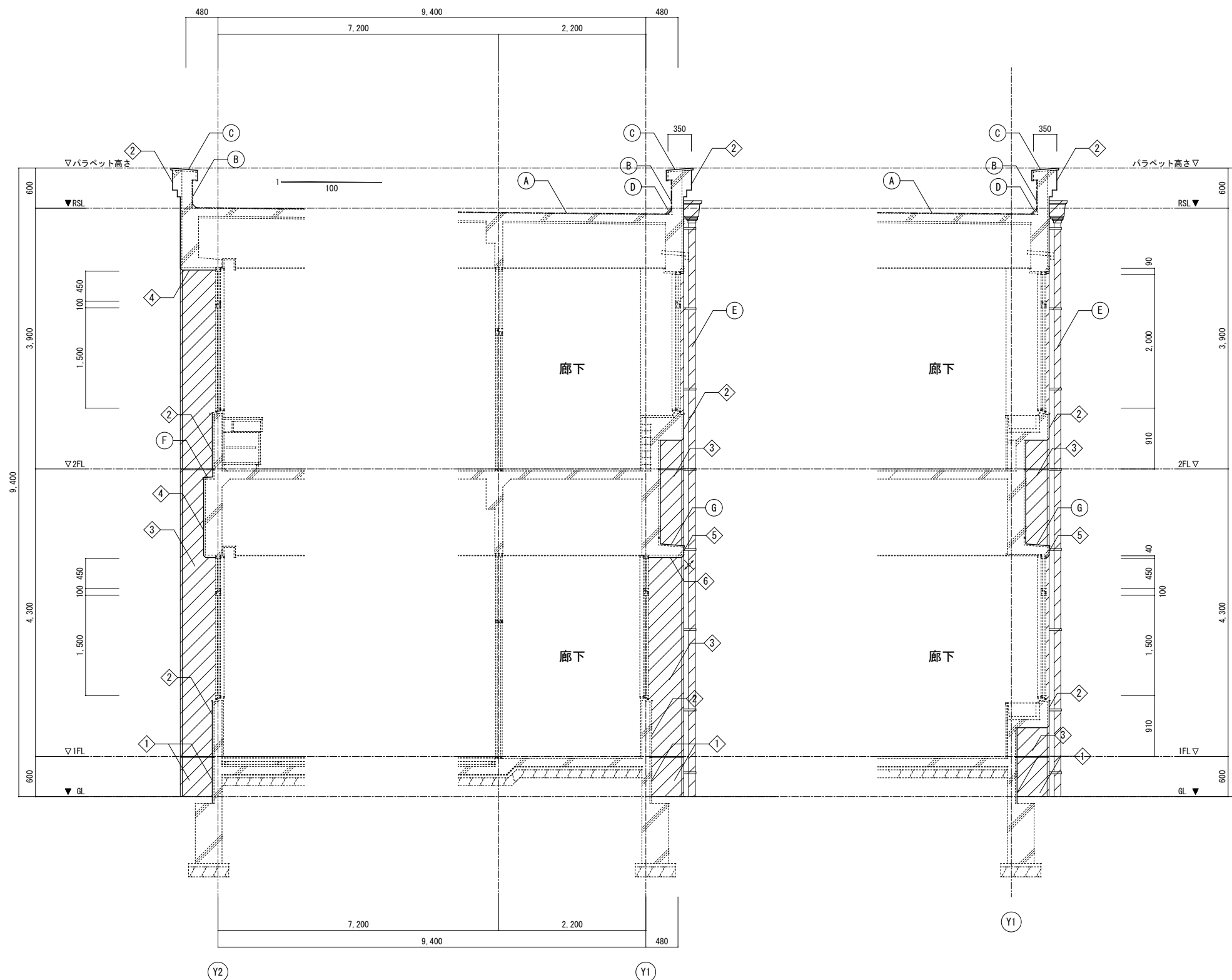




矩計図 (改修前) S=1:50

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)
(X)	防水改修工事
(A)	平場 : アスファルト露出防水 (C)
(B)	立上り : アスファルト露出防水 (C) [既存防水層撤去]
(C)	笠木 : 防水モルタル塗
(D)	RD : 鑄鉄製φ100 横引き [撤去]
(E)	壁礎 : VPφ100 [撤去 (摺り金物共)]
(F)	梁型天端 : 防水モルタル塗
(G)	底天端 : 防水モルタル塗
	建具周囲 : 変成シリコン系 (MS-2、10×10) [撤去]
(X)	外壁改修工事
(1)	根回り : モルタル塗
(2)	壁 : 外装薄塗材E吹付 (C)
(3)	柱型 : 外装薄塗材E吹付 (C)
(4)	梁型 : 外装薄塗材E吹付 (C)
(5)	底 : 外装薄塗材E吹付 (C)
(6)	底裏 : 外装薄塗材E吹付 (C)

凡例
 X …仕上げ見切りを示す



矩計図 (改修後) S=1:50

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
(X)	防水改修工事
(A)	平場：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-M2工法) (C) 高反射タイプ [下地処理のうえ新設]
(B)	立上り：合成高分子系ルーフィングシート防水 (S-F2工法) (C) 高反射タイプ [下地処理のうえ新設]
(C)	笠木：塗膜防水 (X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(D)	RD：改修用ドレンφ100用 横引き [新設]
(E)	壁樋：VPφ100カラー [新設 (摺り金物共)]
(F)	梁型天端：塗膜防水 (X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(G)	庇天端：塗膜防水 (X-2工法) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
	建具周囲：変成シリコン系 (MS-2、10×10) [新設]
(X)	外壁改修工事
(1)	根回り：水性シリコン フッ素系浸透性吸水防止塗料塗 (M) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(2)	壁：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(3)	柱型：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(4)	梁型：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(5)	庇：防水形複層塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
(6)	庇裏：外装薄塗材E吹付 (C) [劣化部処理、下地調整のうえ新設]

凡例
 X …仕上げ見切りを示す

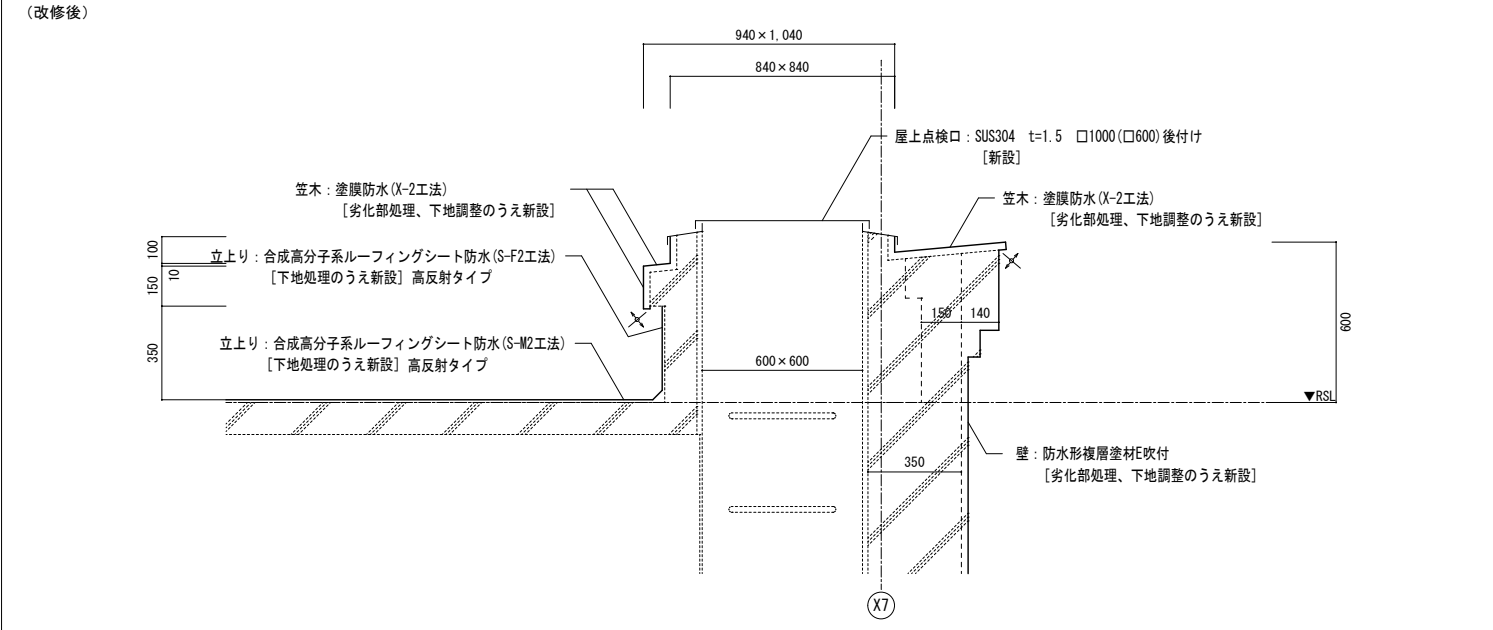
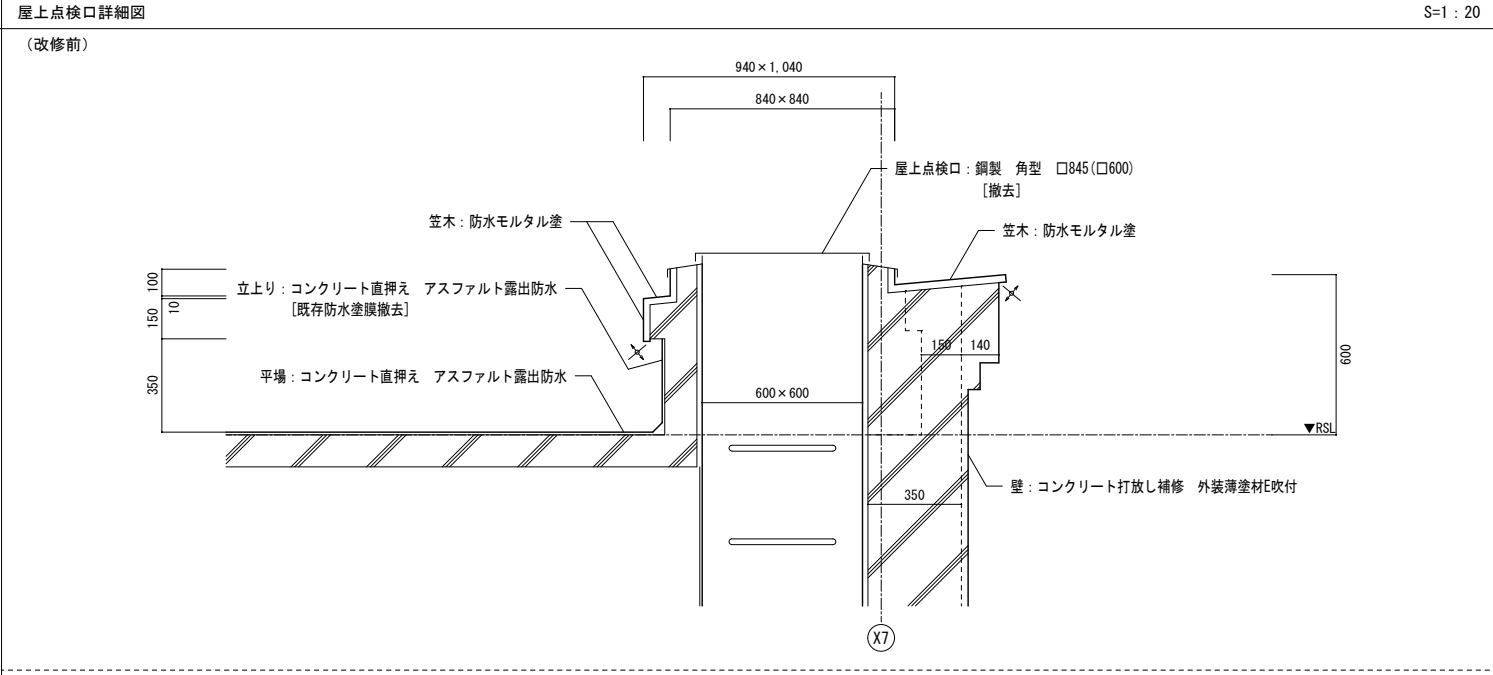
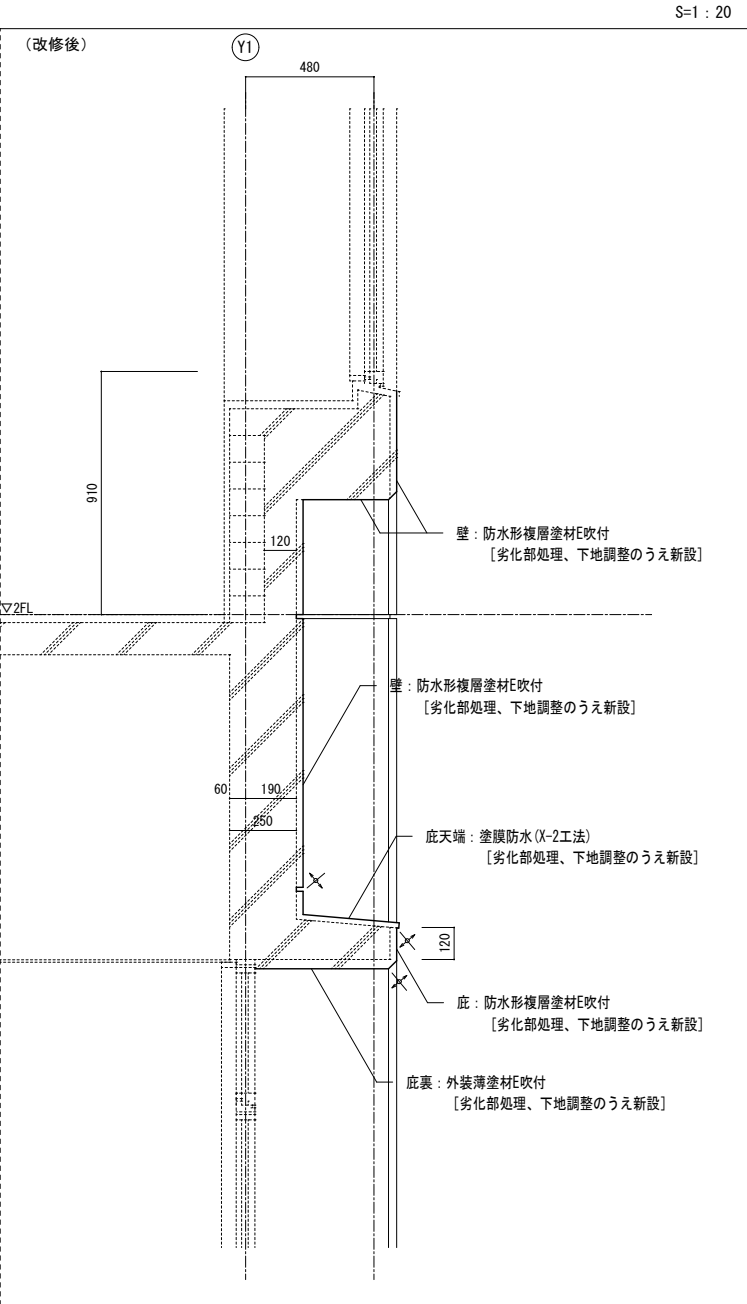
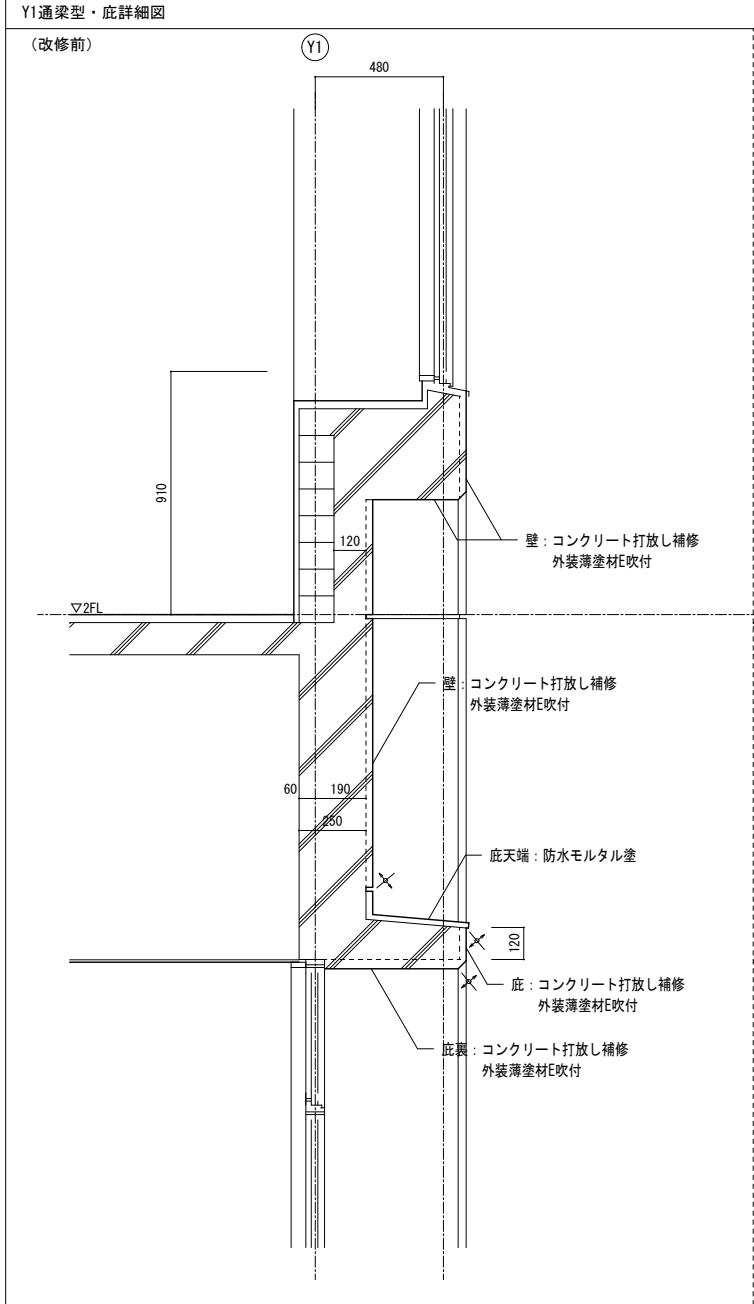
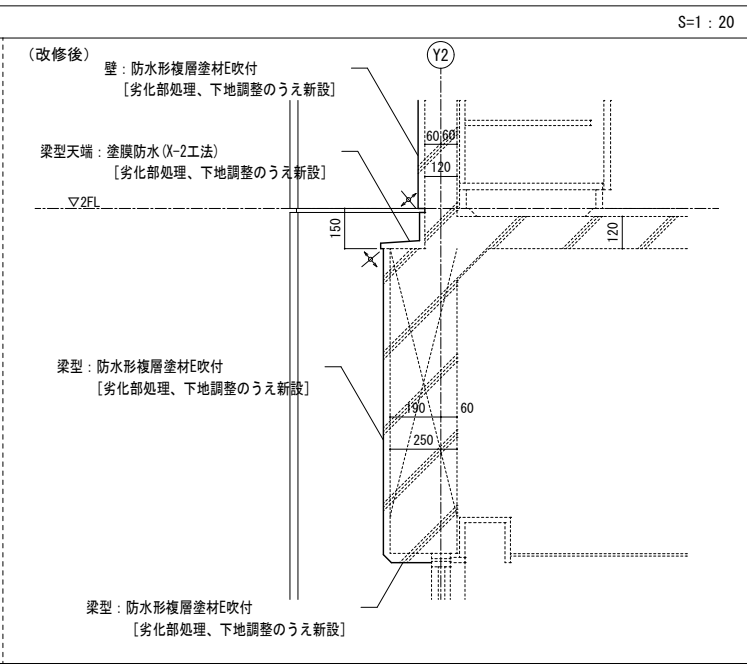
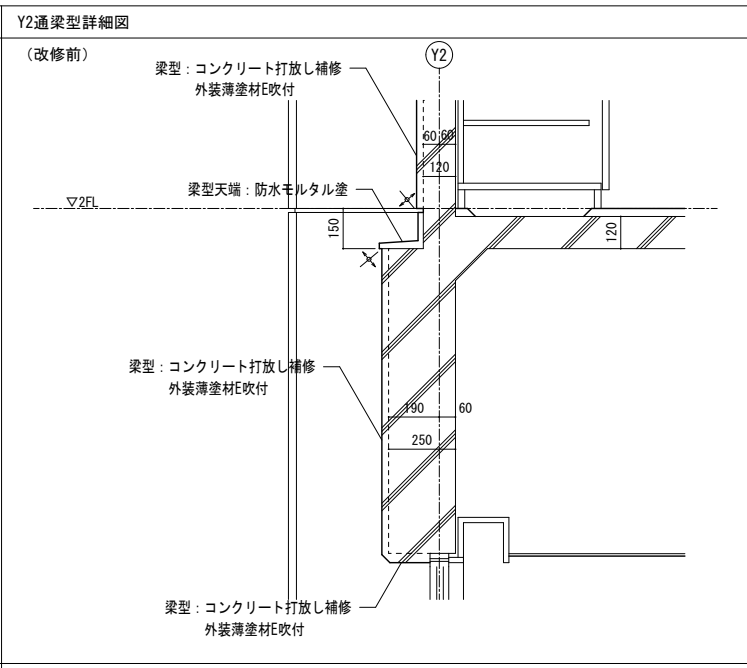
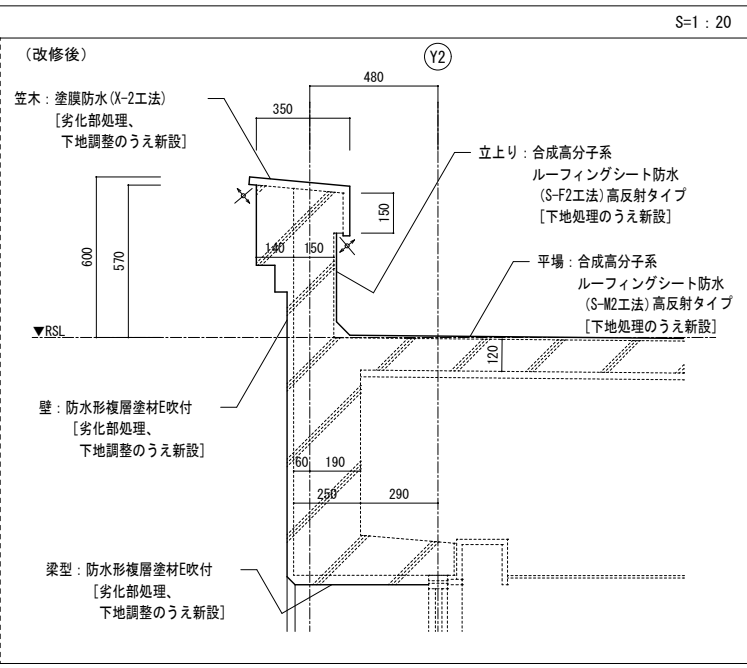
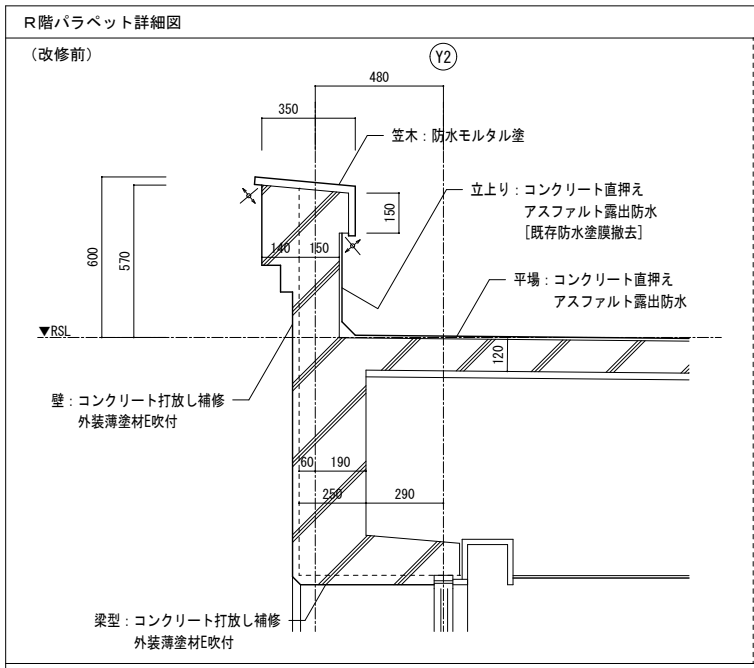
符号・名称	AD 1	アルミ製開閉扉・上部はめごころ窓 【周囲シーリング打替え】	AW 1	アルミ製引違い窓・はめごころ窓 ・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AW 2	AW 2'	アルミ製引違い窓・はめごころ窓 ・上部引違い窓 【周囲シーリング打替え】	AW 3	アルミ製引違い窓 【周囲シーリング打替え】			
位置・数量	1階：玄関	1	1階：大会議室、廊下 2階：美術室、廊下	9	1階：大会議室、相談室、カウンセラ一室 2階：美術室、準備室	AW-2: 7 AW-2': 4	1階：倉庫	1				
姿図												
▽FL												
扉仕上・扉厚	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
枠仕上・枠見込	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70	アルミ製	70				
畚摺・水切	-	-	-	-	-	-	-	-				
硝子	FL5 FL3(上部)		1階：F6 F4(上部) 2階：FL5 FL3(上部)		[AW-2]1階：F6 F4(上部) 2階：FL5 FL3(上部) [AW-2']1階：NF6.8 2階：NF6.8		NF6.8					
金物	フロアヒンジ フランス差し シリンダー錠 アルミ製押棒		クレセント 付属金物一式		クレセント 付属金物一式		クレセント 付属金物一式					
備考	周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)		周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)		周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)		周囲シーリング：変成シリコン系(MS-2,10×10)					

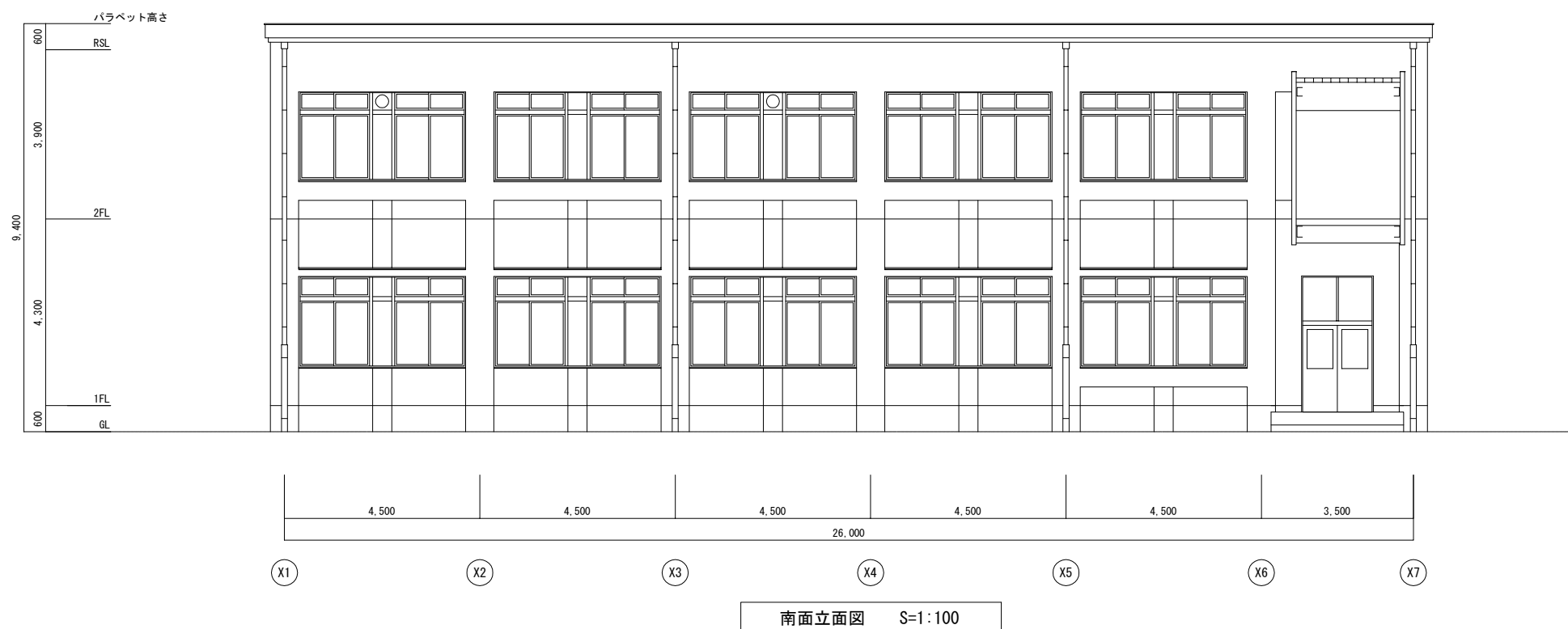
符号・名称												
位置・数量												
姿図												
▽FL												
扉仕上・扉厚												
枠仕上・枠見込												
畚摺・水切												
硝子												
金物												
備考												

符号・名称			特記事項
位置・数量			
姿図			<ul style="list-style-type: none"> ・姿図は外観図。 ・建具製作にあたってはよく現場を調査し、施工図作成のうえ監督員の承諾を得た後製作すること。 ・引き違い建具は全て網戸レールを具備してあるものとし、落下防止又はハズレ防止付とする。 ・シリンダー錠は、全て既存マスターキーに合わせる。 ・ハキ出し部分の既存畚摺りは除去し、ステンレス(SUS304)厚 2.0mm製を取付けるものとし、研り部分は現状仕上に準じ補修すること。(出入口ドア下枠もこれに準ずる。) ・床断りは最小限にし、必要に応じてカッターを使用すること。 ・寸法は既存建具内法寸法を示す ・ガラス留め材は、網入り・FIXはシーリング(SR-Iシリコン系)を使用すること。 ・アルミ水切は建具同材とし、小口はエンドキャップを使用すること。 ・アルミ製建具には二次電解着色・高耐食性アクリルクリアー電解塗装(SGコート)をすること。 ・アルミ製建具のクレセントは、中型以上とする。 ・クレセントの取付位置は、特記なき場合、FL+800mm以上1,500mm以下とする。 ・クレセント、レバーハンドルは抗菌仕様とする。 ・PL-アルミプレート3mmを使用、FIX-ガラス ・----- ステンレス製畚摺り(t=2.0)を示す。 ・----- 特記なき場合、AD、AWの場合は7A:網線(W=25~350)、 LSO、SDの場合はXF-4網線(W=25~350)焼付け、STDの場合はXF-6網線(見付25)、 WDの場合は木製網線(見付25)を示す。
▽FL			
扉仕上・扉厚			
枠仕上・枠見込			
畚摺・水切			
硝子			
金物			
備考			

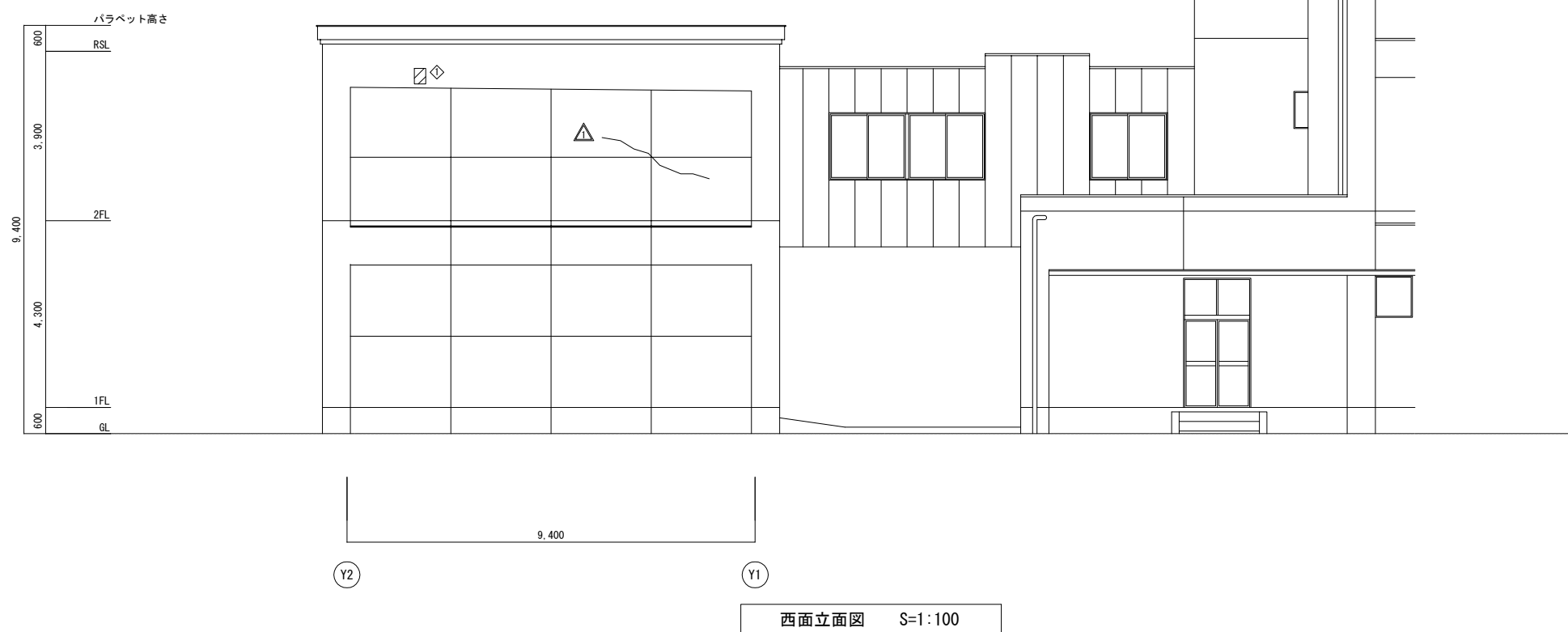
<input type="checkbox"/> 建具形式 D ドア W 窓 G ガラリ S シャッター F ふすま S J 障子	<input type="checkbox"/> 材質 S スチール ST ステンレス A アルミ W 木 P 合成樹脂	<input type="checkbox"/> ガラス FL フロート板ガラス P 磨き板ガラス F 型板ガラス NP 網入磨き板ガラス NF 網入型板ガラス H A F L 熱線吸収フロート板ガラス A 空気層 Ar アルゴン	<input type="checkbox"/> 強化(材料板ガラス) <input type="checkbox"/> 学校用強化(材料板ガラス) <input type="checkbox"/> 熱線反射(材料板ガラス) <input type="checkbox"/> 複層(材料板ガラス) <input type="checkbox"/> 倍強度(材料板ガラス) <input type="checkbox"/> 合わせ(材料板ガラス)	<input type="checkbox"/> 開閉金物 H 丁番 PH ビボットヒンジ FH フロアーヒンジ LH ラバトリーヒンジ GH グレベティヒンジ DCS ドアクローザー(ストップ付) DC ドアクローザー(ストップなし) Lh レバーハンドル Kh カムラッチハンドル Gh グレモンハンドル Oh オペレーターハンドル	<input type="checkbox"/> 建具金物 C シリンダー錠 S サムターン錠 H 表示錠 L 空錠 CU ロック付クレセント NCU ロックなしクレセント KC U キー付クレセント
---	---	---	---	---	---

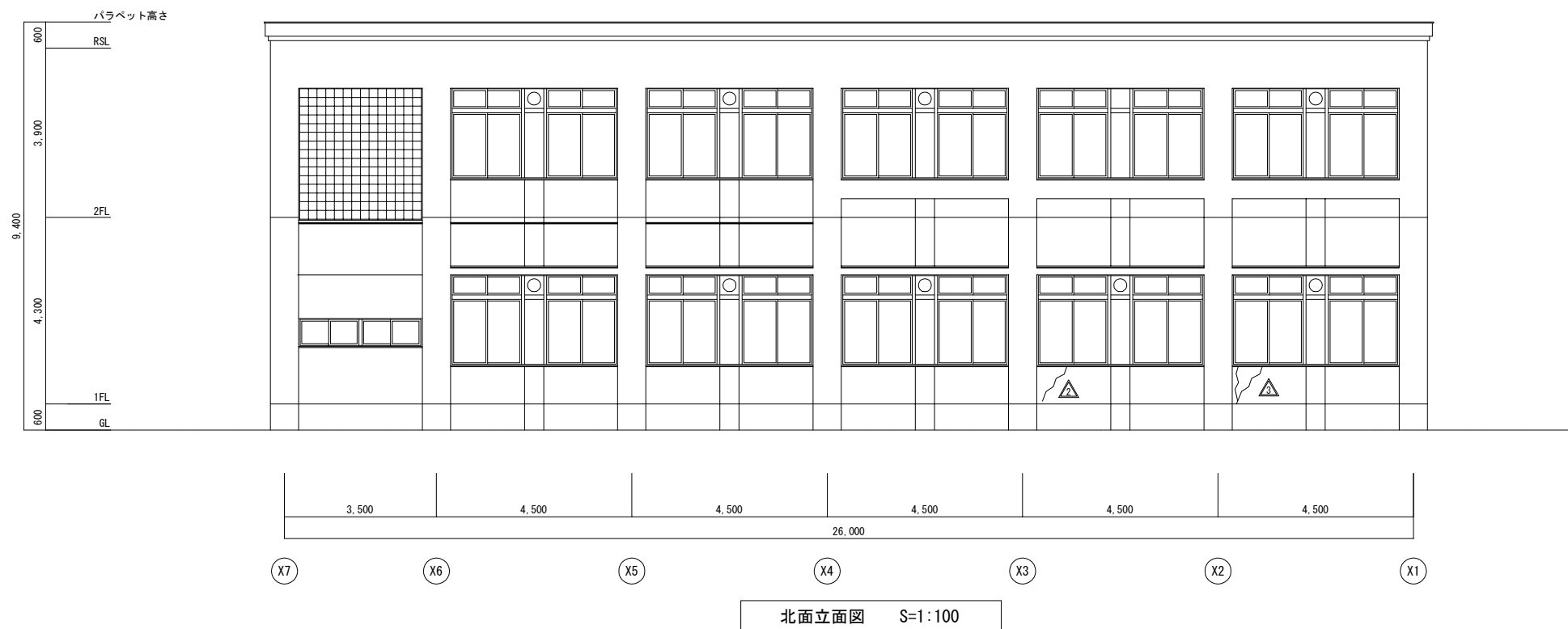
<input type="checkbox"/> 路摺の形状と符号 ST-1	ST-2
ST-3	ST-4
ST-5	ST-6



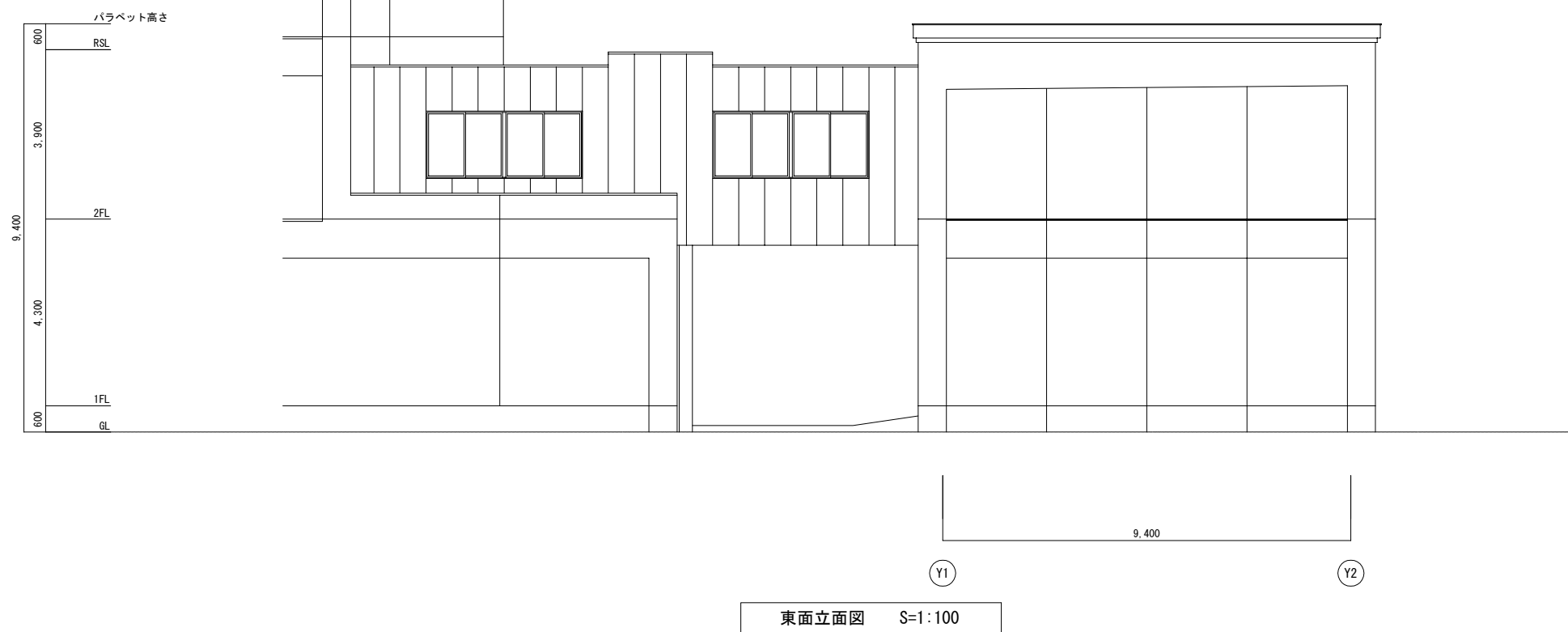


凡例	
	塗膜劣化
	B ひび割れ (打放し面)
	B ひび割れ (モルタル面)
	C 錆鉄筋
	D モルタル浮き
	E 欠損部
	E 木跡部





凡例	
	塗膜劣化
	B ひび割れ (打放し面)
	B ひび割れ (モルタル面)
	C 錆鉄筋
	D モルタル浮き
	E 欠損部
	E 木跡部



参考数量書

工事名称 本郷中学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

工事場所 三原市下北方二丁目

[工事概要]

用途,構造,面積	校舎管理棟 鉄筋コンクリート造4階建 3,934㎡ 屋内運動場 鉄筋コンクリート造2階建 1,067㎡ 校舎棟 鉄筋コンクリート造2階建 493㎡	
工事範囲	建築主体工事	
別途工事	電気設備工事, 機械設備工事	
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和5年3月15日	
一般事項		
《工事予算内訳》	合計金額	
〈内訳〉		
区分	金額	概要
設計金額		
消費税額		
合計金額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

建築工事 中科目別内訳

校舎管理棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

屋内運動場					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
建具改修(便所)	撤去	1	式		
建具改修(便所)	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		

校舎棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

校舎管理棟		防水改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
水洗い清掃		1,274	m ²				
立上り部下地調整		312	m ²				
合成高分子ルフィックシート防水	平場 S-M2 高反射タイプ	1,274	m ²				
合成高分子ルフィックシート防水	立上り 接着工法 高反射タイプ	312	m ²				
アルミ笠木	W=200	10.2	m				
端部防水押え金物	アルミ	54.6	m				
防水押え金物	アルミ	505	m				
改修用ドレン	150 縦引き	25	か所				
改修用ドレン	100 横引き	1	か所				
脱気装置		13	か所				
塗膜防水	X-2 ハラハット天端・側面	123	m ²				
塗膜防水	X-2 設備基礎天端・側面	46.1	m ²				
塗膜防水	X-2 軒天端	132	m ²				
塗膜防水	X-2 梁型天端	67.3	m ²				
塗膜防水	X-2 庇天端	78.1	m ²				

校舎管理棟		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	4,179	m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・珪外塗替改修	103	m ²			
A - 1 打放し面表面劣化 処理		4,179	m ²			
A - 2 珪外面表面劣化 処理		103	m ²			
B - 1 打放し面樹脂注入	0.5～1.0mm 手動 拳動 無し	150	m			
B - 2 打放し面ウレタン 材充填工法	1.0mm以上 拳動 無し	200	m			
C - 1 クラック部打放し面サ ビ鉄筋処理		10	m			
D - 2 珪外面ア カビ・シロカビ部分注 入ボンド樹脂	0.25m ² 以下 一般部(1.6カ所/m ²)	38	m ²			
E - 3 珪外面欠損部処理	樹脂モルタル	1	m ²			
水性シリコン・フッ素系 浸透性吸水防止塗 料	根廻り	103	m ²			
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共 菊水BR工法同 等品	3,658	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共 菊水BR工法同 等品	508	m ²			
E P - G塗り	ボート面 工程B種(見上) 素地B種	82.6	m ²			
計						

屋内運動場		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
下地処理	全面ｸﾞﾗﾝ3種B	902	m ²			
高压洗淨	150 ~ 200kg/cm2	902	m ²			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部ホ ^ﾟ ﾘﾙﾀﾝ系(PU-2)30×10 (ｼﾞｮｲﾝﾄ部)	1,911	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部ホ ^ﾟ ﾘﾙﾀﾝ系(PU-2)30×30 (登棟)	70	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部ホ ^ﾟ ﾘﾙﾀﾝ系(PU-2)10×10 (軒先)	70	m			
既存横葺緩衝絶縁 処理		70.2	m			
既存横葺根巻ｼｰﾘﾝｸﾞ 処理	ホ ^ﾟ ﾙﾄ部ホ ^ﾟ ﾘﾙﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ PU-2	250	か所			
超速硬化ｸﾞﾗﾝ塗膜 防水	密着工法 全面t=2.0	902	m ²			
水洗い清掃		86.4	m ²			
立上り部下地調整		105	m ²			
合成高分子ﾙｰﾌﾞﾝｸ ｼｰﾄ防水	ｽﾃｰｼﾞ上部屋根 接着工法 高反射 ﾀｲﾌﾟ	85.4	m ²			
合成高分子ﾙｰﾌﾞﾝｸ ｼｰﾄ防水	2階屋上 平場 S-M2 高反射ﾀｲ ﾌﾟ	86.4	m ²			
合成高分子ﾙｰﾌﾞﾝｸ ｼｰﾄ防水	2階屋上 立上り 接着工法 高反 射ﾀｲﾌﾟ	19.9	m ²			
端部防水押え金物	アルミ	30.7	m			
防水押え金物	アルミ	62.1	m			

屋内運動場		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	342	m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・珪外塗替改修	11.7	m ²			
A - 1 打放し面表面劣化 処理		342	m ²			
A - 2 珪外面表面劣化 処理		11.7	m ²			
B - 1 打放し面樹脂注入	0.5～1.0mm 手動 拳動 無し	640	m			
B - 2 打放し面ウレタン 材充填工法	1.0mm以上 拳動 無し	261	m			
C - 1 クラック部打放し面サ ビ鉄筋処理		43	m			
E - 1 打放し面充填工法	樹脂モルタル	1	m ²			
E - 3 珪外面欠損部処理	樹脂モルタル	1	m ²			
水性シリコン・フッ素系 浸透性吸水防止塗 料	根廻り	6.5	m ²			
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共 菊水BR工法同 等品	723	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共 菊水BR工法同 等品	91.5	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 トップコートのみ 下地調整費(C-1)共	5.2	m ²			
D P 塗り	鉄鋼面 1級 下地調整RB種・錆止め共	500	m ²			

屋内運動場		建具改修（便所）		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(アルミ製建具)						
AD-2	W800 × H2465	2	か所			
運搬・取付費		1	式			
(トレス)						
TB-1		1	か所			
TB-2		1	か所			
TB-3		1	か所			
TB-4		1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
現場諸経費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

屋内運動場		内装改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(床)							
耐水合板	t=15	761	m ²				
複合フローリング	t=15 加	761	m ²				
ウレタ樹脂塗装	研磨含む	761	m ²				
床下点検口		4	か所				
床下換気口		4	か所				
(幅木・壁)							
木製幅木	米榎 H=100	85.5	m				
OS塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地B種	85.5	m				
壁 胴縁組	米つが 24×50 @300 コンクリート面	201	m ²				
有孔合板	t=9 目透し	201	m ²				
(その他)							
コートライン引き	ハ スケットコート	3	面				
コートライン引き	ハ レーコート	3	面				
ハ レー床金具		6	か所				

屋内運動場		内装改修（便所）			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
(床)							
ビニル床シート	無地 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	22	m ²				
(幅木・壁)							
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	33.2	m ²				
薄型軽量鉄骨壁下地	下地張りあり @450	75.7	m ²				
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード 下地 突付けV目地 -	133	m ²				
化粧けい酸加シム 板	厚6	133					
(天井)							
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 イサト別途	22	m ²				
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トリプル 突付け	22	m ²				
天井廻縁	塩化ビニル製	30.9	m				
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共目地 450角	2	か所				
計							

校舎棟		防水改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
水洗い清掃		268	m ²				
立上り部下地調整		33.7	m ²				
合成高分子ルフィックシート防水	平場 S-M2 高反射タイプ	268	m ²				
合成高分子ルフィックシート防水	立上り 接着工法 高反射タイプ	33.7	m ²				
防水押え金物	アルミ	75.5	m				
改修用ドレン	100 縦引き	4	か所				
脱気装置		3	か所				
塗膜防水	X-2 パラペット天端・側面	37.3	m ²				
塗膜防水	X-2 設備基礎天端・側面	0.7	m ²				
塗膜防水	X-2 梁型天端	4.5	m ²				
塗膜防水	X-2 庇天端	3.6	m ²				
水洗い清掃	塗膜防水	46.2	m ²				
下地調整	塗膜防水	46.2	m ²				
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100	147	m				
計							

校舎棟		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	569	m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・珪外塗替改修	50.2	m ²			
A - 1 打放し面表面劣化 処理		569	m ²			
A - 2 珪外面表面劣化 処理		50.2	m ²			
B - 1 打放し面樹脂注入	0.5～1.0mm 手動 拳動 無し	98	m			
E - 1 打放し面充填工法	樹脂モルタル	2	m ²			
水性シリコン・フッ素系 浸透性吸水防止塗料	根廻り	64.3	m ²			
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共 菊水BR工法同 等品	778	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共 菊水BR工法同 等品	105	m ²			
計						

校舎管理棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0001
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,586	m ²			
養生(外壁改修)		181	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,586	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		181	m ²			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500+240 22m未満	1	式			別紙 00-0003
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	1,882	m ²			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0007
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	255	m ²			
養生(外壁改修)		292	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	761	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0008
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	255	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		292	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	761	m ²			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500+240 22m未満	1	式			別紙 00-0009
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	1,710	m ²			
計						

校舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			別紙 00-0013
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	268	m ²			
養生(外壁改修)		158	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0014
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	268	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		158	m ²			
計						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500+240 22m未満	1	式			別紙 00-0015
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	741	m ²			
計						

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	仮囲鉄板 H=3.0m	1	式			別紙 00-0019
仮囲い	設置費 H=3.0m	366	m			
計						
A型ハート		1	式			別紙 00-0020
A型ハート	供用1日賃料	50	台			
A型ハート	基本料	50	台			
計						
交通誘導警備員	B	1	式			別紙 00-0021
交通誘導警備員	B	700	人			
計						